



〈要点〉 日本演劇史 ～年表～



NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

新国立劇場 情報センター



〈要点〉日本演劇史 年表

作成：村井 健

参考文献：『近代日本総合年表』（岩波書店）、『演劇百科大事典』（平凡社）、『演劇』上下（美術出版社）、『演劇論講座』1・2（汐文社）ほか

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
紀元前 4000頃				シュメール文明起こる
紀元前 3000頃			モヘンジョダロに芸能神シ バの像	エジプト、ピラミッド 時代 エーゲ文明起こる 黄河流域に新石器文明 起こる
紀元前 2500頃				インダス文明起こる
紀元前 2000頃			オシリス受難劇	アーリア人のインド侵 入始まる
紀元前 1500頃			殷に巫覡の歌舞 バラモンの演劇創造説話	殷文明 エジプト新王国時代
紀元前 1000頃				ドーリア人ギリシャに 南下、都市国家形成
紀元前 8世紀頃			ホメロスの叙事詩「イリア ス」「オデュッセイア」成る ディオニュソス神ギリシャ に入る	776：ギリシャで第1 回オリンピック開催 771：中国春秋時代（～ 403）
紀元前 6世紀			535～537：ギリシャで「悲 劇の競演」始まる。テスピ ス自ら俳優となり、仮面を 付け衣装を取り替え1人で 多くの主役を演じる （西欧演劇の祖）	509：ローマで共和政 始まる
紀元前 5世紀			5世紀中ごろ、孔子の礼楽 思想説かれ雅楽始まる 480～430：アテナイにデ ィオニュソス劇場建設（1 万7000人収容） 458：アイスキュロス「オ レステス」3部作 456：アイスキュロス没（69 歳？） 431：エウリピデス「メデ イア」 424：アリストパネス「蜂」 420頃：ソポクレス「オイ ディプス王」 415：エウリピデス「トロ イアの女たち」 411：アリストパネス「女	486：釈迦没（80歳？） 479：孔子没（73歳？） 450？：「論語」成る 431：ペロポネソス戦 争

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
			の平和」 407：エウリピデス没（74歳？） 406：ソポクレス没（91歳？）	
紀元前 4世紀			380？：アリストパネス没 330？：アリストテレス「詩 学」 322：アリストテレス没（62歳）	330頃：アレキサンダ ー大王東征
紀元前 3世紀		呪術祭式用の土面・土偶（呪術 的芸能時代）	「マハーバーラタ」「ラーマ ーヤナ」成る	289：孟子没（74歳） 270：ローマ、イタリ アを統一 221：秦の始皇帝、中 国統一
紀元前 2世紀			漢の武帝、「楽府」を設置 インド舞踊の経典「ナーチ ャ・サストラ」 影絵劇起こる	108：漢の武帝朝鮮侵 攻
紀元前 1世紀		弥生・古墳時代にかけて：祭祀 芸能・巫女による鎮魂祈禱舞踊、 歌垣が行われる	55：ローマに石造の劇場 建設される 20：パントミムス（仮面黙 劇）盛んとなる 5：セネカ生まれる（彼の 悲劇詩「メデア」「狂えるヘ ラクレス」などは後のシェ イクスピア、モリエールに 大きな影響をあたえた。ま た彼は、暴君ネロの家庭教 師も務めた） ○この頃、琵琶などの楽器、 中国に伝わる	90：司馬遷「史記」（俳 優についての記述あり） 44：シーザー暗殺（42 歳） 30：クレオパトラ自 殺（39歳） 27：ローマ帝政となる 04：キリスト誕生
1世紀	57：倭の奴国後漢に使 者を送る *この頃、水稲耕作広がる。 農耕儀礼、高床式住 居、階級分化おこる		22：パントミムス（仮面黙 劇）成る 65：セネカ没（69歳） ○インドで仏教詩劇盛ん となる（～3世紀） ○1～3世紀にかけ、ロー マで、演劇衰退し、円形競 技場や闘技場で、戦車の競 争・剣闘士の闘技・模擬海 戦などのスペクタクルが盛 んになる	30：キリスト処刑 54：ネロ皇帝となる （暴君ネロ） 68：中国に仏教伝来
2～3 世紀	239：邪馬台国女王卑弥 呼、魏に使いを出す		○この頃、中国に百戯（散 楽）伝わる ○この頃、人形劇起こる ○3世紀中ごろ南宋で「南 戯」始まる	166：ローマ皇帝の使 者、中国に来る 208：赤壁の戦い 250：キリスト教徒迫害

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
4世紀	369：百済王、倭王のため鉄の七支刀を作る 391：倭国、百済・新羅を従える		400頃：朝鮮で雑劇・剣舞・仮面劇盛んとなる	323：ローマ帝国統一 375：ゲルマン民族の大移動始まる 395：ローマ帝国東西に分裂、中世キリスト教時代始まる
5世紀	401：大陸文化の伝来相次ぐ(儒教・易・暦・医・天文・養蚕・機織・裁縫など) 413：倭王讃、東晋に遣使貢献 421：倭王讃、宋に遣使 451：倭王済、宋に遣使 463：百済から画工・陶工渡来 478：倭王武、宋に遣使 493：高句麗の皮革工渡来、皮をなめす法を伝える	453：天皇葬儀に新羅王から楽人(歌舞人)80人が貢献さる	450?：「唐会要」に「散楽」の記事 ○この頃、西域から新楽舞伝来、隋の宮廷楽に取り入れられる ○5～10世紀にかけ、ローマ帝国でキリスト教が勢力を得るにつれ、スペクタクルや演劇が事実上禁止され、演劇の伝統はかろうじてミムスの役者たちによって受け継がれた	427：陶淵明没(62歳) 476：西ローマ帝国滅亡
6世紀	522：司馬達止来朝 552：仏教伝来(538年説も) 554：百済より楽人4人渡来(医・易・暦などの博士も) 577：百済、経論、僧、仏工などを献上 588：百済、仏舍利、鍮盤博士、瓦博士、画工を献ず／法隆寺着工 593：聖徳太子摂政となる／四天王寺建立 594：仏教興隆の詔 595：高句麗の僧・慧慈、帰化し、太子これに師事 596：法興寺(飛鳥寺)成る 600：遣隋使(以後、4回)		○6世紀：グレゴリウス大法王が「交誦」の規則を定める(グレゴリオ聖歌) 600?：隋朝に、雅・俗・胡の3楽鼎立	570：この頃マホメット生まれる 589：隋、中国を統一
7世紀	602：百済の僧・観勒、来朝し、暦本・天文地理書を献上 603：冠位十二階制定 604：十七条の憲法つくる／初めて暦日を使用 607：小野妹子を隋に派遣(608帰朝、再び留学生・学問僧を伴い入隋、609帰朝)／法隆寺建立 610：高句麗の僧・曇徴、来朝し、紙、墨絵の具の製法を伝える 632：留学僧・旻(みん)	612(推古20)：百済の味摩之、伎楽を伝える。味摩之を奈良の桜井に住ませ、伎楽伝習のために「楽戸」を設ける 690：舞楽・散楽の流入盛ん(～700)	606：隋の煬帝、各散楽を洛陽に集める 620：雅楽教習所教坊設置 ○この頃より隋唐に百戲楽える(～9世紀)	610：この頃イスラム教成立 618：隋滅び、唐興る 629：僧・玄奘インド旅行(645：帰国) 641：アレクサンドリアの大図書館焼失 663：百済滅亡 668：高句麗滅亡 676：新羅、朝鮮を統一

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	ら帰国 622：聖徳太子没 630：遣唐使派遣(633：帰国) 640：留学僧・高向玄理ら帰国 645：仏教興隆の詔 646：大化の改新／高向玄理を新羅に派遣 653：道昭、玄奘に法相宗を学ぶ 659：阿倍比羅夫、蝦夷を平定 660：中大兄皇子、漏刻(水時計)をつくる／道昭、帰国／百済、唐・新羅に攻められ救援を請う 662：天智天皇即位(～46)／高句麗、救援を請う 663：白村江(はくすきのえ)の戦いで、唐の水軍に敗退 664：防人・烽を対馬、壱岐、筑紫に置く 668：越の国、石油献上 669：中臣鎌足に藤原姓を賜う(釜足没、56歳) 671：漏刻(水時計)により鐘鼓を打ち時刻を報知 672：壬申の乱 673：天武天皇即位			
8世紀	701：大宝律令 710：奈良(平城京)遷都 712：「古事記」 720：「日本書紀」 741：国分寺・国分尼寺建立の詔 794：平安京遷都	701：大宝律令により「雅楽(うた)寮」設置 736：僧・仏哲、林邑の舞楽を伝える 752：東大寺大仏開眼式に舞楽・散楽奉納／声明(梵唄)唱わる 782：散楽戸廃止	714：唐の玄宗帝、俳優養成のための「梨園」を設ける	762：唐の李白没 770：杜甫没
9世紀	804：最澄・空海ら入唐 805：最澄、帰国 806：空海、帰国	847：慈覚大師「天台声明」を伝える 869：祇園祭始まる		846：唐の白居易没
10世紀	901：菅原道真大宰府に左遷 905：「古今和歌集」 935：平将門の乱 985：源信「往生要集」	948：雅楽寮、平安の楽制改革で「楽所(がくそ)」となる 985：藤原実資、琵琶法師を招く	900?：修道士・テュティロが復活祭のミサに、対話体の「交誦」を導入(キリスト教典礼劇の萌芽) 935：「詩学」のアラビア語訳出る ○10世紀後半、ドイツの修道女・フロスヴィタが、ラテン語による短い宗教劇を数編残す	935：高句麗、新羅を滅ぼす 962：神聖ローマ帝国成立 976：宋、中国を統一
11世紀	1001：この頃から「源氏	1018：貴族間に「延年」行われ	○この頃、全ヨーロッパで	1054：ギリシャ・ロ

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	物語」(～1020)執筆か 1004：この頃「枕草子」なる 1005：安倍晴明没 1017：藤原道長太政大臣となる 1027：藤原道長没	る 1023：藤原道長「田楽」を観る 1096：田楽大流行、天覧 ○11世紀中ごろ、藤原明衡(?)の「新猿楽記」なる	復活祭劇、降誕祭劇が盛んとなる。 ○ヨーロッパ各地に吟遊詩人誕生	ーマ教会分立 1066：ノルマン朝、イギリス征服(～1154) 1082：ベネチア、東ローマから商業権を獲得 1097：第1回十字軍
12世紀	1120：この頃「今昔物語集」成る 1156：保元の乱 1159：平治の乱 1167：平清盛、太政大臣となる 1175：法然、浄土宗を開く 1179：「梁塵秘抄」 1180：源頼朝、拳兵 1185：平家滅亡 1192：頼朝、鎌倉に幕府を開く 1193：曾我兄弟、工藤祐経を討ち取る 1200：「平家物語」	1153：猿楽座・田楽座が現れる ○この頃より濫僧・歩き巫女らの庶民芸盛んとなる 1179：平清盛、田楽を観る 1199：東大寺にて延年・散楽行われる	1188：朝鮮古来の郷楽と宋の雅楽制度とを併用した宮廷舞楽を整える 1190：アングロ・ノルマンの日常語を用いたアダムの劇が書かれる ○12～14世紀、ヨーロッパで聖史劇・受難劇盛んに行われる ○12世紀末、宗教劇と並んで、庶民的笑劇盛んに行われる	1147：第2回十字軍(～49) 1150：パリ大学創立 1163：ノートルダム寺院起工 1170：オックスフォード大学創立 1189：第3回十字軍(～92)
13世紀	1205：「新古今和歌集」 1212：鴨長明「方丈記」 1213：源実朝「金槐和歌集」 1216：鴨長明没(64歳) 1219：源実朝暗殺(28歳)、源氏滅亡 1220：慈円「愚管抄」 1223：道元、入宋 1224：親鸞の浄土真宗広まる 1227：道元帰朝、曹洞宗を伝える 1249：道元「正法眼蔵」 1260：日蓮「立正安国論」 1262：親鸞没(90歳) 1275：一遍上人、時宗を開く 1274：文永の役(蒙古来襲) 1281：弘安の役(蒙古来襲)	1233：狛近真「教訓抄」 1257：法隆寺学衆により風流田楽・猿楽行われる 1280：この頃、一遍上人「念仏踊り」を創始	1210：聖職者の舞台出演が禁止される 1230：ゴーチエ・ド・コワンシー「聖母奇跡劇」 1254：リュートブーフ「テオフィールの奇蹟」 1260：元曲「西廂記」 1275：笑劇「少年と盲人」 1285：アダン・ド・ラ・アル「ロバンとマリオン劇」(オペラ・コミックの先駆) ○ジャン・ボデル「聖ニコラスの劇」 ○リュトブッフ「テオフィールの奇蹟」(「ファウスト」の原型)	1202：第4回十字軍(～04) 1206：ジンギスカン即位 1215：マグナカルタ(大憲章) 1221：蒙古、インドに侵入 1224：蒙古、南ロシアに侵入 1228：第5回十字軍(～29) 1248：第6回十字軍(～54) 1270：第7回十字軍 1271：マルコ・ポーロ東方旅行に出発(～95) 1299：マルコ・ポーロ「東方見聞録」
14世紀	1331：「徒然草」 1334：建武中興 1338：足利尊氏、室町に幕府を開く 1350：吉田兼好没(63歳) 1368：足利義満、征夷大将軍となる 1371：「太平記」 1398：鹿苑寺金閣完成	1349：京都四条河原で橋勧進田楽行われ(足利尊氏これを観る)、棧敷倒壊、死者多数 1364：薬王寺で大和猿楽の勧進興行 1374：足利義満、今熊野で観世父子の猿楽を観る 1378：祇園会の見物に世阿弥(当時・藤若)、義満と同席す	1350：聖ガレン「キリスト一代記」 1351：南曲「琵琶記」 1371：この頃から、聖史劇を上演する宗教劇団現れる	1302：羅針盤の発明 1313：ダンテ「神曲」 1339：英仏100年戦争始まる(～1453) 1347：欧州で黒死病(ペスト)流行 1352：ボッカチオ「デカメロン」 1365：ウィーン大学創立

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	(1950焼失)	1384：観阿弥没(52歳)		1368：元滅び、明興る(1644) 1378：ローマ教会大分裂 1386：ハイデルベルヒ大学創立 1392：高麗滅び、李氏朝鮮興る
15世紀	1404：明との勘合貿易始まる(義満) 1408：南蛮船若狭小浜に漂着、象・孔雀・オウム・山馬を伝える／足利義満没(51歳) 1409：この頃「義経記」成る 1467：応仁の乱(～77) 1481：一休宗純没(88歳) 1482：足利義政、東山に銀閣寺造営 1495：宗祇「新撰菟玖波集	1406：この頃「花伝書」成る(能・狂言ほぼ完成) 1432：観世元雅殺害さる 1434：世阿弥佐渡に流される／この頃、女猿楽盛ん 1443：世阿弥没(81歳) 1455：金春禅竹「五音次第」成る 1468：金春禅竹没(64歳) 1473：念仏風流盛んとなる ○この頃から琵琶・扇拍子による浄瑠璃始まる 1485：壬生狂言行われる 1490：禁裏で女曲舞行われる 1500：応仁の乱で中絶していた祇園祭復活	15世紀：宗教劇最盛期／謝肉祭劇(市民劇の萌芽) 1402：シャルル6世パリに常設劇場建設 1420：マルカデ「アラス受難劇」 1450?：グレバン「受難の聖史劇」 1464?：笑劇「ピエール・バトラン先生」 1470?：独白劇「バニョレの自由射手」 1485：アルベルティ「建築論」 1499：ローハス「ラ・セレスティーナ」 ○人文学者によるギリシャ・ローマの古典劇の再演や劇場建築の研究が進む	1403：朝鮮で銅活字板始まる 1429：ジャンヌ・ダルク、オレルアンの包囲を解く 1431：ジャンヌ・ダルク処刑 1445：グーテンベルグ活版印刷 1453：東ローマ帝国滅亡 1455：薔薇戦争始まる(～85) 1462：モスクワ大公イワン3世即位 1492：コロンブス、アメリカ大陸を発見 1498：バスコダ・ガマ、インド航路発見
16世紀	1502：連歌師・宗祇没(82歳) 1506：雪舟没(87歳) 1543：ポルトガル人、種子島に鉄砲を伝える 1549：ザビエル、日本にキリスト教を伝える 1550：ポルトガル船、平戸に入港 1553：川中島の合戦 1559：狩野元信没(84歳) 1560：桶狭間の戦い 1562：大村純忠、横瀬浦を開港、ポルトガル船を誘致し、天主堂を大村・長崎に建て、洗礼を受ける 1569：織田信長、フロイスに布教許可 1573：足利幕府滅亡、織田信長天下を取る 1575：長篠の戦い 1576：織田信長、安土に安土城を築城 1582：大友宗麟、少年使節をローマに派遣／本	1531：連歌師・宗長「浄瑠璃」を聞く 1552：奈良・京都で風流踊り流行 1556：織田信長、自ら天人となって盆踊りの風流の女踊りをする 1560：この頃、蛇皮線輸入、国産の三味線流行し始める 1581：京都御所にて「ややく踊り」あり 1582：春日若宮拝殿で加賀の2少女ややく踊り・かか踊りをする 1592：秀吉・家康ら能・狂言に興ずる 1595：この頃浄瑠璃・三味線・人形が合体して「人形浄瑠璃」成立	16世紀よりコメディア・デラルテ始まる(～18世紀) 1507：ラ・シェネー「盲と跛」 1508：アリオストー「金箱の喜劇」 *遠近法を応用・舞台幕を使用する 1511：グランゴール「阿呆の王様」 1520：マキャベリ「マンドラゴラ」 1533：ジョン・ヘイウッド「4つのP」 1536：ハンス・ザック「阿呆の治療」 1542：アルティエーノ「偽善者」 1545：イタリアのセルリオ、近代の劇場・舞台・装置の祖形を作る(遠近背景画など) 1548：ブルゴーニュ座がパリ受難劇組合によって開設 1549：「詩学」のイタリア	1513：バルボア、太平洋発見 1517：ルター、宗教改革運動開始 1521：コルテス、メキシコ征服 1522：マゼラン、世界一周 1531：ピサロ、ペルー征服 1532：マキャベリ「君主論」 1543：コペルニクス、地動説 1558：エリザベス女王、即位 1568：オランダ独立戦争(～1648) 1578：ロシア、シベリアに進出 1583：ガリレイ、振り子の原理を発見 1588：イギリス、スペインの無敵艦隊を撃破 1600：イギリス、東インド会社設立

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと	
	<p>能寺の変(信長死す、49歳) 1585: 豊臣秀吉、関白となる 1590: 遣欧使節帰朝 1591: 千利休没(71歳) 1592: 秀吉、朝鮮出兵(文祿の役) 1594: 石川五右衛門釜煎の刑にされる 1598: 豊臣秀吉没 1600: 関が原の戦い</p>		<p>語訳出版 1550: 「乞食の悲劇」(ポーランド語の最初の喜劇) 出版／ハンス・ザックス、ニュールンベルクに劇場建設 1560: この頃、漢民族、台湾に移住し芸能をもたらす 1570: イタリア人の劇団がパリでコメディ・デアルテを上演 1576: イギリスに最初の公衆劇場シアター座開場(エリザベス朝演劇始まる) 1577: カーテン座開場 1584: イタリア、現存最古のオリニコ座なる 1585: オリニコ座開場 1587: マーロウ「タンパレン大王」／ローズ座開場 1588?: トーマス・キッド「スペインの悲劇」 1592: マーロウ「ファウスト博士の悲劇」 1592: シェイクスピア「リチャード3世」 1593: シェイクスピア「じゃじゃ馬馴らし」／マーロウ没(29歳) 1594: シェイクスピア「ロミオとジュリエット」 1595: シェイクスピア「夏の夜の夢」 1596: シェイクスピア「ヴェニス商人」／スワン座開場 1597: シェイクスピア「ヘンリー4世」 1598: フェレンツェでオペラ形式の「ダフネ」上演(オペラ誕生) 1599: グローブ座開設／シェイクスピア「ジュリアス・シーザー」 1600: フォーチュン座開場 ○この頃、エリザベス朝演劇全盛／キエフの神学院で宗教劇上演</p>		
17世紀	<p>1603: 徳川家康、江戸に幕府を開く 1605: 家康、活字で「吾妻鏡」を刊行 1609: オランダとの通商始まる 1610: スペインとの通</p>	<p>1603: 出雲のお国「かぶき踊り」創始 1607: お国、江戸で「かぶき踊り」を行う 1615: 杉山丹後掾江戸で人形芝居を行う 1629: 遊女歌舞伎禁止、若衆歌舞伎盛んになる</p>	<p>1601: シェイクスピア「ハムレット」 1602: シェイクスピア「十二夜」 1604: シェイクスピア「オセロー」 1605: シェイクスピア「リア王」</p>	<p>1603: エリザベス1世没 1613: ロマノフ王朝開く 1620: 清教徒、アメリカに移住 1624: オランダ人、台湾を占領</p>	

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	<p>商始まる 1613: イギリス人に通商許可／伊達政宗、支倉常長をローマに派遣 1614: 大坂冬の陣 1615: 大坂夏の陣 1616: 徳川家康没(75歳) 1618: 平戸を外国貿易港とする 1620: 三浦按針没(56歳) 1630: この頃、山田長政毒殺され、シャムの日本人町衰退／林羅山、忍岡に学問所を開く／キリスト教関係書の輸入禁止 1636: 日光東照宮完成 1637: 島原の乱 1639: 鎖国令 1645: 宮本武蔵没(62歳) 1646: 柳生宗徳没(76歳) 1651: 慶安の変(由井正雪の陰謀) 1657: 明暦の大火(振袖火事)で、10万8000人被災死／水野十郎左衛門が幡随院長兵衛を殺害 1658: 江戸、大火／鄭成功、幕府に救援を請うが拒絶さる／定火消を設置 1659: 京都、大火 1660: 伊達騒動 1678: 扇屋の遊女夕霧病死 1679: 平井権八(白井権八のモデル)辻斬りの罪で刑死 1582: 西鶴「好色一代男」 1683: 八百屋お七、放火罪で刑死 1685: 初の生類憐みの令発布 1694: 松尾芭蕉没(51歳) 1696: ロシア人カムチャツカに到達</p>	<p>○この頃、説教節流行 1646: 江戸中村座に棧敷席設置 1652: 若衆歌舞伎禁止 1653: 野郎歌舞伎許可(物まね狂言づくしの条件で)。歌舞伎の新発足 1655: 大道具師・長谷川勘兵衛創業 1657: 江戸の大火(振袖火事)で劇場焼失。人形浄瑠璃の中心大坂に移る／中村・市村・森田・山村の4座復興 1661: 金平浄瑠璃、江戸で流行 1662: 若衆歌舞伎取締り 1664: 歌舞伎に多幕もの登場(「今川忍び車」)、引き幕や大道具発明 1666: 歌舞伎に中央踏み板発生。花道の萌芽 1670: この頃近松門左衛門専門作者として立つ 1673: 初代市川団十郎、江戸で荒事を創始(「四天王稚立」) 1678: 坂田藤十郎、京都で和事を確立 1680: 富永平兵衛、狂言作りを名乗る／続いて近松も「作者」を名乗る 1684: 大坂に竹本座創立、義太夫節確立／近松「世継曾我」 1685: 近松「出世景清」 1698: 芳沢あやめ、京・大坂で女方芸を確立</p>	<p>1606: シェイクスピア「マクベス」 1610: ベーガ、聖人劇「地上の天使」 1611: シェイクスピア「あらし」 1612: ベーガ「フェンテ・オベナーフ」 1616: シェイクスピア没(52歳) 1617: ベーガ「愚かな貴婦人」 1620: スペインのバロック演劇黄金時代を迎える 1628: パリで2番目の劇場マレー座開設 1629: カルデロン「不屈の王子」 1630: モリーナ「セビリャの色事師と石のまろうど」 1633: カルデロン「十字架への跪拜」 1635: カルデロン「人生は夢」 1637: コルネイユ「ル・シッド」初演／カルデロン「不思議な魔術師」／サバッティエーニ「演劇のじっさい」刊行 1639: ラシーヌ生まれる 1642: 清教徒により、ロンドンの公衆劇場閉鎖(エリザベス朝演劇終わる) 1650頃: カルデロン「ザラメアの村長」 1652: ウィーン歌劇場創立／ドイツのフルテンバッハがテラリ式舞台を改良(回り舞台の前身) ○この頃ドイツ中心にバロック劇盛んとなる 1659: モリエール「才女気取り」 1660: 王政復古により劇場が再開され、イギリスで初めて女優が登場 1663: ドルアリ・レイン劇場再開 1664: モリエール「タルチエフ」 1666: モリエール「人間嫌い」 1667: ラシーヌ「アンドロマック」(フランス古典主義演劇全盛) 1670: カルデロン、聖体</p>	<p>1637: デカルト「方法序説」 1638: ハーバード大学創立 1642: イギリス清教徒革命 1644: 明朝滅ぶ 1660: イギリス王政復古 1661: フランス、ルイ14世即位(～1715) 1669: ニュートン、微分方を発見 1676: グリニッチ天文台設置 1682: ピョートル大帝即位 1686: ニュートン、万有引力の法則発見</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
			神秘劇「まことなる夢」 1673:モリエール没(52歳) 1676:エサリッジの風俗喜劇「流行紳士」(英) 1677:ラシーヌ「フェードル」/ジョン・ドライデン「すべて恋ゆえ」 1680:コメディ・フランセーズ設立 1681:カルデロン没(81歳) 1682:トマス・オトウェイ「守られたヴェニス」 1684:コルネイユ没(78歳) 1688:マリボー生まれる 1699:ラシーヌ没(60歳) 1700:コンブリーブ「世の習い」	
18世紀	1702:赤穂浪士討ち入り 1703:お初・徳兵衛、曾根崎天神の森で心中 1705:御陰参りで伊勢に諸国民群集 1716:享保の改革 1717:大岡越前守奉行となる 1720:紙屋治兵衛と曾根崎新地の遊女小春が網島の大長寺で心中/キリスト教以外の漢訳洋書解禁となる/江戸町火消いろは組始まる 1729:天一坊処刑 1747:盗賊・日本左衛門刑死 1754:山脇東洋ら京都で死体解剖 1765:鈴木春信、錦絵版画を創始 1771:杉田玄白・前野良沢ら腑分けを行う 1772:田沼意次老中となる 1774:杉田玄白ら「解体新書」 1779:平賀源内没(52歳) 1782～87:天明の大飢饉 1783:蕪村没(68歳) 1786:林子平「海国兵談」/田沼意次罷免/最上徳内、千島を探検 1787:寛政の改革 1791:銭湯の男女混浴を禁ず	1703:近松「曾根崎心中」大坂竹本座で上演、大当たり(世話物悲劇確立)/豊竹座創立 1704:市川団十郎没(45歳) 1709:坂田藤十郎没(65歳) 1711:近松「冥途の飛脚」 1715:近松「国姓爺合戦」 1717:歌舞伎劇場全蓋式となる 1720:近松「心中天の網島」 1721:近松「女殺油地獄」 1723:心中ものの脚色禁止 1724:近松門左衛門没(72歳) 1734:人形の3人遣い始まる 1736:花道確立 1746:大坂竹本座「菅原伝授手習鑑」(竹田出雲・並木千柳・三好松洛・竹田小出雲合作) 1747:大坂竹本座で「義経千本桜」(竹田出雲・並木千柳・三好松洛・竹田小出雲合作) 1748:大坂竹本座で「仮名手本忠臣蔵」(竹田出雲・並木千柳・三好松洛・竹田小出雲合作)/このころ人形浄瑠璃全盛。人形遣い吉田文三郎が活躍 1753:「京鹿子娘道成寺」初演/並木正三、競りを考案 1758:並木正三、「回り舞台」を大成させ、人形劇の演出技法を歌舞伎に移植 1766:近松半二「本朝二十四孝」初演 1770:平賀源内「神靈穴口渡」 1772:竹本座閉じ、人形浄瑠璃衰運に向かう/歌舞伎に両花道登場 1777:奈河亀輔「伽羅先代萩」	1702:演劇の検閲制度始まる 1703:ペテルブルクにロシア最初の公設劇場開場 1714:オペラ・コミック座創立 1725:ワルシャワにポーランド最初の公共劇団誕生 1728:ゲイの「乞食オペラ」(ミュージカルの萌芽。「三文オペラ」の底本) 1730:マリボー「愛と偶然との戯れ」 1731:ジョージ・リロー「ロンドン商人」(市民劇の走り) 1732:コベント・ガーデン劇場開場 1733:ニューヨークにニューシアター開場 1738:帝室舞踊学校創設 1748:コペンハーゲンに王立劇場開場 1773:ゴールドスミス「負けるが勝ち」 1741:ギャリック「リチャード3世」で名優の地位確立 1751:ゴールドーニ「宿屋のおかみ」 1753:エクーホフ、ドイツ最初の俳優アカデミー設立 1755:レッシング「サラ・サンプソン」 1757:ディドロ「私生児」 1758:ルソー「演劇について」ダラベールへの手紙で自然回帰を説く/ディドロ「劇詩論」で古典主義を批判、ドラマムを提唱	1707:大ブリテン国成立 1719:「ロビンソン・クルーソー」 1743:フランクリン電気を発見 1748:モンテスキュー「法の本質」 1751:フランスで「百科全書」刊行(～75) 1753:大英博物館創設 1755:啓蒙主義始まる 1762:ルソー「民約論」*この頃より産業革命始まる 1765:ワット蒸気機関改良 1768:イルクーツクに日本語学校設立 1772:ポーランド分割 1775:アメリカの独立戦争始まる(～83) 1776:スミス「国富論」 1781:カント「純粹理性批判」 1786:ゲーテ、イタリア旅行 1787:アメリカ合衆国憲法制定 1789:フランス革命(～97)/ワシントン大統領に就任(～97) 1795:第3回ポーランド分割で、ポーランド滅亡

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	1798:本居宣長「古事記伝」完成	1778:初世並木五瓶「楼門五三桐」 1790:大坂で植村文楽軒が人形浄瑠璃座を創立(現在の文楽の祖)	1767:レッシング「ハンブルク演劇論」(～69)/ハンブルグ国民劇場開場 ○この頃より、シュトルム・ウント・ドランク時代に入る 1773:ディドロ「逆説 俳優について」 1776:ポリショイ劇場建設 1777:シュリダグ「悪評学校」 1778:ボルテール没(84歳)/ミラノのスカラ座開場 1781:レッシング没(54歳) 1782:シラー「群盗」 1783:ペテルブルグに帝室舞踊学校・国立演劇学校創立 1784:シラー「たくらみと恋」/ボーマルシェ「フィガロの結婚」/オペラ座付属王立歌唱学校創立(後のパリ国立音楽院)/ディドロ没(71歳) 1785:プラハに祖国劇場開場 1787:シラー「ドン・カルロス」/モーツアルト「ドン・ジョヴァンニ」 ○この頃よりブールバール劇始まる 1790:京劇成立 1791:モーツアルト「魔笛」/モーツアルト没(35歳) 1793:ゴルドーニ没(86歳) 1795:コンセルバトワール(王立演劇学校)創立 1799:ボーマルシェ没(67歳)	1796:白蓮教徒の乱/ジェンナー、種痘を発見 1798:マルサス「人口論」 1800:ナポレオン戦争始まる(～14)
19世紀	1802:十返舎一九「東海道中膝栗毛」 1806:歌麿没(54歳)/滝沢馬琴「椿説弓張月」 1809:式亭三馬「浮世風呂」 1814:滝沢馬琴「南総里見八犬伝」 1815:杉田玄白「蘭学事始」 1818:伊能忠敬没(74歳) 1828:シーボルト事件 1832:為永春水「春色梅暦」 1837:大塩平八郎の乱 1838:緒方洪庵、大坂に適塾を開く 1841:天保の改革始まる	1825:鶴屋南北「東海道四谷怪談」 1840:7世市川団十郎が歌舞伎十八番「勸進帳」(3世並木五瓶)を創演(元は能) 1842:中村座・市村座を浅草に移す 1853:3世瀬川如臯「与話情浮名横櫛」 1854:2世河竹新七(黙阿弥)「都鳥廓白浪」、市川小團次との提携始まる/8世市川団十郎、大坂で自殺(32歳) 1855:2世中村富十郎没(70歳) 1859:歌舞伎十八番を制定した市川海老蔵(7世団十郎)没(69歳) 1860:2世河竹新七「三人吉三」	1801:シラー「オルレアンの少女」 1803:ロンドンのライシウム劇場で初めてガス灯の照明を使用 1804:シラー「ウィルヘルム・テル」 1805:シラー没(46歳) 1808:クライスト「こわれ甕」(近代劇の萌芽)/ゲーテ「ファウスト」第1部 1817:バイロン「マンフレッド」(この頃ロマン派の劇詩流行) ○1820年代、フランスとイギリスでメロドラマ隆盛 1823:グリゴエドフ「知恵の悲しみ」(ロシア写実主義)	1804:ナポレオン皇帝即位 1806:神聖ローマ帝国滅亡 1807:フルトン、蒸気船航行に成功 1808:ゲーテ「ファウスト」第1部成る 1812:ナポレオン、ロシア遠征 1814:ナポレオン退位/ウィーン会議 1815:中国、アヘン輸入禁止 1819:イギリス、シンガポール占領 1823:アメリカ、モンロー宣言

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	1849: 葛飾北斎没(90歳) 1851: 中浜万次郎ら米国より帰国 1853: ペリー浦賀に来航・随行軍楽多来日 1854: 日米和親条約／日英和親条約／日露和親条約／日章旗を船印とする 1856: 吉田松陰、松下村塾を開く 1858: 安政の大獄 1860: 勝海舟ら条約批准のため咸臨丸などで太平洋横断／桜田門外の変 1861: 竹内保徳ら遣欧使節団出発(福沢諭吉・福地源一郎も随行) 1866: 海外留学を許可(外山正一らイギリスに留学)／石川島で軍艦・千代田建造／福沢諭吉「西洋事情」／津田真道「泰西国法論」 1867: 将軍の弟・徳川武昭ら遣欧使節パリへ出発／高杉晋作没(29歳)／坂本龍馬暗殺(33歳)／大政奉還(15代将軍・慶喜)、王政復古の大号令／徳川幕府亡ぶ ○この年、「ええじゃないか」盛ん／加藤弘之「立憲政体論」	廓初買」初演 1862: 2世河竹新七「白浪五人男」初演 1866: 濡れ場、その他写実的演技への自肅勧告出る／4世市川小団次没(55歳)	演劇の祖。ロシア最初の韻文喜劇) 1824: マールイ劇場開場／バイロン没(36歳) 1827: ユゴ「クロンウエル」序文でロマン派演劇宣言 1828: ゲーテ「ファウスト」初演 1830: ユゴ「エルナニ」 1832: ゴーゴリ「検察官」／ゲーテ没(83歳)／アレクサンドリンスキー劇場開場 1833: ワルシャワ大劇場開場 1835: ビュヒナー「ダントンの死」 1837: ハンガリーで国立劇場建設 1843: ワグナー「さまよえるオランダ人」 1845: ワグナー「タンホイザー」 1850: ワグナーの「総合芸術論」／イプセンの第1作「カティリーナ」 1852: デュマ・フェス「椿姫」／ゴーゴリ没(43歳) 1860: オストロフスキー「雷雨」／ゲオルグ2世、マインゲン市に宮廷劇場を建て、劇場主となる／パリ・オペラ座で稲光・虹の光源にアーク灯を使用／マリンスキー劇場開場 1863: フライターク「戯曲の技巧」 1865: ワグナー「トリスタンとイゾルデ」 1867: イプセン「ペール・ギュント」	1825: デカブリストの乱 1828: ベートーベン没(57歳) 1835: モールス、電信機発明 1837: ビクトリア女王即位(～1901) 1840: 清国、阿片戦争(～1842) 1842: 南京条約(香港割譲) 1844: デュマ「モンテクリスト伯」 1848: マルクス・エンゲルス「共産党宣言」／カリフォルニアに金鉱発見 1850: 太平天国の乱(～64)／バルザック没(51歳) 1857: インドで反英の反乱 1859: ダーウィン「種の起源」 1861: アメリカ南北戦争 1863: アメリカ、奴隷解放宣言 1864: イギリスで、第1インターナショナル結成 1867: マルクス「資本論」第1巻
1868 (明1)	1月: 明治維新 王制復古の大号令／戊辰戦争起こる 4月: 五箇条の誓文／神仏分離令(神仏判然令)により廃仏毀釈運動起こる 5月: ハワイへ邦人120人余契約移民として渡航 6月: 出版物・新聞の無許可発行を禁止、書籍の原稿事前検閲を定める／新政府、長崎でキリシタンを弾圧・逮捕／出版物・	3月: 人気女形・3世沢村田之助、脱疽のため片足切断後、初の舞台復帰 10月: 5世尾上菊五郎、市村座で襲名興行 11月: 興行界不況のため中村・守田座合併興行を行う	○トルストイ「皇帝フォル」	3月: ナポレオン3世、労働者の団結権を認める 5月: フランスで新聞発行の自由を認める 7月: 露領ポーランドでポーランド語の公用使用禁止さる ○ドストエフスキー「白痴」／トルストイ「戦争と平和」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	新聞の無許可発行を禁止 7月: 上野で彰義隊の戦闘 9月: 江戸を東京とす 10月: 会津藩白虎隊、飯盛山で自刃／明治と改元 ○横浜に理髪店開業／近藤勇刑死(35歳)			
1869 (明2)	1月: 築地に外人居留地設置 6月: 五稜郭開城、榎本武揚以下降伏し、戊辰戦争終わる 7月: 版籍奉還、公卿・諸侯を華族とする 8月: 九段に招魂社創建、戊辰戦争戦死者を祀る(79年6月、靖国神社と改称) ○土方歳三没(35歳)／和泉要助、人力車を創案・完成	3月: 2世沢村訥升(4世助高屋高助)、5世尾上菊五郎、7世河原崎権之助(9世市川団十郎)、それぞれ守田・市村・中村座で初座頭となる(新旧交代の現われ) 9月: 英皇太子アルフレッド親王、赤坂の和歌山藩藩邸で観能／鹿児島藩兵、横浜で英陸軍軍楽長から指導を受ける 11月: 太政官の中に雅楽局を設置	○カリフォルニア劇場建設 ○ウィーン国立劇場完成	5月: アメリカで最初の大陸横断鉄道完成 8月: ドイツ社会民主労働党創立 11月: スエズ運河開通 ○ベルス「海底2万里」
1870 (明3)	1月: 東京・横浜間電信開通 5月: 人胆・脳髓・陰莖の密売を禁止 11月: 政府、ドイツ・イギリス・アメリカへ留学生派遣 ○東京・大阪でトンビ(二重回し)が流行	2月: 2世河竹新七「丸橋忠弥」初演(初世市川左団次の出世芸となる) 6月: 12世喜多六平太没 10月: 鹿児島藩音楽伝習隊、東京で吹奏楽演奏	○ドリープ「コッペリア」	7月: 普仏戦争始まる 9月: フランス共和国を宣言／イタリア統一完了
1871 (明4)	1月: 西園寺公望ら欧米留学に出発 5月: 兵部省、軍楽隊を設置 8月: 廃藩置県の詔 9月: 文部省設置／散髪・廃刀の自由を認める 10月: 華族・士族・平民相互の結婚を許可 11月: 岩倉具視欧米使節団出発(～73年帰国) 12月: 津田梅子、中江兆民アメリカへ出発(中江は、米経由フランスへ。74年帰国) ○この年、新聞発行相次ぐ	2月: 9世市川団十郎、守田座へ初出演(勘弥との提携始まる) 9月: 2世河竹新七「真田雪村」初演(守田座、9世市川団十郎) 12月: 6世市川団蔵没(72歳)	○ヴェルディ、エジプト政府の依頼で「アイダ」を作曲、カイロで上演 ○オストロフスキー「森林」	3月: パリ・コミューン成立宣言 5月: パリ・コミューン消滅(死者5万人)、武装解除 ○シュリーマンのトロイ発掘始まる ○ドイツ帝国成立
1872 (明5)	3月: 福沢諭吉『学問のすすめ』第1編(以後、5	2月: 金剛流、維新後初の演能 3月: 梅若実、10日間の勧進能		○ニーチェ「悲劇の誕生」／エンゲルス「自

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	<p>年間にわたり17編刊行) ／中村正直訳、ミルの『自由之理』刊行 6月：国民教化の基本大綱(教部省) 10月：新橋・横浜間に鉄道開通 12月：太陽暦採用／徴兵の詔書 ○東京で氷屋繁盛</p>	<p>興行 6月：東京第1大区役所、守田勘弥・河竹新七・桜田治助を呼び出し、演劇は勸善懲惡を旨とするとともに、実録どおりにせよと説論／音楽歌舞の類、すべて教部省の管轄となる 7月：教部省、3座座元を呼び出し、今後脚本を差し出し、許可を得たのち興行すべき旨を申し渡す 10月：東京府令により、府下劇場に興行免許の鑑札交付、同時に3座以外の小芝居を公認、新設劇場も許可(翌年より、続々新築開場) 11月：守田座で、ロシア親王「国姓爺」を観劇／守田座、新富町へ移転、開場式。観客席の一部に椅子席を設けるなど機構・制度に改革を行う／京都の南・北側両座で、西洋種の狂言上演(スマイスの「西国立志編」の一部を脚色・翻案上演したもの)</p>		<p>然弁証法]</p>
1873 (明6)	<p>2月：ウィーン万博へ諸工芸家出発 5月：ウィーン万博開催で日本の美術工芸品好評を博す 9月：岩倉具視帰国 7月：地租改正条例を布告 10月：西郷隆盛、参議を辞職(征韓論問題) 11月：内務省設置 ○開成学校の米人教師ウィルソン初めて野球を紹介</p>	<p>5月：華族・旧楽人に限られていた神楽・舞楽の伝習が一般庶民にも許される 7月：2世河竹新七「髪結新三」(中村座)初演 11月：2世河竹新七「東京日日新聞」を守田座で初演(新聞ものを脚色した散切狂言の最初)</p>	<p>○ゾラ、戯曲「テレーズ・ラカン」序文で自然主義宣言 ○ジャコーズ「将棋一番」 ○イプセン「皇帝とガラリア人」</p>	<p>○ランボー「地獄の季節」／J.S.ミル『自叙伝』</p>
1874 (明7)	<p>1月：岩倉具視、征韓派に襲われる／民選議院設立建白書を提出(板垣・後藤・江藤・副島ら8人) 2月：佐賀の乱(江藤新平)／台湾征討を決定 4月：江藤処刑 5月：陸軍中将・西郷従道兵3600名を率いて台湾上陸 6月：第1回三田演説会(演説会の初め)／西郷隆盛、鹿児島に私学校設立 11月：台湾征討軍の撤退勅令出る ○石油ランプ急速に普及／弘前の東奥義塾教師エ</p>	<p>1月：中村座で、番付に初めて開場・閉場時間を明記 7月：河原崎権之助、河原崎座を創設、9世市川團十郎を襲名 8月：演劇雑誌の先駆けとなる「劇場の脚色」大阪で刊行(1878年8月「劇場珍報」と改題) 10月：2世河竹新七「河内山」初演(河原崎座)</p>	<p>○この年から1890年まで、ゲオルグ2世のマイニンゲン一座、ヨーロッパ各地を巡演。アンサンブル重視のリアリスティックな演技と演出で各国の演劇に大きな影響を与える ○ムソルグスキー「ボリス・ゴドノフ」</p>	<p>4月：パリで第1回印象派展 7月：清国、台湾へ5000人増兵を指令 ○ロシアにインテリゲンチャーによる「ヴ・ナロード」(人民の中へ)運動始まる</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	<p>ング、りんごの苗をアメリカから初めて移植</p>			
1875 (明8)	<p>4月：福沢諭吉「文明論之概略」 6月：讒謗律、新聞紙条例(言論取締り強化) ○横浜でコーヒー発売／朝倉松五郎、洋式メガネを作製</p>	<p>1月：東京府、諸芸人に賦金(営業税・地方税の一種)を課する／守田座、負債のため株式組織にし、新富座と改称 2月：2世河竹新七「天一坊」初演 5月：梅若実、先祖988年の追善能を催し、成功を収める</p>	<p>○パリ「オペラ座」開場 ○ビゼー「カルメン」初演 ○ラビッシュ「グラディアートルの3千万」</p>	<p>○トルストイ「アンナ・カレーニナ」発表開始(77年刊行)</p>
1876 (明9)	<p>3月：廃刀令 5月：上野動物園開園 7月：三井銀行開業 8月：高橋お伝事件 10月：神風連の乱、秋月の乱、萩の乱相次ぐ ○東京で、藤八拳・玉突き流行</p>	<p>4月：明治天皇・皇后、岩倉具視邸で観能 11月：中橋座、新富座類焼／式部寮雅楽課伶人、宮中初の洋楽演奏 ○この頃より散切狂言、活歴劇盛んになる(明20年代まで)</p>	<p>○ワグナー「ニーベルングの指輪」全4部初演。バイロイト祝祭劇場開場</p>	<p>○ベル、電話を発明／エジソン、蓄音機を発明／ロシアで、ナロードニキの地下革命組織結成／インドで大飢饉／ロダン「青銅時代」／ツルゲーネフ「処女地」</p>
1877 (明10)	<p>1月：西南の役 4月：東京大学開設 6月：国会開設を建白 8月：コレラ、上海より長崎、横浜に伝播(死亡8027人) 9月：西郷隆盛自刃(59歳) ○コレラ流行のため、東京・神田に下水道建設／横浜に貸し自転車屋開業</p>	<p>4月：2世河竹新七「女書生」初演(新富座) 8月：桜田治助没(76歳) 12月：2世勝彦造「西南夢物語」(西南戦争の最初の劇化)を大阪戎座で初演</p>	<p>○イプセン「社会の柱」 ○チャイコフスキー「白鳥の湖」</p>	<p>1月：英領インド帝国成立 4月：ロシア、トルコへ宣戦布告 10月：ナロードニキ裁判。160人に重労働刑 ○ゾラ「居酒屋」／エジソン、蓄音器を発明</p>
1878 (明11)	<p>5月：紀尾井坂で、大久保利通暗殺(48歳) ○全国の人力車11万3921台、荷車11万5680台／毒婦小説流行</p>	<p>2月：東京警視本署、興行取締規則布達(興行場の清潔、観客の賭博行為の取り締まりなど) 3月：2世河竹新七「西南戦争」を新富座で初演(団十郎が西郷役で80日余大入り、戦争場面で西洋花火を使用) 4月：内務大書記官・松田道之郎で、伊藤博文・依田学海ら、守田勘弥・市川團十郎・尾上菊五郎らに演劇改良の必要説く 6月：新富座、新装開場式(内外の照明にガス灯を使用、政府高官を招待し、劇場関係者は洋装で参列、軍楽隊演奏)／2世河竹新七「三河後風土記」初演(依田学海が脚本に助言、局外者の介入の初め。団十郎新演出で家康役に) 7月：沢村田之助没(34歳) 8月：新富座で、歌舞伎初めての夜芝居を興行 10月：2世河竹新七「斎藤実盛」</p>		<p>1月：アメリカの秘密労働組合(労働騎士団)、全国組織として正式成立(組合員3万人。86年に70万となる) 4月：プラハで、チェコ社会民主党結成 5月：パリ万国博覧会に日本も参加(～11月) 10月：ドイツ帝国議会、社会主義者鎮圧法案を可決 ○ファール「昆虫記」(～1910年)</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
		を新富座で初演(団十郎の新演出=活歴と名づける) ○観劇団体六二連「俳優評判記」刊行		
1879 (明12)	3月:松山にコレラ発生、全国に蔓延 4月:琉球藩を沖縄県とする/植木枝盛「民権自由論」 ○北海道でチーズの製造開始	2月:「歌舞伎新報」創刊(～97年)/前田正名、パリ・ゲーテ座で「忠臣蔵銘々伝」を上演 3月:2世河竹新七、リットン作「マナー」を翻案した「人間万事金世中」(新富座)初演。東京における初翻案劇上演となる 7月:前アメリカ大統領グラント、新富座で観劇、引き幕を贈る 9月:2世河竹新七、新富座で「漂流奇譚西洋劇」を初演。10人の外人俳優を使うも不入りで2万円の負債。新富座の衰運の引き金となる 10月:人形浄瑠璃「壺坂霊験記」初演	○シェイクスピア劇場開場 ○イプセン「人形の家」(近代戯曲の始まり)	○ドストエフスキー「カラマゾフの兄弟」/ペーベル「婦人論」
1880 (明13)	4月:集会条例制定 11月:林広守「君が代」作曲 ○日本で粉ミルク発売/岩谷松平、口付き紙巻タバコを発売(天狗煙草)	6月:河竹黙阿弥作「星月夜見聞実記」新富座で初演 11月:演劇雑誌「諸芸新聞」創刊(～83年)	○パリ・オペラ座、白熱電灯を照明に使用 ○コンスタン・コ克蘭「芸術と俳優」 ○ゾラ「演劇における自然主義」	○アラスカで金鉱発見/ゾラ「ナナ」
1881 (明14)	10月:自由党結成 ○服部金太郎、東京・京橋に時計店を開業(後の服部都計店)	4月:岩倉具視らの発起により「能楽社」設立(以後、能楽の呼称が普及)/芝公園に「能楽堂」できる(一般能楽堂の初めとなる) 7月:2世河竹新七「夜討曾我狩場曙」で、団十郎の活歴風と中村宗十郎の意見が合わず、宗十郎途中で休座 8月:3世三遊亭円生没(43歳)、芝居囃の名人 10月:豊竹山城掾没(82歳)、義太夫節の名手 12月:2世河竹新七「鳥衛月白浪」初演(これ以降、黙阿弥を名乗る) ○この頃、シェイクスピア作・外山正一訳「西洋浄瑠璃ハムレット 霊験皇子の仇討」の稿なる	○マイニンゲン一座、ロンドン公演 ○ゾラ「演劇における自然主義」出版 ○オッフエンバック「ホフマン物語」初演 ○イプセン「幽霊」 ○チェコ国民劇場開場	○アレクサンドル2世暗殺(63歳)
1882 (明15)	1月:伊藤博文、憲法調査に渡欧/軍人勅諭 3月:立憲改進黨結成/参議・伊藤博文、勅許により憲法調査のため渡欧(83年8月帰国)	1月:猿若座焼失 2月:劇場取締り規則施行(東京の劇場を10座に制限、臨官席の設置、定員、興行時間を制限する) 6月:新富座経営難から猿若座	○アドルフ・ラ・ロンジュ、ドイツ座を創設し近代写実劇を上演 ○M・ブルクハルト、ブルク座の座長となる(自然主義演劇の時代始まる)	1月:ロシア、農奴解放を促進 9月:英軍、カイロを占領

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	4月:板垣退助、岐阜で暴漢に襲われる 10月:東京専門学校(現・早稲田大学)設立/中江兆民「民約訳解」刊 ○東京にピストル強盗出現/政治小説隆盛	と改称	○イプセン「民衆の敵」 ○ベック「鴉の群れ」	
1883 (明16)	4月:新聞紙条例改正 7月:鹿鳴館完成 8月:伊藤博文帰国 ○断髪師・鳥海定吉、パリカンを初めて使用	1月:市川団十郎、活歴劇推進のため求古会を結成 6月:黙阿弥「魚屋宗五郎」、市村座で初演 9月:竹本綱太夫没(44歳)	○ディドロ「俳優についての逆説」英訳版出版 ○メトロポリタン歌劇場開場	1月:ロシア、農奴解放令実施 ○ニーチェ「ツァラトゥストラは書く語り気」(～85年、独)/モーパッサン「女の一生」
1884 (明17)	6月:鹿鳴館で西洋舞踏会 8月:森鷗外、ドイツ留学に出発 10月:自由党解散 ○慶応義塾・青山学院・明治学院に野球チーム誕生	5月:坪内逍遙訳「該撒奇談自由太刀余波鋭鋒」(ジュリアス・シーザー) 7月:三遊亭円朝「怪談牡丹燈籠」速記本出る(～12月) 9月:文楽座、大阪御霊神社境内に移転、新築開場 11月:猿若座新築落成	○マッケイ・ベラスコの演劇運動起こる ○コ克蘭兄弟「独白術」 ○イプセン「野鴨」 ○マスネー「マノン」	3月:フランスで労働組合法合法化される 6月:清仏戦争 ○エンゲルス「家族・私有財産および国家の起源」
1885 (明18)	6月:坪内逍遙「小説神髓」 12月:第1次伊藤内閣成立 ○清国・安南・シンガポールなどに日本人婦人の淫売者増加/「ひやひや節」流行	1月:千歳座(旧久松座改め)開場式 5月:シェイクスピア作・3世勝謔蔵脚色「ヴェニスの商人」、大阪・戎座で初演(シェイクスピア劇の初め) 10月:東京文楽座、猿若町に新築開場	○マイニンゲン公一座、モスクワ公演 ○ドーデ「サッフォー」 ○ユゴー没(83歳)	
1886 (明19)	3月:小学校令・帝国大学令公布 4月:二葉亭四迷「小説総論」 ○「ダイナマイトドン節」 「抜刀隊の歌」流行	8月:末松謙澄ら「演劇改良会」を設立 12月:3世中村仲蔵没(78歳)	○トルストイ「闇の力」 ○オストロフスキー没(63歳)	11月:フランスのリヨンで第1回フランス全国労働組合大会開催
1887 (明20)	6月:二葉亭四迷「浮雲」 10月:東京音楽学校・美術学校開設 12月:保安条例公布(中江兆民、星亨、尾崎行雄ら570人が東京を追放) ○東京に電灯初めて点灯/金線サイダー発売	4月:初めての天覧歌舞伎、井上馨外相私邸で行われる 5月:菊五郎、新古演劇十種の内と銘打ち「土蜘蛛」を千歳座で上演	○アントワーン、パリに自由劇場創設(近代劇運動の始まり) ○ストリンドベリ「父」 ○トルストイ「闇の力」	3月:アレクサンドル3世暗殺計画が発覚、レーニンの兄を含む200人の学生逮捕 ○ザメンホフ、エスペラントを考案、発表
1888 (明21)	4月:枢密院設置 7月:二葉亭四迷、ツルゲーネフの「あひゞき」翻訳 ○資生堂、福原衛生歯磨石鹸を製造発売	1月:市村座新築落成 5月:黙阿弥、中村座で「花井お梅」初演 7月:日本演芸矯風会、鹿鳴館で発会式 9月:守田勘弥、歌舞伎座創立に備え新富・市村・中村・千歳	○レッシング座開場 ○ストリンドベリ「令嬢ジュリー」 ○ジャリ「ユビュ王」 ○スタニスラフスキー、モスクワに芸術・文学協会設立	6月:ウィルヘルム2世即位

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
		の4座同盟を作る 12月：角藤定憲、大阪の新町座で大日本壮士改良演劇として「耐忍之書生貞操佳人」を上演(壮士芝居始まる) ○この年秋、川上音二郎、浮世亭○○と名乗り「オッペケペー節」を演じる(91年ころ、全国に大流行)	○チューホフ「熊」 ○イブセン「海の夫人」 ○イクル「肉屋たち」で生肉を舞台上に出す ○マイニンゲン一座ブリュッセル公演	
1889 (明22)	2月：大日本帝国憲法公布 ○幻燈流行／大阪・神戸で自転車流行	2月：東京府、東京在住の俳優、鑑札・納税事務のため東京俳優組合結成(税額に応じて俳優の等級を定める) 7月：日本演芸協会設立(土方久元、坪内逍遙、岡倉天心など) 11月：歌舞伎座落成 12月：川上音二郎、京都で「オッペケペー」出版	○オットー・ブラーム、ベルリンに自由舞台創立 ○ハウプトマン「日の出前」 ○チューホフ「イワノフ」 ○ゾーダーマン「名誉」	5月：パリ万国博覧会開催(フランス革命100年記念)／エッフェル塔完成
1890 (明23)	1月：森鷗外「舞姫」 10月：教育勅語 11月：第1回帝国議会(国会開設) ○「法界節」「やっつける節」流行	1月：佐藤黄鶴邸で親友社の文士による文士劇上演(文士劇の始まり) 3月：竹柴其水「め組の喧嘩」初演 8月：劇場取締規則改正(大劇場10座、小劇場12座を許可)／警視庁、男女俳優混合演劇の興行を不問に付すべき旨、警察署に到達(女優解禁)	○自由民衆舞台生まれる ○ポール・フォール、ジェルマンと芸術劇場を創設 ○イブセン「ヘッダ・ガブラー」 ○ストリンドベリ「債鬼」 ○チューホフ、サハリンへ旅行 ○クロード「黄金の頭」 ○メーテルリンク「闖入者」「群盲」 マイニンゲン一座モスクワなどで公演(最後の巡業)	○フレイザー「金枝篇」 ／マール「経済学原理」 ／ジンメル「社会的分化論」 ／ジェームズ「心理学原理」 ／ゴッホ拳銃自殺
1891 (明24)	3月：駿河台にニコライ堂完成 5月：大津事件(ロシア皇太子ニコライ親王、巡査に切りつけられる)／北村透谷「蓬萊曲」 10月：濃尾大地震 11月：幸田露伴「五重塔」 ○佐伯理一郎、京都に最初の産院を開業	6月：川上音二郎、「板垣君遭難実記」で中村座に進出(43日間売れ切れ) 11月：伊井蓉峰ら男女合同改良演劇「済美館」を結成、吾妻座で「政党美談淑女之操」を上演 12月：春木座新築落成	○トーマス・グライン、ロンドンに独立劇場創立 ○ヴェデキント「春のめざめ」 ○ハウプトマン「寂しき人々」	5月：シベリア鉄道建設着工 ○エンゲルス「空想より科学へ」 ／ハーディ『テス』 ／コッホ研究所開設
1892 (明25)	8月：第2次伊藤内閣成立 ○「敵は幾万」「ありがとう節」流行	1月：三遊亭円朝原作・3世河竹新七脚色「塩原多助一代記」歌舞伎座で初演 5月：川上音二郎「ダンナハイケナイワタシハテキズ」を市村座で初演 11月：市村座新築開場(93年、焼失) 12月：大阪角座で、大谷馬十ら男女混合演劇上演	○リュネ・ポー、制作座創立 ○バーナード・ショー「男やもめの家」 ○メーテルリンク「ペレアスとメリザンド」 ○イブセン「建築師ソルネス」 ○メーテルリンク「死に面して」	2月：米で人民党結成 ○コダック社設立／米で最初のガソリン自動車完成／イワノフスキー、ウイルスの存在を確認

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
1893 (明26)	1月：北村透谷ら「文学界」創刊 5月：北村透谷「内部生命論」 6月：福島安正中佐、単騎でシベリアを横断して帰国 ○ドロップス輸入される／農民騒擾165件	1月：川上音二郎、鳥越座の初日を前に、突如、パリの演劇視察に出発／河竹黙阿弥没(78歳)／真砂座開場／浅草の鳥越座(旧中村座)焼失 3月：高安月郊訳「社会の敵」(イブセン戯曲の最初の訳) 6月：福井茂兵衛、吾妻座で旗揚げ 11月：明治座開場式(初世市川左団次の経営)	○バーナード・ショー「ウォーレン夫人の職業」 ○ゾーダーマン「故郷」 ○ハウプトマン「ハンネレの昇天」 ○チャイコフスキー没(54歳) ○リュネ・ポー「制作座」設立 ○シュニッツラー「アナトール」	○エジソン、活動写真を発明／シカゴ万博開催(5～10月)／ディーゼル、ディーゼル機関発明／ワイルド『サロメ』
1894 (明27)	5月：北村透谷自殺(27歳) 8月：日清戦争勃発(～95年4月) 11月：坪内逍遙「桐一葉」 12月：樋口一葉「大つもごり」 ○「剣舞節」大流行	9月：川上一座、浅草座で「壯絶快絶日清戦争」上演、大入りとなる(戦争劇流行) 11月：坪内逍遙「桐一葉」 12月：川上一座、市村座で「戦地見聞日記」初演	○ボウエル、エリザベス朝舞台協会設立 ○ルナール「にんじん」 ○オスカー・ワイルド「サロメ」 ○バーナード・ショー「武器と人」 ○メーテルリンク「タンタジュールの死」	3月：朝鮮で東学党蜂起 10月：ドレフェス事件 11月：ニコライ2世即位 ○レーニン「人民の友とは何か」
1895 (明28)	1月：樋口一葉「たけくらべ」 4月：日清講和条約(下関条約)／三国干渉(露・独・仏) 9月：樋口一葉「にごりえ」 12月：樋口一葉「十三夜」 ○コレラ大流行(死者4万150人)／軍歌「雪の進軍」 「勇敢なる水兵」流行	5月：川上一座、歌舞伎座に進出「威海衛陥落」を上演 12月：川上一座、浅草座で、泉鏡花原作・花房柳外脚色「滝の白糸」初演	○アッピア「ワグナー劇の演出について」 ○ワグナー「劇曲の演出について」 ○バーナード・ショー「運命の人」 ○シュニッツラー「恋愛三昧」 ○デュマ・フィス没(71歳) ○ヴェデキント「地霊」	○孫文、日本に亡命／レントゲン、X線を発見／ヴァレリー「レオナルド・ダ・ヴィンチ」 ／シェンケヴィチ「クオ・ヴァデスイス」
1896 (明29)	6月：白馬会発会式 10月：二葉亭四迷訳「片恋」 ○「いばりゃんす節」「有明節」流行	7月：川上座開場(神田三崎町)／能楽社、改組し能楽会に(会頭・土方久元) 9月：高田実・小織桂一郎ら成美団を結成し、大阪角座を本拠に上演活動を行う	○ラウンテンシュレーガー、回り舞台使用 ○チューホフ「かもめ」初演(アレクサンドリンスキー劇場で初演、不評。ただし、同劇場での再演では好評) ○ハウプトマン「沈鐘」 ○ジャリ「ユビュ王」 ○プッチーニ「ラ・ボエーム」	4月：第1回近代オリンピック大会開催(アテネ) ○マルコーニ、無線通信法を発明／バックレム、放射能を発見／米で世界最初の有料映画会開く／リボー「感情の心理学」
1897 (明30)	1月：俳句雑誌「ホトトギス」創刊／尾崎紅葉「金色夜叉」連載開始 3月：足尾鉍毒被害者上京、陳情 8月：島崎藤村「若菜集」 ○この頃より、労働争議急増(約100件)、農民騒擾110件	3月：東京座開場 8月：12世守田勘弥没(52歳) 9月：坪内逍遙の「杵手鳥孤城落月」(1905年、大阪角座で初演) 10月：伊井蓉峰らモリエールの「守銭奴」の翻案劇(尾崎紅葉「金色慾」)を真砂座で上演	○アントワーズ劇場開場 ○エドモンド・ロスタン「シラノ・ド・ベルジュラック」 ○スタニスラフスキーとダンチェンコ、モスクワのレストランで会見、18時間話し合う ○イブセン「ジョン・ガブリエル・ボルクマン」	6月：アメリカ、ハワイ併合 ○ブラウン、ブラウン管を発明／パーソンズ、世界最初の蒸気タービン船を完成
1898 (明31)	1月：第3次伊藤内閣成立	3月：川上一座、尾崎紅葉の「金色夜叉」を劇化、川上座で初演	○シュニッツラー「輪舞」 ○モスクワ芸術座創立、「か	○キュリー夫人、ラジウムを発見／ウェルズ

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	7月：岡倉天心ら、日本美術院を創立 ○横山源之助「日本之下層社会」刊／徳富蘆花「不如帰」／正岡子規「歌よみに与ふる書」	(新聞小説の舞台化始まる) 4月：川上一座、川上座で広津柳浪作・花房柳外脚色「畜生腹」初演 9月：伊井蓉峰一座、デュマ作・竹柴瓢三翻案「待則寒露」(「モンテクリスト伯」)を歌舞伎座で初演／女義太夫・豊竹呂昇、上京初公演	もめ」を上演、大成功を取る ○ロンドン舞台協会創立 ○バーナード・ショー「シーザーとクレオパトラ」 ○ダンヌンツィオ「死都」 ○この頃より3大女優活躍(エレン・テリー、サラ・ベルナール、エレオノラ・ドゥーゼ)	「宇宙戦争」
1899 (明32)	1月：勝海舟死去(77歳)／雑誌「中央公論」創刊／アイヌ人保護法公布 7月：改正条約の実施(治外法権撤廃) ○「さのさ節」流行／「不如帰」の成功で、家庭小説隆盛	4月：川上音二郎ら一行19名アメリカへ出発／9世市川團十郎、歌舞伎座で「勸進帳」を上演 5月：川上一座、サンフランシスコで公演 10月：初世市川左団次、松居松葉の「悪源太」を上演(局外作家作品の初演)	○イエーツ、「アイルランド文芸座」創立 ○ロンドン舞台連合協会生まれる ○モスクワ芸術座で「ワーニャ伯父さん」初演 ○ダンヌンツィオ「ラ・ジョコンダ」 ○イエーツ「キャサリン」 ○シュニッツラー「緑の鸚鵡」 ○ストリンドベリ「罪また罪」 ○アッピア「音楽と演出」刊	3月：義和団蜂起 7月：敦煌石窟で經典数千点発見 10月：阿片戦争／ボア戦争始まる ○トルストイ「復活」／シベリウス「フィンランディア」作曲／フィアット社設立
1900 (明33)	3月：雑誌「明星」(与謝野鉄幹)刊行(～1908年)／治安警察法公布 9月：夏目漱石、イギリス留学に出発(03年帰国) ○「東雲節」「鉄道唱歌」流行	6月：川上一座、ウエールズ親王の御前で公演／川上一座、パリ万博で公演／喜多村緑郎ら成美団を再建、大阪朝日座で「死美人」その他を上演 11月：劇場取締規則改正(脚本検閲の強化、興行時間の延長、小劇場にも引き幕・回り舞台を許可)	○シュニッツラー「輪舞」 ○ブリュエ「法服」 ○ロスタン「子鷲」 ○プッチーニ「トスカ」 ○クレীগ「ダイドーとイニアス」演出 ○ルナール「にんじん」 ○ハイエルマンズ「漁船天祐丸」 ○フランスでレビュー流行	4月：パリ万国博覧会(～11月) ○フロイト「夢の解釈」／パリ万博に公衆電話登場／パブロフ、条件反射の研究／ニーチェ没
1901 (明34)	2月：福沢諭吉没(66歳) 5月：社会民主党結成(安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江ら) 8月：与謝野晶子「みだれ髪」 9月：中江兆民「一年有半」 12月：田中正造、足尾鉾毒事件で直訴 ○東海道線急行に食堂車登場／こうもり傘流行／「美しき天然」「ストライキ節」流行	1月：川上一座帰国(4月、再渡航) 2月：川上一座、市村座で「洋行中の悲劇」を上演、革新興行を行う(幕間の短縮、花道の使用禁止、フットライトの使用など)／「川上音二郎欧米漫遊記」出版 4月：「川上音二郎貞奴漫遊記」出版 5月：太田ひさ(花子)、コペンハーゲン博覧会のアトラクション・メンバーとして渡航 7月：伊井蓉峰一座、明治座で坪内逍遙訳「ジュリアス・シーザー」を畠山古瓶の脚色で「該撒奇談」と題して初演 10月：松居松葉(松翁)作「源三位頼政」を明治座で初演	○モスクワ芸術座でチェーフ「3人姉妹」上演 ○ゴリキー「小市民」 ○ストリンドベリ「死の舞踏」 ○マイアー・フェルスタ「アルト・ハイデルベルク」 ○クレীগ「愛のマスク」演出	○第1回ノーベル賞授賞式

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
1902 (明35)	1月：日英同盟締結 3月：島村抱月、イギリス留学に出発(05年帰国) ○東北地方凶作／「魔風恋風」の歌「ふるさと」流行	1月：白井松次郎・大谷竹次郎経営の京都明治座開場(この年、松竹合名社創立) 4月：花房柳外、イプセンの「人民の敵」を翻案上演(イプセン劇移入の先駆) 5月：福井茂兵衛一座、京都の夷谷座でモリエールの翻案劇「修紫」(タルチュフ)を上演 8月：川上一座帰国 9月：福井茂兵衛一座、京都南座でシェイクスピアの翻案劇「闇と光」(リア王)を上演	○ラインハルト、反写実主義演劇の演出を試みる ○メイエルホリド、モスクワ芸術座を脱退し「ロシア俳優劇場」を結成 ○パリ「あっぱれクライトン」 ○ビュヒナー「ダントンの死」 ○メーテルリンク「モンナ・ヴァンナ」 ○ストリンドベリ「夢の劇」 ○ゴリキー「どん底」 ○クレীগ「エイシスとガラテア」演出	1月：シベリア鉄道開通 ○メリエス監督映画「月世界旅行」
1903 (明36)	4月：小学校国定教科書令公布 5月：藤村操、華嚴の滝に投身(18歳) 9月：永井荷風、欧米留学に出発 11月：幸徳秋水ら、平民社を設立 ○早慶戦始まる／トラホーム流行(以後、年々増加)	1月：川上音二郎「俳優に踊は要らぬ」発表 2月：5世尾上菊五郎死去(60歳)／川上一座、貞奴の出演で「オセロ」を明治座で翻案上演(正劇運動、近代女優の誕生) 5月：「角藤定憲苦心談」発表 6月：川上一座、明治座で「ゼ・マーチャント・オブ・ヴェニス」を翻案上演(正劇運動始まる) 7月：歌劇研究会、グルックの「オルフェウス」を上演(日本語による初めての歌劇上演) 9月：9世市川團十郎没(66歳) 10月：川上座、お伽芝居「狐の裁判」「うかれ胡弓」を本郷座で上演(児童劇の先駆となる) 11月：川上一座、正劇「ハムレット」を本郷座で初演。この時、切符制度、座席指定、舞台稽古を行うなどの興行革新を断行	○アイルランド国民演劇協会設立(シングなどの劇作家を輩出) ○バーナード・ショー「人と超人」 ○シング「谷の陰」 ○ホフマンスタール「エレクトラ」 ○ロマン・ロラン「民衆演劇論」 ○ハーゲマン「俳優術と俳優」 ○クレীগ「空騒ぎ」、「ヘルブランドの勇士たち」(イプセン)演出 ○ダルクローズ2500人の俳優による「ヴォー州」祭りを開催	12月：ライト兄弟、飛行に成功
1904 (明37)	2月：日露戦争始まる(～05) 9月：与謝野晶子『君死にたまふこと勿れ』 12月：三越本店開業 ○「日本陸軍」の歌が流行／「平民新聞」の発行部数延べ20万部	1月：川上音二郎「新派演劇の変遷」発表／明治座で松居松葉の「後藤又兵衛」初演 3月：伊原敏郎「日本演劇史」／坪内逍遙の「桐一葉」東京座で初演 4月：森鷗外の「日蓮上人辻説法」歌舞伎座で初演 8月：初世市川左団次没(63歳)。団菊左時代終焉 11月：坪内逍遙「新楽劇論」	○ダブリンにアベイ座開設、イエーツ支配人となる ○シング「海へ騎りゆく人々」 ○ヴェデキント「パンドラの箱」 ○プッチーニ「蝶々夫人」 ○モスクワ芸術座、チェーフ「桜の園」 ○チェーフ没(44歳)	
1905 (明38)	5月：日本海海戦 9月：日露講和条約(ポーツマス条約) ／島村抱月帰国 10月：夏目漱石「吾輩は猫である」 ○「戦友」「ラッパ節」流	3月：2世市川左団次、シラーの「瑞西義民伝」(ウィルヘルム・テル)を初演 新派「不如帰」「金色夜叉」「己が罪」などを上演 ○花子、ロンドンのサボイ劇場に出演、ロイ・フラーと出会う	○ラインハルト、ドイツ座の演出家に就任、「夏の夜の夢」で回り舞台を使用 ○クレীগ「劇場の芸術」 ○バーナード・ショー「人と超人」 ○シング「聖者の泉」	1月：ロシア、血の日曜日(サンクト) 9月：ポーツマス条約 ○アインシュタイン「特殊相対性理論」を発表

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	行／東北地方大凶作		○ゴードン・クレグ「劇場芸術」 ○ヴェデキント「死と悪魔」 ○ブラーム演出・クレグ美術「救われたベニス」 ○ペルイマン「イエスの母マリア」 ○メイエルホリド「タンタジールの死」演出	
1906 (明39)	2月：高村光太郎、欧米留学に出発 3月：島崎藤村「破戒」 4月：夏目漱石「坊ちゃん」 10月：二葉亭四迷「其面影」 11月：南満州鉄道株式会社設立 ○伊藤左千夫「野菊の墓」／たばこ「ゴールデンバット」発売	2月：坪内逍遙、島村抱月ら「文芸協会」を創立（前期）／川上一座、メーテルリンクの「モンナ・ヴァンナ」を明治座で初演 9月：福井茂兵衛一座、大阪朝座で泉鏡花の「湯島詣」初演／明治座で2世市川左団次襲名 10月：帝国劇場発起人総会開催（委員長・渋沢栄一）／川上一座、サルドウの「祖国」を明治座で上演 11月：文芸協会演芸部、歌舞伎座で坪内訳、シェイクスピアの「ヴェニスの商人」を上演 12月：2代目市川左団次、ヨーロッパの演劇視察に出発（07年8月帰国） ○花子、マルセーユ博覧会に出演、ロダンに出会う	○ゴーリキー「敵」 ○クロード「真昼に分かつ」 ○イブセン没（78歳） ○アッピア、ダルクローズと協同関係に ○メイエルホリド「修道女ベアトリーチェ」、 「見世物小屋」 「ヘッダ・ガブラー」演出 ○ラインハルト「幽霊」演出 ○クレグ美術、ドゥーゼ主演で「ロスメルスホルム」上演 ○ヴェテキント「死の舞踏」	2月：英国労働党成立 ○マルセーユ植民地博覧会
1907 (明40)	2月：足尾銅山ストライキ 6月：夏目漱石「虞美人草」 10月：伊藤左千夫ら「アラギ」創刊 ○田山花袋『蒲団』（自然主義思潮興る）／国産自動車完成／この年、恐慌起り、株式暴落／「軍歌節」 「女学生の歌」流行	5月：沢村宗之助ら洋楽研究会をおこし東京座で「ジュリアス・シーザー」を原語上演 7月：川上・貞奴ら7名、演劇学校・劇場視察のため渡航（4度目） 8月：2世市川左団次帰国 11月：文芸協会演芸部、本郷座で坪内訳「ハムレット」を初演 ○花子、第1回アメリカ公演 泉鏡花「婦系図」	○ストリンドベリ、「親和劇場」設立 ○ストリンドベリ「稲妻」 ○シング「西の国の人気者」 ○ゴーリキー「母」 ○フックス、エルラー、ミュンヘン芸術劇場設立 ○クレグ『俳優と超人形』発表 ○フックスとエルラー「ミュンヘン芸術劇場」設立 ○李息霜ら日本留学生、藤沢浅二郎の指導を受け「春柳社」を結成「椿姫」を上演。和劇運動の始まりとなる ○ベイカー教授ハーバート大学に劇作講座開設	3月：日本人労働者締め出しの大統領令公布 ○ベルグソン「創造的進化」
1908 (明41)	4月：島崎藤村「春」 5月：島村抱月「自然主義の価値」 6月：国木田独歩没（38歳） 10月：岩野泡鳴「新自然主義」 ○池田菊苗、味の素を発売	1月：2世市川左団次、明治座で「袈裟と盛遠」、坪内訳「ヴェニスの商人」を上演、同時に興行制度改革を断行するも挫折 9月：川上貞奴、帝国女優養成所創設 11月：藤沢浅二郎、東京俳優養成所を設立（10年に東京俳優	○アニー・ホーニマン、マンチェスターに「レパートリー劇場」設立 ○ゴードン・クレグ「マスケ」創刊 ○メーテルリンク「青い鳥」 ○アルバレス・キンテーロ兄弟「カイン家の娘たち」	12月：ロンドン軍縮会議 ○ロダン「死の首」完成（花子がモデル）／ ヴォリンガー「抽象と感情移入」／ジャリ没（35歳）

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	明／「あわからない」 「不如帰の歌」流行	学校と改称） 12月：有楽座開場（全館椅子席、出方廃止、食堂・休憩室を設置） ○花子、欧州一円を巡演	○グレゴリー夫人「養老院の一生」 ○フックス、ミュンヘンに芸術家劇場を設立 ○スタニスラフスキー「青い鳥」を演出	
1909 (明42)	1月：森鷗外ら「スバル」創刊 3月：北原白秋「邪宗門」／永井荷風『ふらんす物語』発禁 5月：二葉亭四迷没（48歳） 10月：伊藤博文、ハルビン駅で韓国人・安重根に暗殺さる（68歳） ○森永チョコレート発売 ／ビリケン（米国製福の神）流行／「ハイカラ節」 「金色夜叉の歌」流行	2月：2代目左団次・小山内薫「自由劇場」創立 4月：松竹合名会社、大阪文楽座を買収（以後10年7月までに、東京新富座、本郷座を次々に買収） 5月：文芸協会に付属演劇研究所開設（後期文芸協会始まる） 9月：2代目左団次、岡鬼太郎の脚色で「毛抜」を約100年ぶりに復活上演 11月：自由劇場第1回公演としてイブセンの「ジョン・ガブリエル・ボルクマン」を森鷗外訳で有楽座で上演 12月：山田耕筈作曲の歌劇「誓の星」を芝ユニテリアン教会で上演 ○花子、オーストリア、ドイツ、東欧公演	○ニューヨーク・ナショナル劇場開場 ○ディアギレフ、ロシア・バレエ団創立、パリで初公演 ○モルナール「リリオム」 ○フックス「演劇革命」刊 ○アッピア一連の「律動的な空間」を制作 ○メイエルホリド「コロンビーナのベール」、 「ドン・ジュアン」演出 ○スタニスラフスキー「村の一月」演出（システムの最初の試み） ○「ロシア・バエレ」パリで公演 ○朝鮮に円覚社劇場（新劇運動始まる）	○ジイド「狭き門」／ マリネット「未来派宣言」発表／ノエル・ペリー「能研究序説」
1910 (明43)	4月：武者小路実篤ら「白樺」創刊 7月：森鷗外「花子」 8月：日韓併合条約調印 9月：朝鮮総督府設置（総督・寺内正毅） 11月：白瀬中尉、南極探検に出発／帝国在郷軍人会発足 ○石川啄木『時代閉塞の現状』／魔法瓶初めて輸入	2月：川上音二郎、大阪に「帝国座」を開設 5月：自由劇場第2回公演、ヴェデキント作・森鷗外訳「出発半時間前」、チェーホフ作・小山内薫訳「犬」（結婚申し込み）を有楽座で上演／2世市川左団次、60年ぶりに歌舞伎18番「鳴神」を復活上演 11月：井上正夫ら、新時代劇協会を結成、有楽座でバーナード・ショー作・森鷗外訳「馬泥棒」を上演 12月：自由劇場第3回公演、ゴーリキー作・小山内薫訳「夜の宿」（どん底）を有楽座で上演 ○花子、ドイツ・ロシア、イタリアで公演	3月：宇田川南城と川村千臣、コメディ・ロワイヤル座で黙劇「復讐」を上演 ○ドラマ・リーグ発足 ○メイエルホリド、オストロスキーの「森林」で花道を使用 ○バリー「12ポンドの眼つき」 ○リポー「情緒の心理学の諸問題」 ○ジャック・ルーシュ「現代演劇芸術」 ○モルナール「近衛兵」 ○ホフマンスタール「痴人と死」 ○ストラヴィンスキー「火の鳥」 ○ラインハルト「オイディプス」演出 ○ルーシェ「現代演劇芸術」	○ストラヴィンスキー「火の鳥」初演／ リルケ「マルテの手記」／ フロイト「精神分析」
1911 (明44)	1月：大逆事件で、幸徳秋水（41歳）ら死刑 5月：特別高等警察（特高）設置 9月：平塚らいてうら「青鞜」発刊（～1916）	3月：「帝国劇場」開場 5月：文芸協会、帝劇で坪内訳「ハムレット」全幕上演 5月：2世市川左団次、明治座で岡本綺堂作「修禪寺物語」初演	○陸鏡若ら新劇同志会結成 ○モスクワ芸術座で、ゴードン・クレグとスタニスラフスキー共同演出の「ハムレット」初演 ○トルストイ「生ける屍」	10月：辛亥革命 12月：アムンゼン、南極探検

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	○西田幾多郎「善の研究」／レコードの蓄音器普及し、レコードの発売盛んになる／「デカンショ節」流行	6月：東京俳優学校、第1回卒業生公演で佐藤紅緑作「魔馬」ほかを有楽座で上演 9月：帝国劇場、歌劇部新設／文芸協会研究所、第1回試演会でイブセン作・島村抱月訳の「人形の家」を上演(主演・松井須磨子) 10月：2世市川左団次、岡本綺堂作「箕輪の心中」を明治座で初演 11月：志水正太郎設計の歌舞伎座開場(21年焼失)／東京劇場組合、所属俳優の映画出演を禁止／川上音二郎没(48歳) ○花子、2度目のロシア公演	○ホフマンスタール「人のすべて」 ○シュテルンハイム「ホーゼ」 ○アイルランドのアベイ劇場、アメリカを巡演し、アメリカの小劇場運動に刺激を与える ○イエーツ、アベイ座でクレグの衝立舞台使用(ア) ○マリネッティ「未来派劇作家宣言」 ○クレグ「劇場芸術論」 ○エブレイノフがモノドラマ理論を提唱 ○ゾルゲ「乞食」(表現主義最初の戯曲)	
1912 (明45)	3月：呉海軍工廠でストライキ 7月：明治天皇没(61歳) 9月：乃木大将殉死(64歳) 10月：大杉栄ら「近代思想」発刊 ○自動車登録台数521台／「乃木大将の歌」流行	4月：自由劇場、第6回公演で、萱野二十(郡虎彦)の「道成寺」を帝劇で初演 5月：文芸協会第3回公演で、ズーデルマン作・島村抱月訳「故郷」(マグダ)を有楽座で初演 9月：2世市川左団次、明治座を伊井蓉峰に譲渡し、松竹専属となる 10月：青山杉作・村田実らのとりで社、第1回公演でメーテルリンクの「室の中」と長田幹彦の「舞姫ダアヤ」を築地精養軒ホールで上演／伊庭孝・上山草人ら近代劇協会を結成、第1回公演でイブセン作・千葉掬香訳「ヘッダ・ガブレル」を有楽座で上演／帝劇、イタリアのオペラ・バレエの演出家ローシーを歌劇部指導のため招聘 11月：文芸協会、第4回公演でバーナード・ショー作・松居松葉訳の「廿世紀」を有楽座で上演 12月：小山内薫、モスクワ経由でヨーロッパの演劇視察に出発	○カイザー「朝から夜中まで」 ○クローデル「マリアへのお告げ」 ○ゾルゲ「乞食」 ○バルラッハ「死の日」 ○W・アーチャー「作劇法」 ○中国で春柳社劇場結成 ○ルナチャスキー演劇大学創立 ○オストロフスキー演劇大学創立 ○王国維「宋元戯曲史」 ○ストリンドベリ没(63歳) ○クレグ、スタニスラフスキー「ハムレット」を共同演出 ○ダルクローズ、モスクワを訪問「ハムレット」を観劇 ○ラインハルト一座、パリで公演	2月：清朝滅亡 4月：タイタニック号沈没 5月：ボルジュビキの機関紙「プラウダ」創刊 10月：第1次バルカン戦争勃発
1913 (大2)	○中里介山『大菩薩峠』／森鷗外『阿部一族』／「赤いサラファン」流行／この年、ストライキ47件	1月：花子、イサドラ・ダンカンの紹介でスタニスラフスキーに会い、スタジオでロシアの演劇人に即興を見せる／小山内薫、モスクワ芸術座で「どん底」を観劇、スタニスラフスキーに会う 2月：文芸協会、松居松葉訳「思ひ出」(「アルト・ハイデルベルヒ」)を有楽座で上演 6月：帝劇歌劇部、ローシーの指導でサルドウ作「トスカ」を	○ジャック・コポー「ヴェー・コロンビエ座」創設 ○シャンゼリゼ座開場 ○バーミンガム劇団結成 ○バーナード・ショー「ピグマリオン」 ○ゴードン・クレグ「新しい演劇に向けて」 ○ダルクローズとアッピア「オルフェとエウリデチェ」を共同演出	○プルースト「失われた時を求めて」第1巻

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
		上演(川上貞奴、7世松本幸四郎らの出演) 7月：小林一三、少女歌劇養成所設立／文芸協会解散。これにともない、島村抱月・松井須磨子ら「芸術座」創立／土肥春曙・東儀鉄笛ら「無名会」／佐々木積ら「舞台協会」をそれぞれ結成／女優、市川九女八(守住月華)没(68歳) 8月：東京歌舞伎座、松竹合名会社の経営となる 9月：芸術座、第1回公演でメーテルリンク作・島村抱月訳「モンナ・ヴァンナ」ほかを有楽座で初演 12月：芸術座、帝劇でオスカー・ワイルドの「サロメ」島村抱月訳で上演 ○山田耕筰、ドイツ留学の帰途、モスクワでスタニスラフスキーとゴードン・クレグ共同演出の「ハムレット」を観る	○タイーロフ「ピエレッタのベール」、「黄色の上着」演出 ○マリネッティ「バラエティー劇場」結成	
1914 (大3)	1月：桜島大噴火 7月：第1次世界大戦勃発(～18) 8月：第1次世界大戦に参戦 ○三越百貨店にエスカレーター設置／「カチューシャの唄」流行／この年、ストライキ50件	1月：無名会、帝劇でシェイクスピアの「オセロー」を上演 2月：6世尾上菊五郎の狂言座、帝劇で坪内逍遙の「新曲浦島」を上演 3月：黒猫座(のち文芸座)、シュニッツラーの「恋愛三昧」を有楽座で上演／芸術座、帝劇でトルストイの「復活」を島村抱月の脚色で初演(劇中歌「カチューシャの唄」が大ヒット、2万枚の売り上げ) 4月：宝塚少女歌劇団創設／美術劇場、秋田雨雀の「埋れた春」を有楽座で初演 10月：芸術座、中村吉蔵の「剃刀」を帝劇で初演 ○花子、ヨーロッパ各地で慰問公演	○タイーロフ、カーメルスイ劇場創立、「シャクンタラー」演出 ○シチューキン演劇学校創立 ○タイーロフ、カーメルスイ劇場を創設 ○クレグとアッピア会う ○マルタン・デュ・ガール「ルリュ爺さん」	○ゲオルグ2世没 7月：第1次世界大戦(～18) 8月：パナマ運河開通
1915 (大4)	4月：対華21か条交渉開始 11月：芥川龍之介『羅生門』 ○パーマネット流行／「ゴンドラの歌」流行／この年、ストライキ64件	3月：伊井蓉峰・喜多村緑郎ら、本郷座で泉鏡花の「日本橋」を初演 4月：芸術座、帝劇でツルゲーネフ作・楠山正雄脚色の「その前夜」を初演(劇中歌「ゴンドラの唄」大ヒット) 7月：近代劇協会、帝劇でチェーホフ作・伊東六郎訳「桜の園」を小山内薫の演出で初演 9月：帝劇洋劇部(歌劇部を改称)、ズッペの喜歌劇「ボッカ	○メイスフィールド『忠臣蔵』英訳完成 ○デニシオン舞踊学校創立 ○民衆舞台開場 ○アンドレーエフ「殴られる彼奴」 ○クレグ、イタリアのフロレンスに演劇学校を開設 ○タイーロフ「扇」演出 ○マリネッティ、コッラら「未来派統合演劇」宣言 ○コポー、フェレンツェの	○モーム『人間の絆』／グリフィスの映画「国民の創生」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
		チオ」を上演(劇中歌「恋はやさし野辺の花よ」がヒット) ○花子、ロンドンで慈善公演	クレーグ、ジュネーブのダ ンクローズを訪問 ○ベルイマン「パリシーナ」	
1916 (大5)	9月：工場法実施(1947 年の労働基準法まで継 続) ○河上肇「貧乏物語」/ 芥川龍之介「鼻」 ／吉野作造、「中央公論」 に「憲政の本義を説いて 其の有終の美を済すの途 を論ず」を發表／「サン タルチア」流行／この年、 ストライキ108件	2月：2世市川左団次、岡本綺 堂作「番町皿屋敷」本郷座で初 演 6月：石井漠、帝劇で「日記の 一頁」などを上演 7月：芸術座、芸術倶楽部でト ルストイ作・林久男訳「闇の力」 を上演 10月：ローシー夫妻、赤坂ロ ーヤル館で喜劇「天国と地獄」 を上演 11月：桃中軒雲右衛門没(44歳)	○ピュリツア賞創設 ○イエーツ「鷹の井戸」 ○アポリネール「ティレン アスの乳房」 ○タイーロフ「ファミリーラ・ キファレド」演出 ○キアレツリ『仮面と素顔』 ○ポッチオーニ『浮かぶ身 体』 ○コポー、アッピアと会見 ○イタリアにグロテスク演 劇出現	○カフカ「変身」/ レーニン「帝国主義論」 ／アインシュタイン 「一般相対性理論」/ フェノロサとエズラ・パ ウンドの「能 日本の 古典演劇の研究」
1917 (大6)	3月：室蘭製鉄所ストラ イキ／理化学研究所設立 ／理化学研究所設立 6月：三菱長崎造船所ス トライキ 12月：岩波書店「夏目漱 石全集」刊行 ○志賀直哉「城の崎にて」 ／永井荷風「断腸亭日乗」 ／有島武郎「惜しみなく 愛は奪ふ」／萩原朔太郎 「月に吠える」／「さすら ひの歌」「安木節」「七里ヶ 浜」流行／この年、スト ライキ398件	2月：青山杉作ら踏路社を結成 3月：藤沢浅二郎没(52歳) 4月：沢田正二郎・倉橋仙太郎ら、 新国劇を結成 6月：大杉栄、ロマン・ロラン の「民衆芸術論」翻訳 10月：佐々紅華・石井漠ら東 京歌劇座結成、新築開場した浅 草の日本館で「カフェーの夜」 など上演(劇中歌「コロッケの 唄」流行) ○浅草オペラ時代始まる	○ゲーリング「海戦」 ○カイザー「カレーの市民」 ○ピランデルロ「御意にま かす」『各人各説』 ○アポリネール「ティレン アスの乳房」上演 ○メイエルホリド、アレク サンドリンスキー劇場でレ ールモントフの「仮面舞踏 会」演出 ○ヴィュー・コロンビエ座、 ニューヨークで公演	4月：アメリカ対独宣 戦布告 ○ロシア革命(2月革 命・10月革命)
1918 (大7)	1月：パイロット万年筆 発売 7月：「赤い鳥」創刊 8月：シベリア出兵を宣 言／米価暴騰で富山県に 米騒動勃発 9月：原敬内閣成立(本 格的な政党内閣) ○春から翌年にかけて世 界的大流行のスペイン風 邪で、日本でも15万人 死去／「コロッケの唄」 「宵待草」「浜辺の歌」流 行／この年、ストライキ 417件、小作争議256件	2月：清水金太郎夫妻、東京歌 劇座に入団「天国と地獄」上演 ／ローヤル館オペラ解散 3月：原信子歌劇団結成(田谷 力三、秋月正夫らも参加) 5月：宝塚少女歌劇、帝劇で東 京初公演 7月：芸術座、松竹と提携(9 月にハウプトマンの「沈鐘」ほ かを歌舞伎座で上演) 9月：伊庭孝・高木徳子ら歌舞 劇協会、有楽座で伊庭孝作・竹 内平吉作曲「沈鐘」、「カルメン」 を上演 11月：島村抱月、スペイン風 邪で死去(48歳)／土方久元(土 方与志の祖父)、スペイン風邪 で死去(86歳) ○土方与志、模型舞台研究所設 立	○メイエルホリド、マヤコ フスキーの「ミステリア・ ブッフ」演出 ○カイザー「ガス」 ○アポリネール没(38歳)	11月：ドイツ降伏(第 1次世界大戦終わる) ○魯迅「狂人日記」/ ニューヨークーシカゴ、 ロンドンーパリ間の航 空郵便開始
1919 (大8)	2月：普通選挙要求の運 動起こる	1月：松井須磨子、後追い自殺 (34歳)、芸術座解散	○ブリティッシュ・ドラマ リーグ創立	1月：パリ平和会議 3月：3・1独立運動

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	3月：朝鮮の独立運動高 まる 5月：中国で排日運動盛 んとなる／和辻哲郎「古 寺巡礼」 6月：島田清次郎「地上」 11月：日本労働党結成 ○北一輝「日本改造法案 大綱」／有島武郎「或る 女」／藤田嗣治、パリの サロン・ドートンヌに 入選、会員となる(13年 に渡仏)／「デモクラシー 節」「パイノパイ節」流行 ／この年、ストライキ 497件、小作争議326件	3月：トウ・ダンスの高木徳子 没(29歳) 4月：新国劇、行友李風作「月 形半平太」を京都明治座で初演、 大当たり 6月：畑中蓼城・長田秀雄らの 新劇協会、第1回公演でチェ ーフの「叔父ワーニャ」を有楽 座で初演 8月：岸田國士、パリに留学に 向け出発(～32年帰国) 9月：ロシア歌劇団、帝劇で「ア イダ」「椿姫」を上演／自由劇 場、ウージェーヌ・ブリュエの 「信仰」を上演し解散 10月：初世中村鴈治郎、菊池 寛作「藤十郎の恋」を大阪浪花 座で初演 11月：新国劇、名古屋末広座 で行友李風「国定忠治」を初演	○米でシアター・ギルド発 足 ○ソ連で、演劇事業の統合 に関する布告出る ○ラインハルト、ゲーリン グの「海戦」を演出 ○シアター・ギルド発足 ○トラー「変転」	5月：中国で5・4運 動 6月：ベルサイユ条約 10月：第1回国際勞 働会議(日本からも出 席)
1920 (大9)	1月：国際連盟に加盟 2月：八幡製鉄所ストラ イキ 3月：戦後大恐慌起こる 5月：尼港(ニコラエフ スク)事件／第1回メー デー上野公園で開催／勞 働組合同盟会結成 6月：高畑素之訳「資本 論」刊行開始 12月：大杉栄ら日本社 会主義者同盟結成、即日 解散／南洋委任統治宣言 發表 ○松竹キネマ、帝国キネ マ設立／「ゴンドラの唄」 流行／この年、ストライ キ282件、小作争議408件	3月：東儀鉄笛・加藤精一らの 新文芸協会、第1回公演で坪内 逍遙の「法難」ほかを明治座で 初演 5月：神戸の川崎造船所工員ら 日本労働劇団を結成(プロレタ リア演劇の先駆)／劇作家協会 設立 7月：2世市川左団次、中村吉 蔵作「伊井大老の死」を歌舞伎 座で初演 ○大正戯曲時代始まる	○国立民衆劇場開場 ○メイエルホリド「演劇の 10月」を掲げる、「曙」演出 ○バリー「メリア・ローズ」 ○ルノルマン「落伍者の群 れ」 ○ゴードン・クレーグ「前 進する演劇」 ○オニール「皇帝ジョーンズ」 ○ロルカ「ベルナルダの家」 「蝶の呪い」 ○上海に崑曲伝習所開設 ○スウェーデン・パレエ団 結成 ○ラインハルト、ザルツブ ルグ演劇祭を創設 ○コポー「ヴィユ・コロ ンビエ学校」開設	1月：国際連盟設立(日 本も加盟) 8月：アメリカで婦人 参政権承認 ○上海で、コミンテル ン極東社会主義大会 (大杉栄出席)／第1次 大戦の戦後恐慌
1921 (大10)	2月：金子洋文らプロレ タリア文学「種蒔く人」 創刊 4月：足尾銅山ストラ イキ 7月：三菱、川崎造船所 大ストライキ、軍隊出動 ／小説家協会設立 11月：原敬首相東京駅 頭で刺殺(66歳)／フラ ンスの詩人クローデル、 駐日大使として着任 ○志賀直哉「暗夜行路」 ／倉田百三「愛と認識と の出發」／「船頭小唄」流 行	2月：平沢計七らの労働劇団、 第1回公演「血の党与」を南葛 飾で上演 3月：7世松本幸四郎、山本有 三作「嬰兒殺し」を有楽座で初 演 5月：藤蔭静枝(静樹)、新舞踊 「思凡」を有楽座で上演 9月：6世尾上菊五郎、山本有 三作「坂崎出羽守」を市村座で 初演 10月：岸田國士、コポーと会い、 ヴィユ・コロンビエ座付属の演 劇学校で聴講 12月：新国劇、中里介山作・ 行友李風脚色「大菩薩峠」(第1	○ピランデルロ「作者を探 す6人の登場人物」 ○モーム「サークル」 ○タイーロフ「演出家の覚 え書」 ○ハシェク「善良な兵士シ ュヴェイク」 ○ラインハルト「夢の劇」 演出 ○アッピア「生きている芸 術作品」 ○汪仲賢ら中国で、民衆劇 社結成 ○デュラン、アトリエ座を 創設 ○マザー「休みの日」	3月：ナチス党結成 7月：中国共産党結成 11月：ワシントン会 議 ○魯迅「阿Q正伝」/ アーサー・ウェリー「日 本の能楽」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	／この年、ストライキ246件、小作争議1680件	編)を明治座で初演 ○花子、年末に帰国(岐阜に隠居)／この頃から、浅草オペラ全盛となる ○村山知義渡独 ○菊池寛「屋上の狂人」	○ピランデルロ「作者を探す6人の登場人物」 ○クロムランク「堂々たるコキュ」 ○アドルフ・アッピア「生命ある芸術作品」 ○ショー「メトセラに帰れ」 ○トラー「群衆人間」 ○演劇雑誌「戯劇」創刊	
1922 (大11)	1月：大隈重信没(85歳) 1月：芥川龍之介「藪の中」 2月：山県有朋死去(85歳)／ワシントン海軍軍縮条約 3月：水平社宣言(全国水平社結成) 4月：日本農民組合結成 7月：日本共産党、非合法に結成 ○有島武郎「宣言ひとつ」／「週刊朝日」「サンデー毎日」創刊／全国で銀行の取り付け騒ぎ起こる／「ピエロの唄」「馬賊の唄」流行／この年、ストライキ270件、小作争議1917件	4月：先駆座、第1回試演会 7月：森鷗外没(61歳) 9月：ロシアのパプロフ舞踊団来日、帝劇で「瀕死の白鳥」などを上演 10月：2代目左団次、京都・知恩院で観衆10万人を集め、野外劇「織田信長」(作・松居松葉、演出・小山内薫)を上演 11月：土方与志、ドイツ留学に出発／岩田豊雄(獅子文六)、パリへ遊学 12月：石井漠、欧米巡業に出発	○モスクワ芸術座、ヨーロッパ公演、パリで「桜の園」「どん底」を上演 ○メイエルホリド「堂々たるコキュ」演出 ○ブレヒト「夜打つ太鼓」上演 ○トラー「機械破壊者」 ○ピランデルロ「エンリコ4世」 ○オニール「毛猿」 ○ヴィルドラック「商船テナシティ」 ○バーナード・ショー「メトセラへ帰れ」 ○人生戯劇専門学校創立 ○シャルル・デュラン「アトリエ座」設立	10月：イタリアでムッソリーニのファシスト政権成立 12月：ソビエト社会主義共和国連邦成立宣言 ○シュペングラー「西欧の没落」／ジョイス「ユリシーズ」／エリオット「荒地」／マルタン・デュ・ガール「チポー家の人々」
1923 (大12)	1月：菊池寛、「文芸春秋」創刊 2月：丸ビル竣工 3月：普選案否決 6月：第1次共産党大檢舉 6月：有島武郎、波多野秋子と心中 7月：金子光晴「こがね虫」／村山知義・柳瀬正夢ら「マヴォ」を結成 9月：関東大震災／平沢計七ら10名殺害される／大杉栄虐殺(45歳) ○震災恐慌起こる／ブリヂストンの地下足袋発売／「復興節」流行／この年、ストライキ270件、小作争議1917件	1月：村山知義らマヴォ結成 3月：6世尾上菊五郎、小山内薫作「息子」を帝劇で初演 4月：石井漠、ベルリン公演「プレリュード(苦難)」で絶賛を得る 10月：新国劇、日比谷音楽堂で大地震被災民慰問の野外劇を上演 12月：土方与志、帰国の途次、モスクワのメイエルホリド劇場で「大地は逆立つ」の舞台を観て衝撃を受ける ○村山知義ドイツから帰国	○ブレヒト「パール」「都会のジャングル」 ○カイザー「平行」 ○トラー「ヘンケマン」 ○メイエルホリド、マルチネの「大地は逆立つ」を演出、ドイツを旅行 ○バーナード・ショー「聖女ジョーン」 ○J・ロマン「クノック」 ○モスクワ芸術座、アメリカ公演(～24年) ○田漠、南国劇社創立 ○クレイグ「シーン」 ○ショー「聖ジョン」	6月：ドイツでマルク暴落 11月：ミュンヘン暴動 ○ルカーチ「歴史と階級意識」／リルケ「ドゥイノの悲歌」
1924 (大13)	4月：排日移民法アメリカ議会通過 7月：ラジオ放送開始 ○新感覚派台頭(川端康成、横光利一、岸田國土、中河与一、稲垣足穂など)	1月：「演劇新潮」創刊 2月：「音楽新潮」創刊 6月：土方・小山内「築地小劇場」創立、第1回公演でゲーリング作「海戦」ほかを上演 9月：同志座第1回公演で、真山青果作「玄朴と長英」を邦楽	○コポー、ヴィユ・コロンビエ座を閉鎖 ○ガンチョン「娼婦マヤ」 ○コクトー「オルフェ」 ○ガーシュイン「ラプソディー・イン・ブルー」初演 ○オニール「楡の木陰の欲	○ブルトン「シュールレアリスム第一宣言」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	／「スットントン節」流行／この年、ストライキ295件、小作争議1532件	座で初演 10月：新劇協会、岸田國土作「チロルの秋」を帝国ホテル演芸場で初演	望」 ○ピランデルロ「各人各説」 ○スタニスラフスキー「芸術におけるわが生涯」を米で出版 ○ブレヒト「エドワード2世の生涯」演出	
1925 (大14)	1月：日ソ国交回復 2月：共同印刷争議 3月：ラジオ放送始まる 4月：治安維持法公布 5月：普通選挙法公布(25歳以上の男性のみに選挙権) 7月：東京放送局、ラジオ放送開始 ○セーラー服流行／ラジオ普及／この年、ストライキ270件、小作相互2206件	4月：新橋演舞場開場、新橋芸妓による第1回「東おどり」上演 9月：村山知義・河原崎長十郎ら「心座」を結成、第1回公演でカイザー作「ユアナ」ほかを築地小劇場で上演 12月：トランク劇場結成 ○この年、築地小劇場、ピランデルロ、オニール、シング、ロマン・ロランらの作品を精力的に上演 ○山本有三「同志の人々」	○カワード「花粉熱」 ○ゴッドフレー、ロンドンに「ゲイト劇場」開設 ○ロマン・ロラン「愛と死の戯れ」 ○クロード「繻子の靴」 ○G・マルセル「神の人」 ○アルト「冥府の臍」 ○ルノルマン「卑怯者」 ○ロマショフ「空気饅頭」 ○北京芸術学院創立(33年開校) ○ピランデルロ「芸術劇場」結成	1月：トロツキー失脚 ○カフカ「審判」／チャプリン監督「黄金狂時代」／ヒトラー「わが闘争」／孫文没(59歳)
1926 (大15)	3月：労働農民党結成 5月：十勝岳噴火(死者144人) 12月：大正天皇没(48歳) ○保険金目当ての放火激増／「ヨサホイ節」「国境警備の歌」流行／モガの断髪流行／この年、ストライキ469件、小作争議2751件	1月：文芸家協会設立(劇作家協会と小説作家協会の合同による)／新国劇、エドモンド・ロスタン作・額田六福翻案「白野弁十郎」を邦楽座で初演 2月：トランク劇場、共同印刷争議応援で長谷川如是閑作「エチル・ガソリン」、武者小路実篤作「或る日の一休」を上演 3月：石井漠舞踊団、中国・朝鮮巡業(朝鮮で、崔承喜を見出す) 5月：青い鳥劇団、岸田國土作「紙風船」を初演 6月：井上正夫ら、藤森成吉作「磔茂左衛門」を浅草松竹座で初演 12月：千田是也らの前衛座第1回公演でルナチャルスキー作「解放されたドンキホーテ」を築地小劇場で上演／5世沢村田之助、岸田國土作「驟雨」を、帝劇で初演 ○坪内逍遙「役の行者」	○スタニスラフスキー、ロシア語版『芸術におけるわが生涯』を出版 ○メイエルホリド「検察官」、「吼えろ、支那」演出 ○ブルガーコフ「トゥルビエン家の日々」上演 ○アルト、ジャリ劇場設立 ○ブレヒト「男パールの履歴」作・演出 ○ベルク、歌劇「ヴォツェック」初演 ○オニール「偉大な神ブラウン」 ○クロード「繻子の靴」 ○世界演劇協会設立	5月：英国で炭鉱ゼネスト 7月：蒋介石、北伐開始 ○世界演劇協会設立(パリ)／ショーロホフ「静かなドン」(露／エイゼンシュタイン監督「戦艦ポチョムキン」)／米、NBC創立、ネットワーク放送開始
1927 (昭2)	3月：金融恐慌始まる 7月：芥川龍之介自殺(36歳)／岩波文庫発刊 12月：上野・浅草間に地下鉄開通 ○高村光太郎「ロダン」出版／「出船の港」流行／この年、ストライキ	1月：築地小劇場、帝劇に進出しカイザー「平行」ほかを上演 2月：井上正夫ら、真山青果作「平将門」を本郷座で初演 4月：新国劇、真山青果作「桃中軒雲右衛門」を市村座で初演 6月：日本プロレタリア芸術連盟分裂／第1書房「近代劇全集」	○ピスカートル、トラーの「どっこい、おいらは生きています」を演出、「ピスカートル舞台」を創設 ○ミュージカル「ショーボート」(アメリカン・ミュージカルの確立) ○ヘイワード「ポーギー」	○ジュネーブ軍縮会議 ○リンドバーク、大西洋無着陸横断飛行に成功／ハイデッカー「存在と時間」／ハイゼンベルク「不確定性原理」を発表

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	346件、小作争議2052件	刊行／前衛座分裂 9月：宝塚少女歌劇、岸田辰弥作レビュー「モン・パリ」初演 11月：労農芸術家連盟分裂／小山内薫、ロシア革命10周年に招かれ訪ソ、メイエルホリドと会う ○千田是也、ドイツに出発	○ロルカ「マリヤナ・ピネーダ」 ○イワーノフ「装甲列車」 ○イサドラ・ダンカン没 ○ブレヒト「マホガニー」作・演出 ○アルト「アルフレッド・ジャリ劇場」設立 ○トラー「どっこい生きてる」	
1928 (昭3)	2月：普通選挙実施／「赤旗」創刊 7月：アムステルダム・オリンピックで、織田幹雄・鶴田義行が金メダル、人見絹代が銀メダルを獲得 10月：日本共産党書記長・渡辺政之輔、台湾で警官に追い詰められ自殺 11月：ラジオ体操放送開始／警視庁、18歳未満の男女のダンスホール入場を禁止 ○「波浮の港」「モン・パリ」流行／この年、ストライキ332件、小作争議1866件	3月：プロレタリア演劇研究所開設／春陽堂「日本戯曲全集」刊行／全日本無産者芸術連盟(ナップ)結成 7月：2代目左団次、訪ソ公演(初の本格歌舞伎海外公演)。帰国時にスタニスラフスキーと会談 9月：左翼劇場、三好十郎の「首を切るのは誰だ」を報知講堂で初演 10月：演劇雑誌「悲劇喜劇」創刊 12月：小山内薫没(48歳)／築地小劇場分裂 ○三好十郎「傷だらけのお秋」	○ブレヒト「三文オペラ」初演 ○オニール「奇妙な幕間狂言」 ○コクトー「エデップ王」 ○ジロドゥ「ジークフリード」 ○ロマン・ロラン「愛と死の戯れ」 ○田漢ら中国で、南国社結成 ○キルション「風の街」 ○グループ・シアター、マーティンバック劇場で試演会 ○ピスカートル「実直な兵士シュベイクの冒険」、 「三文オペラ」演出 ○エレン・テリー没(81歳) ○メイエルホリド、パリに滞在 ○ベルイマン「ならず者」 ○ジロドゥ「ジークフリード」	
1929 (昭4)	日本プロレタリア作家同盟設立 3月：小林多喜二「蟹工船」／大学卒業者の就職難深刻化、東大卒で約30% 4月：島崎藤村「夜明け前」 6月：徳永直「太陽のない街」 7月：浜口内閣成立 8月：改造社の懸賞文芸評論で、1等が宮本顕治「敗北の文学」、2等が小林秀雄「様々なる意匠」 ○「東京行進曲」「君恋し」流行／この年、ストライキ494件、小作争議2434件	3月：沢田正二郎没(38歳)／築地小劇場で小山内薫追悼公演「夜の宿」上演。千秋楽をもって、築地小劇場分裂。残留組は劇団築地小劇場となる 4月：心座「トラストD・E」上演 5月：土方・丸山ら新築地劇団旗揚げ 6月：左翼劇場、築地小劇場で村山知義の「全線」(「暴力団記」)初演 7月：浅草水族館でカジノフォーリー発足(榎本健一ら) 8月：劇団築地小劇場、本郷座でトレチャコフの「吼えろ支那」初演 9月：新歌舞伎座開場式(34年新宿第一劇場と改称) 10月：日本プロレタリア劇場同盟(プロット)結成 11月：劇団築地小劇場、本郷座でレマルク作・村山知義脚色「西部戦線異状なし」を初演	○メイエルホリド、「南京の虫」、「トラストDE」演出 ○パニョル「マリウス」 ○クローデル「繻子の靴」 ○アシャール「お月さまのジャン」 ○モンパルナス座創立 ○ブレヒト「マホゴニー市の興亡」 ○ライカ「街の風景」 ○イワーノフ「封鎖」 ○ジロドゥ「アンフィトリオン38番地」	10月：ウォール街の株暴落、世界経済恐慌起こる「暗黒の木曜日」 ○レマルク「西部戦線異状なし」／ヘミングウェイ「武器よさらば」／フレミング、ペニシリンを発見

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
		12月：川尻東次ら、人形クラブ(後に、人形劇団プーク)を結成／帝劇、松竹の経営となり、全俳優松竹に移る(40年から、東宝の経営に)／小林多喜二の「蟹工船」、「北緯50度以北」と改題され、新築地劇団により帝国劇場で上演／築地小劇場分裂(劇団築地小劇場と新築地劇団に)／左翼劇場、築地小劇場で「全線」を上演(演出・佐野碩)		
1930 (昭5)	1月：金解禁 2月：第2回普通選挙 6月：失業者増大 6月：「プロレタリア文学」創刊 9月：米価大暴落 10月：特急つばめ運転開始 11月：浜口首相、東京駅で狙撃さる ○カフェー全盛、エロ・グロ・ナンセンス時代 ／「祇園小唄」流行／この年、ストライキ763件、小作争議2478件	1月：大阪四ツ橋の近松座を改装し文楽座開場 2月：左翼劇場、村山知義の演出で「太陽のない街」上演 4月：6世尾上菊五郎の日本俳優学校開校(36年解散) 6月：青山杉作・友田恭助らの劇団新東京、東京劇場で「フィガロの結婚」上演 8月：劇団築地小劇場解散／左翼劇場、村山知義の演出で「太陽のない街」上演 12月：市川猿之助「春秋座」結成	5月：筒井徳二郎一座(日本劇協会)、ピガール座で「恋の夜桜」(「鞆当」)、「京の人形」「勸進帳」「影の力」を上演 ○メイエルホリド、パリで筒井徳二郎一座の歌舞伎を観る、メイエルホリド劇場ドイツとパリで公演 ○ゴードン・クレーグ「ヘンリー・アーヴィング」「演出—1926」 ○ユリウス・バーブ「演劇社会学」 ○コクトー「声」 ○パッスール「買う女」 ○ロルカ「すてきな靴屋のおかみさん」	1月：ロンドン軍縮会議 3月：ガンジー、不服従運動で投獄 4月：マヤコフスキー自殺 ○ムジール「特性のない男」(オーストリア)／ラスキ「近代国家における自由」
1931 (昭6)	1月：日本農民組合結成 8月：浜口首相没(62歳) 9月：満州事変勃発 10月：日本プロレタリア文化連盟(コップ)結成 ○井上日召「血盟団」結成／「酒は涙か溜息か」流行／この年、ストライキ864件、小作争議3419件	1月：2世市川猿之助ら松竹を脱退して春秋座を再建、トレチャコフの「アジアの嵐」を市村座で上演(5月に解散) 2月：金杉悳郎・長岡輝子らテアトル・コメディを結成(36年解散) 3月：13世守田勘弥ら、長谷川伸作「瞼の母」を明治座で初演／左翼劇場、佐野碩の演出で「西部戦線異状なし」を市村座で上演 4月：プロレタリア演劇研究所設立 5月：春秋座解散後、河原崎長十郎・中村翫右衛門ら前進座結成／佐野碩、アメリカへ向け出国(8月：NYで石垣栄太郎・綾子に会う) 9月：佐野碩、ベルリンで千田是也とともに国際労働者救援会第8回大会に参加 11月：ナップ解散し、日本プロレタリア文化連盟(コップ)結成／千田是也帰国	○クラーマン、ストラスバークらグループ・シアター結成 ○オニール「喪服の似合うエレクトラ」 ○ソーントン・ワイルダー「長いクリスマスディナー」 ○カワード「私生活」 ○ブライディ「解剖学者」 ○ゴードン・クレーグ「エレン・テリーとその秘められた自己」 ○ジロドゥ「ジュデイト」 ○マルタン・デュ・ガール「沈黙の人」 ○ブレヒト「男は男だ」作・演出 ○中国左翼戯劇家連盟結成	4月：スペイン革命、共和国宣言 ○パプスト監督「三文オペラ」／シャレル監督「会議は踊る」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
		12月：浅草オペラ館開場／新宿にムーランルージュ開場		
1932 (昭7)	1月：上海事変 2月：井上準之助暗殺(64歳)／リットン調査団来日 3月：満州国建国宣言 5月：5・15事件、犬養首相暗殺さる(78歳) ○軍需工業好況／野呂栄太郎ら『日本資本主義発達史講座』／ロスアンゼルス・オリンピック水上競技で5種目優勝／山本有三「女の一生」／「影を慕ひて」流行／この年、ストライキ778件、小作争議3414件	2月：友田恭助・田村秋子ら築地座結成、オニールの「楡の木陰の欲望」などを飛行館で上演 3月：千田是也ら東京演劇集団(TES)、ブレヒト作「三文オペラ」を新歌舞伎座で初演 5月：俳優チャップリン来日 8月：東京宝塚劇場創立 8月：伊井蓉峰没(62歳) 9月：大阪歌舞伎座新築開場 11月：東山千栄子・青山杉作らの劇団東京、帝国ホテル演芸場でツクマイヤー作「楽しき葡萄畑」を上演	○シェイクスピア記念劇場開場 ○プリーストリー「危険な曲り角」 ○ブレヒト「屠殺場の聖ヨハンナ」、「母」 ○合衆国労働者演劇同盟設立 ○ハワード・ロースン「成功物語」 ○アスイ「貂」	7月：ナチス、第1党となる ○オストロスキー「鋼鉄はいかに鍛えられたか」／トロツキー「ロシア革命史」
1933 (昭8)	2月：小林多喜二、特高の拷問で死去(31歳) 3月：日本、国際連盟脱退／共産党非合法化 4月：吉野作造没(56歳) 5月：京大、滝川事件 6月：丹那トンネル開通／佐野学など獄中転向相次ぐ 10月：日本国家社会主義全国協議会結成 11月：片山潜、ソ連で客死(75歳) ○尾崎士郎「人生劇場」／三原山自殺流行／「サーカスの唄」「島の娘」流行／ヨーヨー大流行／この年、ストライキ525件、小作争議4000件	2月：バーナード・ショー来日 4月：土方与志一家、モスクワへ向け出発(12月より、土方はモスクワ市立革命劇場演出班に所属、佐野碩はメイエルホリド劇場の研究員となる) 6月：左翼劇場・新築地劇団、久保栄作「五稜郭血書」を飛行館で初演 7月：松居松翁(松葉)没(64歳) 8月：東京宝塚劇場開場／築地小劇場改築 10月：築地小劇場創立10周年記念改築竣工公演として坪内逍遙訳「ハムレット」を築地小劇場で上演 11月：日本劇場(日劇)開場	○ロルカ「血の婚礼」 ○ジロドゥ「間奏曲」 ○マルセル「こわれた世界」 ○ルノルマン「演劇の黄昏」 ○オニール「ああ荒野」 ○コールドウエル「タバコ・ロード」 ○プリーストリー「エデンの果て」 ○ロマショフ「戦士たち」 ○ポゴージン「貴族」 ○エリオット「寺院の殺人」 ○ブレヒト亡命	1月：ヒトラー内閣成立 3月：ルーズベルト、大統領就任 6月：米でニューディール政策開始 6月：モスクワで国際演劇オリンピック開催(佐野・土方参加) 11月：リー・ストラスパーク、モスクワに滞在 ○アインシュタイン、トーマス・マン、ツヴァイク(34年)らドイツから亡命／マルロー「人間の条件」
1934 (昭9)	3月：武藤山治暗殺(48歳) 6月：文部省に思想局新設 12月：ワシントン軍縮条約を破棄 ○芥川・直木賞設置／湯川秀樹、中間子論発表／東北地方の冷害・大凶作で娘の身売り、行き倒れ、自殺増大／「国境の町」 「赤城の子守唄」流行／この年、ストライキ562件、小作争議5828件	5月：雑誌「テアトロ」創刊 8月：第1回全ソ作家同盟で土方が報告演説し、小林多喜二の虐殺を非難、爵位を剥奪される新協劇団結成 9月：新協劇団結成／創作座結成、真船豊作「馳」を飛行館で初演 10月：11世片岡仁左衛門死去(78歳) 11月：新協劇団、築地小劇場で「夜明け前」第1部初演／6世尾上梅幸没(65歳)	○ソ連、社会主義リアリズム路線を打ち出す ○メイエルホリド、デュマの「椿姫」を演出 ○ロルカ「イエルマ」 ○曹禺「雷雨」 ○メキシコ国立劇場設立 ○ロンドンのゲイト劇場閉鎖	3月：溥儀、満州国皇帝となる 8月：ヒトラー、ナチス総統となる 9月：ソ連、国際連盟加入 ○トインビー『歴史の研究』(～61年)
1935 (昭10)	1月：美濃部達吉の天皇機関説問題化 7月：陸軍内部で皇道派・	2月：坪内逍遙没(77歳) 4月：築地座、小山祐土作「瀬戸内海の子供ら」を飛行館で初	○エリオット「寺院の殺人」 ○アルト「チェンチ一族」演出	3月：ドイツ、再軍備宣言 ○ヤスパース「理性と

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	統制派の対立激化 8月：永田軍務局長刺殺 11月：全日本労働総同盟成立／日本ペンクラブ結成(会長・島崎藤村) 12月：大本教検挙 ○山本有三「真実一路」／平均寿命 男性44.8歳、女性46.5歳／「二人は若い」流行／この年、ストライキ531件、小作争議6824件	演 9月：6世尾上菊五郎ら、宇野信夫作「巷談宵宮雨」を歌舞伎座で初演 11月：国家の映画統制機関「大日本映画協会」設立	○ジロドゥ「トロイ戦争は起らないだろう」 ○オデッツ「醒めて歌え」 ○ミュージカル「ポーギーとベス」(ガーシュイン) ○ロルカ「血の婚礼」 ○ヴォルフ「ママロック教授」 ○アメリカン・バレエ結成	実存』／チャペック「山椒魚戦争」
1936 (昭11)	2月：2・26事件で斎藤実(79歳)・高橋是清(83歳)暗殺 11月：日独防共協定調印 ○永井荷風「溼東綺譚」、堀辰雄「風たちぬ」、北条民雄「いのちの初夜」、吉川英治「宮本武蔵」／「ああそれなのに」 「東京ラブソディー」流行／この年、ストライキ498件、小作争議5769件	1月：シャリアピン独唱会(日々谷公会堂)／井上正夫、明治座で亀屋原徳作「海鳴り」を上演(井上、新派と新劇の間をゆく「中間演劇」と称される) 2月：築地座解散 4月：第1回団菊祭開催(歌舞伎座) 8月：佐野碩、土方一家国内退去を命じられロシアを出獄、パリに向かう 10月：新派、川口松太郎作「風流深川唄」を東京劇場で初演	○コポー、コメディ・フランセーズの演出家となる ○アスイ「荷物のない旅行者」 ○メイエルホリドへの批判高まる ○ロルカ「ベルナルド・アルバの家」 ○田漢「洪水」 ○ゴーリキー没(68歳) ○スタニスラフスキーの『俳優修行』アメリカで出版	7月：スペインで内乱始まる 8月：ベルリン・オリンピック大会(前畑秀子金メダル) ○ゴーリキー軟禁／ジイド『ソビエト紀行』／ケインズ「雇用・利子および貨幣の一般理論」／オパーリン『生命の起源』
1937 (昭12)	2月：文化勲章制定 3月：文部省「国体の本義」配布 4月：第1回文化勲章授与式 6月：第1次近衛内閣成立 7月：盧溝橋事件／日華事変始まる 10月：国民精神総動員中央連盟結成 11月：日独伊防共協定調印／大本営設置 10月：中原中也没(31歳)／国民精神総動員中央連盟結成 12月：日本軍、南京占領、大虐殺／山川均、大森義太郎ら労働派など400人余を逮捕 ○横光利一「旅愁」、石坂洋次郎「若い人」／「人生劇場」 「露営の歌」流行／この年、ストライキ530件、小作争議6170件	2月：松竹(株)発足 3月：築地小劇場、久板栄二郎作「北東の風」を築地小劇場で初演 7月：国際劇場開場、松竹少女歌劇「国際東京踊り」上演 8月：満州映画協会設立 9月：文学座結成(岸田國士、岩田豊雄、久保田万太郎) 10月：新築地劇団、長塚節作「土」を築地小劇場で初演／新派、村松梢風原作・巖谷真一脚色「残菊物語」を明治座で初演	○プリーストリー「時とコウンウェイ家」 ○オデッツ「ゴールデン・ボーイ」 ○スタインベック「二十日鼠と人間」 ○モーリヤック「アスモデ」 ○アスイ「泥棒たちの舞踏会」 ○コクトー「円卓の騎士たち」 ○モーリヤック「アスモデ」 ○ソ連共産党、エイゼンシュティンを批判	4月：ドイツ空軍、スペインのゲルニカを猛爆(死傷者2000余人) ○パリ万博に、ピカソ「ゲルニカ」を出品／ルノワール監督「大いなる幻影」
1938 (昭13)	4月：国家総動員法公布／電力管理法(電力の国家管理)／落語家・漫才	1月：岡田嘉子・杉本良吉、樺太からロシアへ越境、亡命するも、逮捕・拷問を受ける／新派、	○メイエルホリド劇場閉鎖 ○スタニスラフスキー、メイエルホリドをモスクワ芸	3月：ドイツ、オーストリアを併合 ○サルトル「嘔吐」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	師の戦線慰問団「わらわし隊」第1陣出発 8月：ヒトラー・ユーゲント来日 10月：日本軍、武漢3鎮を占領 ○竹製スプーン・鮫皮靴・木製バケツなど代用品発売／「別れのブルース」「支那の夜」「麦と兵隊」「日の丸行進曲」流行／この年、ストライキ224件、小作争議4615件	川口松太郎作「鶴八鶴次郎」を明治座で初演 3月：文学座、第1回公演に森本薫作「みごとな女」ほかを飛行館で上演 4月：石井漠、自由が丘に石井漠舞踊学校を開設 6月：新協劇団、久保栄作「火山灰地」第1部を築地小劇場で上演／エノケン一座、日劇に初出演 8月：佐野碩、ニューヨークで石垣栄太郎・綾子夫妻と再会 10月：花柳正太郎・柳永二郎・伊志井寛・大矢市次郎ら、明治座で川口一郎作「島」ほかを上演 12月：新劇協同公演で、文学座「秋水嶺」「釣堀にて」、新築地劇団「ハムレット」、新協劇団「千万人と雖も我行かん」を有楽座で上演	術座に迎える○ソーントン・ワイルダー「わが町」 ○アルトー「演劇とその形而上学(分身)」 ○コクトー「恐るべき親たち」 ○マルセル「渴き」 ○ブレヒト「第3帝国の恐怖と貧困」 ○アヌイ「泥棒たちの舞踏会」 ○スタニスラフスキー自宅幽閉のまま死去(73歳)	
1939 (昭14)	1月：近衛内閣総辞職 4月：陸軍美術協会結成／国策ペン部隊、満州へ出発 5月：ノモンハン事件 12月：朝鮮総督府、朝鮮人氏名に関する件公布(創氏改名)／門松全廃／グルー米大使、日米新通商航海条約の締結を拒否 ○「父よあなたは強かった」 「太平洋行進曲」 「上海の花売娘」流行／この年、ストライキ290件、小作争議3578件	3月：岡本綺堂没(68歳) 4月：佐野碩、メキシコに入国 4月：藤原歌劇団、「カルメン」を歌舞伎座で上演 9月：泉鏡花没(67歳)／ロシア・オペラ・バレエ団の公演禁止(外国劇団の公演不可能となる) 10月：杉本良吉、スパイ容疑で銃殺 11月：花柳正太郎・柳永二郎・伊志井寛・大矢市次郎ら、劇団新生新派結成 12月：イトウ・リサイタル(伊藤道郎)、軍人会館でイエーツ作「鷹の井戸」などを上演	○ジロドゥ「オンディーヌ」 ○ロマン・ロラン「ロベスピエール」 ○クローデル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」 ○サローヤン「君が人生の時」 「わが心高原に」 ○オニール「氷屋来る」 ○グループ・シアター解散 ○エリオット「一族再会」	9月：ドイツ、ポーランドを侵略し第2次世界大戦始まる ○スタインベック「怒りの葡萄」
1940 (昭15)	1月：静岡市に大火、5100戸焼失 3月：入場税法公布 4月：陸軍志願兵令公布 7月：第2次近衛内閣成立／大本営政府連絡会議、武力行使を含む南進政策を決定／労働組合、次々に解散 8月：大日本農民組合解散 9月：日独伊三国同盟、ベルリンで調印 10月：大政翼賛会発足(岸田國士、大政翼賛会文化部長に就任)／東京のダンスホール閉鎖	1月：井上正夫一座、北條秀司作「閣下」を明治座で初演 2月：2世市川左団次没(61歳)／新協劇団、日本文化中央連盟主催皇紀2600年奉祝芸能祭に参加、長田秀雄作「大仏開眼」を築地小劇場で初演 3月：新築地劇団、三好十郎作「浮標」を築地小劇場で初演 5月：新協劇団、真船豊作「逃走譜」を築地小劇場で初演 6月：大日本舞踊連盟新舞踊部公演として、帝劇で藤蔭静枝「富士縁起」、初世花柳寿美「八雲起出雲阿国」を上演 8月：新協劇団・新築地劇団に解散命令(千田是也・滝沢修ら	○T・ウィリアムズ「天使たちの戦い」 ○コクトー「聖なる怪物」 ○ムンク「独裁者」	2月：メイエルホリド銃殺(48歳) 4月：ドイツ、ノルウェーを急襲 4月：ドイツ、デンマークを無血占領 6月：イタリア、英仏に宣戦布告 6月：ドイツ軍、パリに無血入城 8月：八路軍、華北で第規模な遊撃戦を展開 8月：トロツキー、メキシコで暗殺さる(61歳) 9月：ドイツ、ロンドンを猛爆撃

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	○「荒鷲の歌」「蘇州夜曲」流行／この年、ストライキ239件、小作争議3165件	100人余検挙) 9月：東宝移動文化隊結成／岸田國士大政翼賛会文化部長就任 11月：築地小劇場、戦時統制のため「国民新劇場」と改称／松竹移動演劇隊結成 12月：内務省の勧告により演劇雑誌第1次統合		○ブルガーコフ「巨匠とマルガリータ」(発表されたのは1966年)
1941 (昭16)	4月：日ソ中立条約、モスクワで調印 5月：東京で、たばこ1人1箱売り厳守 6月：日本軍、南部仏印進駐 10月：近衛内閣総辞職し、東条内閣成立／乗用車のガソリン使用、全面禁止 12月：ハワイ真珠湾攻撃、太平洋戦争始まる ○高村光太郎「智恵子抄」／防空頭巾・もんぺ・ゲートルの非常時服急増／「めんこい小馬」 「大政翼賛会の歌」流行／この年、労働争議159件、小作争議3308件	2月：李香蘭、日劇に出演、群集殺到／崔承喜、欧米より帰国し、歌舞伎座で公演 3月：前進座、真山青果作「元禄忠臣蔵」全編の系統的上演開始(～43年11月) 4月：「国民演劇」創刊 6月：日本移動演劇連盟結成 7月：土方与志帰国、即逮捕・投獄 9月：音楽雑誌第1次統合 12月：中村吉蔵没(65歳)	○ブレヒト「肝っ玉おっ母とその子供たち」 「アルトゥロ・ウイの抑えることもできた隆盛」 ○オニール「夜への長い旅路」 ○リリアン・ヘルマン「ラインの監視」 ○アヌイ「ユーリデス」	3月：ブルガリア、日独伊3国同盟に参加 5月：スターリン首相に就任(露) 6月：独ソ戦始まる 10月：ドイツ、モスクワ攻撃を開始 12月：ヒトラー、モスクワ攻撃放棄を指令
1942 (昭17)	1月：日本軍マニラを占領 2月：味噌・醤油切符制となる／大日本婦人会発足 5月：与謝野晶子没(65歳) 6月：ミッドウエー海戦で敗れる 11月：北原白秋没(58歳) 12月：ガダルカナル島撤退を決定 ○標語「欲しがりません勝までは」流行／「湯島の白梅」「新雪」流行／この年、労働争議173件	2月：宇野重吉・信欣三ら瑞穂劇団結成 3月：河合武雄没(66歳) 4月：文化座、創立第1回公演「武蔵野」を国民新劇場で上演 5月：文学座、岩下俊作・森本薫脚色「富島松五郎伝」(丸山定夫主演)を国民新劇場で初演 10月：演劇雑誌統合 12月：薄田・丸山ら苦楽座結成	○ワイルダー「危機一髪」 ○モンテルラン「死せる女王」 ○シモーノフ「ロシアの人々」 ○郭末若「屈原」	1月：ナチ指導者、1100万人の欧州ユダヤ人の殺害を決定 8月：ドイツ軍、スターリングラード猛攻撃 11月：米英連合軍、北アフリカ上陸作戦を開始 11月：ソ連軍、スターリングラードで大反撃開始 ○カミュ「異邦人」
1943 (昭18)	1月：内務省・情報局、ジャズなど英米楽曲約1000種の演奏を禁止 2月：ガダルカナル島から撤退を開始 3月：兵役法を改正、朝鮮に徴兵制を施行 5月：米軍、アッツ島上陸、日本軍玉砕 11月：兵役法改正、45歳まで延長	1月：日本移動演劇連盟設立 3月：古川緑波一座、菊田一夫作「花咲く港」を帝劇で初演 6月：移動演劇東京特別公演「たちちねの海」「かえらじと」上演 ／井上演劇道場、山本有三の「米百俵」を東京劇場で初演 10月：滝沢修・青山杉作ら芸文座を結成し、武者小路実篤作「三笑」を帝劇で上演 11月：情報局の指示により第2	○サルトル「蝮」(実存主義演劇) ○ジロドゥ「ソドムとゴムラ」 ○アヌイ「アンチゴース」 ○ブレヒト「ガリレイの生涯」 「セチュアンの善人」 ○ウーゴ・ベッティ「大洪水」 ○ミュージカル「オクラホマ」(ロジャーズ曲)	5月：ドイツ軍、北アフリカ戦線で降伏 6月：英米軍、ドイツに昼夜の混合爆撃開始 9月：イタリア、無条件降伏 ○サルトル「存在と無」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇	海外演劇	世界のできごと
	12月：坂口安吾「日本文化私観」／第2回大東亜戦争美術展(都美術館) ○「加藤隼戦闘隊」流行／この年、労働争議293件	次雑誌統合を行い、雑誌「日本演劇」創刊 12月：古典芸能の記録保存のため、歌舞伎座で「勸進帳」撮影	○ラインハルト没(70歳) ○ダンチェンコ没(84歳)	
1944 (昭19)	2月：米機動隊、トラック島空襲 6月：米軍、サイパン島に上陸／マリアナ海戦で日本軍大敗 7月：東条内閣総辞職 8月：学童疎開始まる 10月：レイテ沖海戦で日本軍、連合艦隊の主力を失う 11月：B29による本土空襲始まる ○食料の欠乏で、のら犬が野生化、東京都毒まんじゅうの撒布を実施／「同期の桜」「ラバウル小唄」流行／この年、労働争議216件	2月：俳優座結成(青山杉作・千田是也・東野英治郎・小沢栄太郎・東山千栄子ら)／決戦非常措置令で、歌舞伎座など19劇場を閉鎖 3月：松竹少女歌劇団解散、松竹芸能本部女子挺身隊を結成 5月：文学座、森本薫作「怒涛」を国民新劇場で初演 7月：文化座、三好十郎作「おろき」を国民新劇場で初演 10月：国民新劇場で飯沢匡作「鳥獣合戦」を初演	○アスイ「アンチゴース」 ○サルトル「出口なし」 ○カミュ「誤解」 ○T・ウィリアムズ「ガラスの動物園」 ○アルベルティ「すばらしい女」	1月：ソ連軍、レニングラードを解放 6月：連合軍、ノルマンジーに上陸 8月：連合軍、パリに入城 10月：ソ連軍、ドイツ国境を突破
1945 (昭20)	3月：東京大空襲 8月：広島・長崎に原爆投下 8月15日：敗戦(ポツダム宣言受諾) 8月28日：マッカーサー、厚木に到着 9月：ミズリー艦上にて降伏文書に署名／軍需生産全面停止／米軍、東京に進駐／GHQ新聞・報道の検閲開始 10月：「赤旗」再刊 11月：財閥解体 12月：労働組合法公布／第1次農地改革始まる／日本文芸家協会再建 ○メチルアルコールによる死亡者続出／食糧危機深刻化／「お山の杉の子」「勝利の日まで」流行／この年、労働争議95件	3月：空襲により、明治座・国民新劇場・浅草国際劇場・中座・角座・文楽座・御園座など焼失 4月：文学座、森本薫作「女の一生」を渋谷・東横映画劇場で初演／花子没(77歳) 5月：空襲で、歌舞伎座・新橋演舞場など焼失 6月：(社)能楽協会設立 8月：移動演劇隊桜隊、広島で被爆、丸山定夫ら9名死亡 8月15日：この日より1週間、全国の映画・演劇興行停止を休業 9月：東京劇場、戦後初興行。市川猿之助一座、「黒塚」「弥次喜多東海道膝栗毛」を上演 10月：GHQ民間情報部、民主主義演劇の確立を示唆／土方与志釈放／松竹歌劇団、戦後第1回公演を浅草大勝館で行う 11月：GHQ、東京劇場で上演中の「菅原伝授手習鑑」の寺子屋の段を反民主主義的として中止命令 12月：東京芸術劇場結成(久保栄・滝沢修・薄田研二ら)／俳優座・文学座・東京芸術劇場などの新劇合同公演、チューホフ作「桜の園」有楽座で上演	○ジロドワ「シャイヨの狂女」 ○カミュ「カリギュラ」 ○モーリヤック「愛されぬ人々」 ○ポーポワール「無用の人々」 ○ミュージカル「回転木馬」(ロジャーズ曲) ○ヴァイゼンボルン「非合法の人々」 ○オペラ「白毛女」 ○カントール「ユリシーズの帰還」を演出	2月：米英ソのヤルタ会談 4月：ルーズベルト没(63歳)／30日、ヒトラーベルリンの地下壕で自殺(56歳) 5月：ベルリン陥落 8月：ソ連、対日宣戦布告／インドネシア独立宣言(17) 9月：ベトナム民主共和国成立宣言(2日) 10月：国際連合成立(24日) 12月：ユネスコ創設 ○オーウェル「動物農場」

参考文献(1946年以降)：『平成史全記録』(毎日新聞出版)、『平成世相風俗史年表』(河出書房新社)、『現代演劇60's～90's』(平凡社)、『劇的ルネッサンス』(リプロポート)、『劇談』(小学館)、『日本の現代演劇』(岩波書店)、『アングラ演劇論』(作品社)、『劇的クロニカル』(論創社)ほか

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 <small>※作品は基本、初演年</small>	海外演劇 <small>★=世界のできごと</small>
1946 (昭21)	1月：昭和天皇「人間宣言」 2月：新円切り替え 5月：極東国際軍事裁判所開廷 11月：日本国憲法公布 ○本「完全なる結婚」「凱旋門」 「世界」「展望」「中央公論」「改造」など雑誌の創刊・復刊相次ぐ／映画「わが青春に悔なし」「鉄腕ターザン」「カサブランカ」／流行歌「リンゴの唄」「東京の花売娘」「悲しき竹笛」「ビギン・ザ・ビギン」／六大学野球・全国中等学校野球・競馬など復活	1月：村山知義らが新協劇団を再建 3月：東京芸術座、イプセン「人形の家」(島村抱月訳、土方与志演出)で第1回公演／俳優座、ゴーゴリ「検察官」(米川正夫訳、青山杉作・千田是也演出)で第1回公演 10月：「テアトロ」復刊(土方与志・村山知義共同編集)／川上貞奴没(75歳)／森本薫没(34歳)	ジャン＝ルイ・バロー、妻のマドレーヌ・ルノーとルノー・バロー劇団創立 E.オニール「氷屋来たる」 J.P.サルトル「墓場なき死者」「恭しき娼婦」 ★チャーチル「鉄のカーテン」演説、冷戦の始まり
1947 (昭22)	4月：教育基本法、学校教育法各公布、6・3・3学制発足 9月：キャサリン台風、死者2,247人 11月：連合軍から禁止の『仮面手本忠臣蔵』の通し上演許可 12月：演劇、映画の入場税15%実施 ○「鐘の鳴る丘」「日曜娯楽版」「二十の扉」「街頭録音」などラジオで人気／本「肉体の門」「ノンちゃん雲に乗る」「ビルマの堅琴」「嘔吐」／映画「長屋紳士録」「素晴らしき日曜日」「ガス燈」／流行歌「東京ブギウギ」「港が見える丘」「星の流れに」「炭坑節」	3月：「林檎園日記」(久保栄作・演出／東京芸術劇場) 5月：新宿ムーランルージュ再開／三越劇場で「中橋公館」(真船豊作、千田是也演出俳優座)、戦後新劇の三越時代の始まり 7月：滝沢修、宇野重吉らが民衆芸術劇場(第一次民芸)結成 11月：「悲劇喜劇」創刊	B.ブレヒト「ガリレイの生涯」米で初演 T.ウィリアムズ「欲望という名の電車」ブロードウェイで初演 A.ミラー「みんなわが子」ブロードウェイ初演、トニー賞、ニューヨーク劇評家賞 J.ジュネ「女中たち」 L.オリヴィエにナイトの称号
1948 (昭23)	1月：帝銀事件、行員12人が毒殺される 5月：美空ひばり、横浜国際劇場でデビュー 6月：太宰治、玉川上水で入水自殺(38歳) 11月：極東国際軍事裁判、戦犯25人に有罪判決 ○本「青い山脈」「罪と罰」／映画「酔いどれ天使」「美女と野獣」「イワン雷帝」／流行歌「異国の丘」「憧れのハワイ航路」「フランチェスカの鐘」	1月：民衆芸術劇場第1回公演「破戒」(村山知義脚色、村山・岡倉士朗演出) 3月：山本安英、木下順二ら「ぶどうの会」結成、「彦市ばなし」などで第1回勉強会 6月：「その人を知らず」(三好十郎作、佐佐木隆演出／文化座) 9月：秋田雨雀主宰、舞台芸術学院(舞芸)開校 ○新橋演舞場、名古屋御園座、浅草国際劇場、大阪角座など復興開場／松竹新喜劇、大阪中座で初公演	T.ウィリアムズ「欲望という名の電車」ピュリツァー賞 B.ブレヒト「ブンティラの旦那と下僕マッティ」ベルリーナ・アンサンブル結成 J.P.サルトル「汚れた手」 A.アルトナー没(52歳) ★ガンジー暗殺 ★アラブ諸国、イスラエルへ侵攻開始パレスティナ戦争勃発
1949 (昭24)	3月：前進座座員69人、共産党に入党 8月：松川事件、列車転覆で3人死亡 4月：GHQ、1ドル=360円の単一為替レート発表 11月：湯川秀樹博士、日本人初	3月：「挿話(エピソード)」(加藤道夫作、長岡輝子演出／文学座)／「山脈」(木下順二作、岡倉士朗演出／民藝) 5月：千田是也「近代俳優術」刊行／俳優座実験劇場第1回「フィガロの結婚」(ポーマルシェ作、内藤濯訳、青山杉作演出) 8月：「礼服」(秋元松代作、岡倉士朗演出／俳優座)	B.ブレヒト「胆っ玉おっ母とその子供たち」 A.ミラー「セールスマンの死」(エリア・カザン演出)トニー賞演劇作品賞、ニューヨーク劇評家賞、ピュリ

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>のノーベル物理学賞</p> <p>○アメリカンスタイル大流行、洋裁学校激増／プロ野球入場者460万人、パシフィック、セントラルリーグ結成／本「仮面の告白」「本日休診」「この子を残して」「きけわだつみのこえ」「菊と刀」「25時」／映画「青い山脈」「野良犬」「痴人の愛」「大なる幻影」「腰抜け二挺拳銃」／流行歌「銀座カンカン娘」「長崎の鐘」「さくら貝の歌」</p>	<p>創作劇研究会)</p> <p>9月：文学座、アトリエ公演第1回「わが心高原に」(サローヤン作、倉橋健・加藤道夫訳、加藤演出)(会場は毎日ホール。信濃町のアトリエでの公演は50年から)</p> <p>10月：「夕鶴」(木下順二作、岡倉士朗演出／ぶどうの会発表会)</p> <p>11月：俳優座が演劇研究所付属養成所を創設</p>	<p>ツアー賞</p> <p>A.カミュ「正義の運び」と</p> <p>★北大西洋条約機構(NATO)組織</p> <p>★ドイツ連邦共和国(西ドイツ)臨時政府</p> <p>★中華人民共和国成立、主席毛沢東</p> <p>★ドイツ民主共和国(東ドイツ)成立</p>
1950 (昭25)	<p>7月：放火で金閣寺全焼</p> <p>11月：プロ野球初の日本選手権試合(日本シリーズ)、毎日オリオンズ優勝</p> <p>12月：「貧乏人は麦を食え」と池田勇人蔵相発言</p> <p>○女性の平均寿命が60歳を超える(61.4歳、男は58.0歳)／本「細雪」「宮本武蔵」「チャタレイ夫人の恋人」、ノーマン・メイラー「裸者と死者」、カミュ「ペスト」、サルトル「自由への道」など外国文学の翻訳盛ん／映画「暁の脱走」「羅生門」／流行歌「夜来香」「東京キッド」「あざみの歌」「モナリザ」</p>	<p>3月：「キティ颱風」(福田恆存作、長岡輝子演出／文学座)</p> <p>4月：滝沢修、岡倉士朗、宇野重吉らが劇団民藝(第二次民藝)結成</p> <p>11月：「崑崙山の人々」(飯沢匡作／九段高校)</p> <p>12月：近代能楽集「邯鄲」(三島由紀夫作、芥川比呂志演出／文学座アトリエ)／民藝第1回公演「かもめ」(チェーホフ作、米川正夫訳、岡倉士朗演出)</p>	<p>B.ショー没(94歳)</p> <p>クルト・ヴァイル没(50歳)</p> <p>E.イオネスコ「禿の女歌手」</p> <p>★朝鮮戦争勃発</p>
1951 (昭26)	<p>1月：歌舞伎座復興開場／第1回NHK紅白歌合戦</p> <p>4月：日本初のLPレコード(ベーターヴェン第九)発売</p> <p>9月：サンフランシスコで対日講和条約調印／初のラジオ民間放送開始／黒澤明「羅生門」ヴェネツィア映画祭でグランプリ</p> <p>○テープレコーダー登場、ジャズが流行、初のカラー映画「カルメン故郷に帰る」／本「自由学校」「野火」「山びこ学校」／映画「麦秋」「サンセット大通り」「黄色いリボン」「バンビ」／流行歌「上海帰りのリル」「野球小僧」「雪山讃歌」</p>	<p>2月：帝劇第1回ミュージカルズ「モルガンお雪」(菊田一夫原作、東信一ほか演出)</p> <p>5月：新宿ムーラン・ルージュ閉鎖</p> <p>6月：「なよたけ抄」(加藤道夫作、岡倉士朗演出／菊五郎劇団)</p> <p>8月：「シラノ・ド・ベルジュラック」(エドモン・ロスタン作、辰野隆・鈴木信太郎訳、長岡輝子・戌井市郎演出／文学座)</p> <p>9月：「炎の人」(三好十郎作、岡倉士朗演出／民藝)滝沢修主演で初演</p>	<p>J.P.サルトル「悪魔と神」</p> <p>E.イオネスコ「授業」</p> <p>T.ウィリアムズ「バラの刺青」トニー賞演劇作品賞</p>
1952 (昭27)	<p>1月：團伊玖磨作曲、オペラ「夕鶴」初演</p> <p>3月：日劇ミュージックホール開場</p> <p>5月：メーデー事件、皇居前広場にデモ隊6,000人、逮捕者1,230人／プロボクシング白井義男、日本初の世界チャンピオン(フライ級)</p> <p>8月：藤原歌劇団、渡米初公演「蝶々夫人」</p> <p>○ラジオ受信契約1,000万人突破、ラジオドラマ「君の名は」ブーム／本「二十四の瞳」／漫画「鉄腕アトム」「少年ケニヤ」／映画「生</p>	<p>1月：「ウィンザーの陽気な女房たち」(シェイクスピア作、三神勲・西川正身訳、青山杉作演出／俳優座)</p> <p>2月：近代能楽集「綾の鼓」(三島由紀夫作、島田安行演出／俳優座勉強会)・「卒塔婆小町」(長岡輝子演出／文学座)</p> <p>7月：「冒した者」(三好十郎作、三好・岡倉士朗演出／民藝)／「恭しき娼婦」(サルトル作、芥川比呂志訳・演出／文学座)／青俳結成(53年「フォスター大佐告白する」で旗揚げ)</p>	<p>E.イオネスコ「椅子」</p> <p>T.ラティガン「深く青い海」</p> <p>★韓国、李承晩ラインを設定</p>
1956 (昭31)	<p>1月：コルティナ冬季オリンピックで猪谷千春がスキー回転で日本</p>	<p>1月：「絵姿女房」(矢代静一作、戌井市郎演出／文学座)／テアトロン賞、第1回(30年度)文学座(「ハ</p>	<p>1月：「夜への長い旅路」ストックホル</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>きる」「真空地帯」「風と共に去りぬ」「誰がために鐘は鳴る」「殺人狂時代」「第三の男」／流行歌「リング追分」「お祭りマンボ」「ベサメ・ムーチョ」「テネシー・ワルツ」</p>		
1953 (昭28)	<p>1月：NHK、テレビ放送開始</p> <p>3月：吉田茂首相、バカヤロー解散</p> <p>7月：伊東絹子、ミス・ユニバース3位</p> <p>9月：松竹・東宝・大映・新東宝・東映の映画大手5社協定</p> <p>○14インチで17万円のテレビ、人々は街頭テレビに／本「風林火山」「第二の性」「星の王子さま」／映画「雨月物語」「東京物語」「ひめゆりの塔」「蟹工船」「シェーン」「禁じられた遊び」「雨に唄えば」、性典映画も／流行歌「雪の降るまちを」「街のサンドイッチマン」「伊豆の佐太郎」、マンボ流行</p>	<p>4月：杉村春子主演「欲望という名の電車」(T.ウィリアムズ作、田島博・山下修訳・川口一郎演出／文学座)日本初演</p> <p>5月：「富士山麓」(ふじたあさや・福田善之作・演出／東大合同演劇勉強会)</p> <p>9月：「風浪」(木下順二作、岡倉士朗演出／ぶどうの会)</p> <p>11月：「思い出を売る男」(加藤道夫作、戌井市郎演出／文学座アトリエ)</p> <p>12月：加藤道夫自殺(35歳)</p>	<p>J.P.サルトル「キーン」</p> <p>E.オニール没(65歳)</p> <p>A.ミラー「るつぼ」トニー賞演劇作品賞</p> <p>★スターリン死去</p> <p>★朝鮮休戦協定調印</p>
1954 (昭29)	<p>1月：丸ノ内線 池袋～御茶ノ水間開業、戦後初の地下鉄開通</p> <p>2月：マリリン・モンロー、夫のジョー・ディマジオと来日</p> <p>3月：ビキニ水爆実験で第五福竜丸被災</p> <p>9月：青函連絡船洞爺丸沈没、死者・行方不明1,155人</p> <p>○力道山、プロレスブーム始まる／本「潮騒」「女性に関する十二章」、「カップブックス」刊行開始／映画「七人の侍」「山椒太夫」「二十四の瞳」「笛吹童子」「ゴジラ」「ローマの休日」「掠奪された七人の花嫁」「グレンミラー物語」「ダンボ」、怪獣ものブーム／流行歌「お富さん」「高原列車は行く」</p>	<p>1月：「城館」(矢代静一作・演出／文学座)／四季第1回公演「アルデール又は聖女」(アヌイ作、宮子勝治訳、浅利慶太演出)</p> <p>3月：岸田國士、文学座「どん底」演出中に急逝(63歳)</p> <p>4月：民藝、A.ミラー作「セールスマンの死」(菅原卓訳・演出)滝沢修主演で初演／「新劇」創刊(編集委員は飯沢匡、木下順二ら)／俳優座劇場開場、アリストファネス「女の平和」で柿落とし／三期会(後の東京演劇アンサンブル)、新人会設立</p> <p>5月：俳優座こどもの劇場「森は生きている」</p> <p>11月：「二号」(飯沢匡作・演出／文学座)／手織座、「愛しきは」(八田尚之作・演出)で旗揚げ</p> <p>12月：「教育」(田中千禾夫作・演出／俳優座)／「第三の証言」(椎名麟三作、木村鈴吉演出)で青年座旗揚げ公演</p>	<p>B.ブレヒト「コーカサスの白墨の輪」</p> <p>S.ベケット「ゴドーを待ちながら」アイルランド</p> <p>T.ラティガン「銘々のテーブル」</p>
1955 (昭30)	<p>1月：シネラマ方式の映画登場</p> <p>9月：通信簿が五段階方式に</p> <p>12月：マルセル・マルソー初来日公演</p> <p>○「私の秘密」放送開始／「太陽の季節」芥川賞、同名映画、「狂った果実」に石原裕次郎が出演、太陽族が流行／映画「野菊の如き君なりき」「浮雲」「警察日記」「エデンの東」「裏窓」「暴力教室」／流行歌「この世の花」「月がとつても青いから」「ガード下の靴みがき」「オンリー・ユー」</p>	<p>3月：「制服」(安部公房作、倉橋健演出／青俳)</p> <p>5月：「どれい狩り」(安部公房作、千田是也演出／俳優座)／「ひかりごけ」(武田泰淳原作、小幡欣治脚色・演出／炎座)</p> <p>4月：文学座、芥川比呂志「ハムレット」(福田恆存訳・演出)に絶賛の声</p> <p>7月：アーニー・パイル劇場返還、東京宝塚劇場となる</p> <p>9月：「なよたけ」(加藤道夫作、芥川比呂志演出／文学座)完全上演</p>	<p>T.ウィリアムズ「熱いトタン屋根の上の猫」2度目のピューリツァー賞</p> <p>A.ミラー「橋からの眺め」</p> <p>S.ワイルダー「結婚仲介人」(「ハロー、ドリー！」の原作)</p>
1956 (昭31)	<p>1月：コルティナ冬季オリンピックで猪谷千春がスキー回転で日本</p>	<p>1月：「絵姿女房」(矢代静一作、戌井市郎演出／文学座)／テアトロン賞、第1回(30年度)文学座(「ハ</p>	<p>E.オニール「夜への長い旅路」ストックホル</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>人初の銀メダル 6月:「春の海」の宮城道雄が急行列車から転落死 7月: 経済白書で「もはや戦後ではない」と表現。「神武景気」 9月: イタリア歌劇団初来日「アイダ」「トスカ」ほか ○水俣に奇病多発、水俣病／梅田・新宿コマスタジアム開場／マネービル、三種の神器、1億総白痴化／本「人間の条件」「挽歌」「眠狂四郎」,「週刊新潮」創刊、週刊誌ブーム／映画「赤線地帯」「ビルマの壺琴」「早春」「赤い風船」／流行歌「若いお巡りさん」「ここに幸あり」「愛ちゃんはお嫁に」「別れの一本杉」「ハートブレイク・ホテル」</p>	<p>ムレット」の成果) などに 2月:「二人だけの舞踏会」(小山祐士作、小山・阿部広次演出／俳優座) 6月:「僕らが歌をうたう時」(宮本研作、宮本・菊池範也演出／麦の会) 8月:「英雄たち」(秋浜悟史作、浜之上猛演出／早大劇団自由舞台)／新劇団協議会発足／青山杉作没(67歳) 9月: テアトル・エコー発足</p>	<p>ムで初演 B. プレヒト没(58歳) J. オズボーン「怒りを込めてふり返れ」ロイヤルコर्ट劇場</p>
1957 (昭32)	<p>1月: 南極に昭和基地建設 6月: 狂言、パリで初の海外公演 8月: 東海村に原子の火ともる 9月: スーパー・ダイエーがスタート 10月: カラヤンとベルリン・フィル初来日公演 ○本「暖簾」「点と線」「天平の甕」「裸の王様」／映画「幕末太陽伝」「明治天皇と日露大戦争」「挽歌」「道」「OK牧場の決闘」「戦場にかける橋」／流行歌「東京のバスガール」「喜びも悲しみも幾年月」「踊子」「青春サイクリング」</p>	<p>1月: 宝塚歌劇団、東宝の創立者小林一三没(84歳) 4月: 「明日を紡ぐ娘たち」(広渡常敏作・演出／三期会)／芸術座の柿落とし公演として森繁久弥主演「暖簾」(菊田一夫脚色・演出) 5月: 関西芸術座結成／「楊気妃」(飯沢匡作・演出／文学座) 9月: 砂防会館ホール開場／「島」(堀田清美作、岡倉士朗演出／民藝)／「おんによる盛衰記」(木下順二作、岡倉士朗演出／ぶどうの会) 12月: 「長い墓標の列」(福田善之作、中川晃演出／早大演劇研究会)／日本俳優協会発足／久保田万太郎、文化勲章受章／小山内薫追悼30周年記念三大劇団合同公演、ハウプトマン作「寂しき人々」</p>	<p>E. オニール4度目のピューリツァー賞 T. ウィリアムズ「地獄のオルフェウス」 S. ベケット「勝負の終わり」 R. ボルト「花咲くチェリー」パリ・ユシュット座で「禿の女歌手」授業開始 H. ピンター、処女戯曲「部屋」大学で上演 ★世界初の人工衛星スプートニクス1号</p>
1958 (昭33)	<p>1月: 大相撲が年6場所に。栃若時代 2月: 日劇「ウエスタンカーニバル」始まる、ロカビリー旋風 4月: 売春防止法施行 10月: プロ野球 巨人の長島茂雄新人王に、川上哲治引退 12月: 東京タワー完工 ○この年「なべ底不況」／皇太子明仁と正田美智子の婚約でミッチーブーム「ご誠実で」が流行語／本「陽のあたる坂道」「花のれん」「氷壁」「ヒロシマ」／映画「炎上」「裸の大將」「ぼくの伯父さん」／テレビ「わたしは貝になりたい」「月光仮面」／流行歌「有楽町で逢いましょう」「星は何でも知っている」「おーい中村君!」「港町十三番地」「からたち日記」</p>	<p>2月: 俳優座日曜劇場第1回「令嬢ジュリー」(ストリンドベリ作、杉山誠訳、大木靖演出) 3月: 久保栄没(58歳) 5月: 「国姓爺」(矢代静一作、戌井市郎演出／文学座) 6月: 「幽霊はここにいる」(安部公房作、千田是也演出／俳優座) 10月: 「反応工程」(宮本研作、川島直行演出／麦の会) 12月: 三好十郎没(56歳)／モスクワ芸術座初来日、「桜の園」「どん底」など上演／四季「オンディーヌ」(ジロドゥ作、米村晰訳、浅利慶太演出)／日本新劇俳優協会発足</p>	<p>T. ウィリアムズ「この夏突然に」 A. ウェスカー「大麦入りのチキンスープ」 E. オールビー「動物園物語」 S. ディレニー「密の味」 28歳のP. ホールがRSCの芸術監督</p>
1959 (昭34)	<p>1月: NHK教育テレビ開局／メートル法施行 4月: 皇太子ご成婚パレード 6月: ル・コルビュジエ設計の国立西洋美術館開館</p>	<p>2月: 岡倉士朗没(50歳)／東京芸術座発足 3月: 「マリアの首」(田中千禾夫作、田中・島田安行演出／新人会) 5月: オズボーン「怒りを込めてふり返れ」(木村光一訳、松浦竹夫・荒川哲生演出／文学座アトリエ)</p>	<p>A. ミラー、全米芸術文学協会戯曲部門のゴールド・メダル H. ピンター「ダムウェイター」</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>8月: 日産ブルーバード発表、マイカー時代の始まり 9月: 小沢征爾、プザンソン国際指揮者コンクールで1位／伊勢湾台風 ○この年「岩戸景気」／本「にあんちゃん」「われらの時代」「考えるヒント」「催眠術入門」「少年サンデー」「少年マガジン」など漫画週刊誌創刊／映画「人間の条件」「鍵」「灰とダイヤモンド」「十二人の怒れる男」「いとこ同志」／流行歌「南国土佐を後にして」「黄色いさくらんぼ」「僕は泣いちっち」「恋の片道切符」、第1回日本レコード大賞「黒い花びら」</p>	<p>日本初演／土方与志没(61歳) 8月: ミュージカル「可愛い女」(安部公房作、千田是也演出／大阪労音) 9月: 「さらば夏の光よ」(井上廈(ひさし)作、木村優演出／同人会) 10月: 東宝現代劇「がめつゐ奴」(菊田一夫作・演出)三益愛子主演で初演(270日間のロングラン)／「千鳥」(田中千禾夫作、千田是也演出／俳優座) 11月: 民藝俳優教室3期生が劇団青年芸術劇場(青芸)結成 12月: 新劇人180名が安保批判演劇人懇談会に参加</p>	<p>A. カミュ、ドストエフスキー「悪霊」脚色 A. ウェスカー「調理場」「根っ子」 J. グロトフスキー実験劇場創設 ★キューバ革命、カストロ政府</p>
1960 (昭35)	<p>6月: 安保阻止、全学連主流派国会構内突入、東大生樺美智子死亡／新安保条約批准書交換、発効 9月: カラーテレビ放送開始 10月: 浅沼稻次郎社会党委員長、右翼少年に刺殺される 12月: 閣議で国民所得倍增計画決定。高度経済成長政策を本格導入 ○即席ラーメン、インスタントコーヒーなど、インスタント時代。「交通戦争」／本「どくとるマンボウ航海記」「性生活の知恵」「野生のエルザ」／映画「豚と軍艦」「裸の島」「勝手にしやがれ」「太陽がいっぱい」「甘い生活」「黒いオルフェ」「チャップリンの独裁者」「ベン・ハー」、ヌーベルバーグ／流行歌「潮来笠」「誰よりも君を愛す」「アカシアの雨がやむとき」「月の法善寺横丁」「GIブルース」</p>	<p>1月: 「熱帯樹」(三島由紀夫作、松浦竹夫演出／文学座) 3月: 新人会を脱退した早野寿郎、小沢昭一、楠侑子ら俳優小劇場(俳小)結成 4月: ジャン＝ルイ・バロー、マドレーヌ・ルノーらのテアトル・ド・フランスが来日、「人間嫌い」など上演 5月: 「狼生きろ豚は死ぬ」(石原慎太郎作、浅利慶太演出／四季)／文学座、ベケット作「ゴドーを待ちながら」(安堂信也訳・演出)日本初演／安保阻止新劇人会議結成、48劇団参加 7月: 「血は立ったまま眠っている」(寺山修司作、浅利慶太演出／四季)／「明日そこに花を挿そうよ」(清水邦夫作、塩田殖演出／青俳) 9月: 初の訪中新劇公演、5劇団71人が「夕鶴」「女の一生」など上演 10月: 「記録NO1」(福田善之構成、観世栄夫演出／青芸)／「村岡伊平次伝」(秋元松代作、中村俊一演出／仲間) 12月: 「日本人民共和国」(宮本研作、川島直行・五十嵐康治演出／職場演劇合同公演)／芸術祭奨励賞に秋元松代「村岡伊平次伝」「常陸坊海尊」</p>	<p>E. イオネスコ「犀」 H. ピンター「管理人」 A. カミュ没(46歳) A. ウェスカー、センター42運動 ジュディ・デンチ、E. ゼッフィレルリ演出「ロミオとジュリエット」でジュリエット</p>
1961 (昭36)	<p>8月: 大阪・釜ヶ崎で2,000人が暴動／松川事件差戻審で全員に無罪判決 10月: 大鵬、柏戸が横綱に ○スキー客100万人突破、レジャーブーム／本「砂の器」「何でも見てやろう」「英語に強くなる本」「記憶術」／映画「用心棒」「名もなく貧しく美しく」「荒野の七人」「ウエストサイド物語」／流行歌「スーダラ節」「上を向いて歩こう」「東京ドドンパ娘」「おひまなら来てね」「川は流れる」「君恋し」「悲しき街角」</p>	<p>5月: 「遠くまで行くんだ」(福田善之作、観世栄夫演出／青芸) 6月: 東大ギリシヤ悲劇研究会「アガメムノン」上演 8月: 民藝「火山灰地」を久保栄追悼公演として1部2部一挙上演 9月: 「おまへの敵はおまへだ」(石川淳作、千田是也演出／俳優座) 10月: 「ブルースをうたえ」(菅孝行・福田善之作、程島武夫演出／自由劇場) 11月: 早大自由舞台、鈴木忠志演出「AとBと一人の女」(別役実の処女作)上演 東宝が菊田一夫脚本、森光子主演「放浪記」初演 12月: 鈴木忠志、別役実ら新劇団自由舞台(早稲田小劇場の前身)結成</p>	<p>T. ウィリアムズ「イグアナの夜」ニューヨーク劇評家賞 ハイナー・ミュラー、東独作家同盟を除名 ロイヤル・シェイクスピア劇団(RSC)誕生 ヤン・コット「シェイクスピアはわれら同時代人」 ★米、キューバと国交断絶 ★ジョン・E. ケネディ、米大統領に就任</p>
1962 (昭37)	<p>4月: フランク・シナトラ、イヴ・モンタン相次いで来日公演／日本アート・シアター・ギルド(ATG)</p>	<p>3月: 「黒蜥蜴」(三島由紀夫作、松浦竹夫演出／吉田史子プロデュース) 4月: 新劇団自由舞台旗揚げ公演「象」(別役実作、</p>	<p>E. イオネスコ「瀕死の王」 「ジャック、または降参」、演劇論「ノート・</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>発足 5月：サリドマイド事件 8月：堀江謙一、ヨットで太平洋単独横断 ○本「榎家の人びと」「秀吉と利休」「砂の女」「龍馬がゆく」「悲の器」／映画「キューポラのある街」「座頭市物語」「世界残酷物語」「情事」「史上最大の作戦」／流行歌「王将」「恋は神代の昔から」「いつでも夢を」「赤いハンカチ」「可愛いベイビー」「下町の太陽」</p>	<p>鈴木忠志演出)／「真田風雲録」(福田善之作、千田是也演出)／俳優座系劇団合同公演) 5月:コメディ・フランセーズ初来日、「ブリタニクス」など上演／秋田雨雀没(79歳) 7月:「オットーと呼ばれる日本人」(木下順二作、宇野重吉演出)／民藝) 9月:「城塞」(安部公房作、千田是也演出)／俳優座) 10月:俳優座が千田是也演出でプレヒト作「三文オペラ」上演 11月:唐十郎ら状況劇場結成(63年サルトル作「恭しき娼婦」で旗揚げ) 「明治の枢」(宮本研作、竹内敏晴演出)／ぶどうの会)</p>	<p>反ノート) E.オールビー「ヴァージニアウルフなんてこわくない」 マークティン・エスリン「不条理の演劇」 カフェ・ラ・ママ設立 P.ブルック「リア王」演出 ★キューバ危機</p>
1963 (昭38)	<p>5月:横綱大鵬、初の6場所連続優勝 10月:日生劇場開場、ベルリン・ドイツ・オペラで柿落とし 11月:三井三池三川鉱で炭じん爆発、458人が死亡／初の日米テレビ宇宙中継、ケネディ米大統領暗殺を速報 12月:プロレスラー力道山、ヤクザに刺され、7日後に死亡 ○小さな親切運動広がる／本「江分利満氏の優雅な生活」「地の群れ」「赤いダイヤ」／映画「にっぽん昆虫記」「天国と地獄」「非行少女」「五番町夕霧楼」「アラビアのロレンス」「鳥」／テレビアニメ「鉄腕アトム」、NHK大河ドラマ始まる、1作目「花の生涯」／流行歌「高校三年生」「浪曲子守唄」「こんにちば赤ちゃん」「美しい十代」「見上げてごらん夜の星」「恋のパカンス」</p>	<p>1月:「爆裂弾記」(花田清輝作、高山因南雄演出)／演劇座)／福田恆存、芥川比呂志らが文学座を脱退、現代演劇協会結成、雲発足 3月:文学座アトリエでウェスカー作「調理場」(木村光一訳・初演出) 5月:「泰山木の木の下で」(小山祐士作、宇野重吉演出)／民藝)／「逆光線ゲーム」(清水邦夫作、観世栄夫演出)／青俳)／久保田万太郎没(73歳) 6月:アートシアター新宿文化が夜9時半より演劇公演開始、第1回オールビー作「動物園物語」(中西由美・荒川哲生訳、荒川演出)／雲) 9月:東宝ミュージカル、初のブロードウェイ作品「マイ・フェア・レディ」(菊田一夫演出)／「世阿彌」(山崎正和作、千田是也・観世栄夫演出)／俳優座)／民藝、サルトル「狂気と天才」(鈴木力衛訳、村山知義演出)初演 11月:日生劇場開場記念公演として「ものみな歌でおわる」(花田清輝作、千田是也演出)／「オッペケペ」(福田善之作、観世栄夫演出)／新人会)／日生劇場「喜びの琴」(三島由紀夫作)上演中止</p>	<p>オールド・ヴィック劇場、L.オリヴィエ率いる国立劇団の本拠に ★ケネディ米大統領暗殺</p>
1964 (昭39)	<p>4月:「ミロのビーナス展」に行列／海外旅行自由化 6月:新潟大地震 10月:東海道新幹線開通／東京オリンピック、11月にパラリンピック東京大会 ○みゆき族登場、アイビールック流行。女子社員BGからOLへ／本「されどわれらが日々」「エロ事師たち」／映画「砂の女」「怪談」「赤い殺意」「007/危機一発」「マイ・フェア・レディ」／テレビ「木島則夫モーニングショー」始まる／流行歌「お座敷小唄」「東京五輪音頭」「愛と死をみつめて」「ウナセラディ東京」「涙を抱いた渡り鳥」「花はどこへ行った」</p>	<p>1月:三島由紀夫、賀原夏子、松浦竹夫ら文学座を脱退してNLT結成 2月:瓜生良介、月まち子らが発見の会結成 3月:「リチャード三世」(シェイクスピア作、福田恆存訳・演出)／日生劇場)中村勘三郎主演。各地でシェイクスピア生誕400年の記念上演／民藝、25年振りに「夜明け前」上演 4月:「24時53分“塔の下”」行は竹早町の駄菓子屋の前で待っている」(唐十郎作(初戯曲)、笹原茂朱演出)／状況劇場)／紀伊国屋ホール開場 5月:「袴垂れはどこだ」(福田善之作、観世栄夫演出)／青芸)／「喜びの琴」(三島由紀夫作、浅利慶太演出)／日生劇場プロデュース) 8月:「マニラ瑞穂記」(秋元松代作、竹内敏晴演出)／ぶどうの会)／青年劇場結成 9月:ぶどうの会解散 11月:竹内敏晴、和泉二郎、坂本長利ら演劇集団・変身結成／日生劇場が米からミュージカル「WEST SIDE STORY」招聘</p>	<p>J.P.サルトル、ノーベル賞辞退 A.ミラー「転落の後に」 「ヴィシーでの出来事」 ムノーシュキンを中心に太陽劇団結成「小市民」 P.ブルック「マラー／サド」(P.ヴァイス作)演出 ★ソ連のフルシチョフ首相解任</p>
1965 (昭40)	<p>4月:ベトナムに平和を！市民文化団体連合「ベ平連」初のデモ</p>	<p>4月:「ザ・パイロット」(宮本研作、増見利清演出)／俳優座)／雲、マイケル・ベントール演出でシェ</p>	<p>J.P.サルトル「トロイアの女たち」</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>11月:プロ野球、第1回ドラフト(新人選択)会議 ○エレキブーム／本「白い巨塔」「ヒロシマ・ノート」「氷点」／映画「飢餓海峡」「赤ひげ」「網走番外地」「HELP!」「サウンド・オブ・ミュージック」「007/ゴールドフィンガー」「荒野の用心棒」「81/2」／流行歌「柔」「涙の連絡船」「女心の唄」「網走番外地」</p>	<p>イクスピア「ロミオとジュリエット」演出)／コメディ・フランセーズ来日、「町人貴族」など上演 6月:「日本の教育1960」(ふじたあさや作、秋浜悟史演出)／三十人会)／四季、ジロドゥ作、浅利慶太演出「オンディエヌ」を日生劇場で上演 8月:「思い出しちゃいけない」(福田善之作、観世栄夫演出)／青芸・霧の会) 9月:変身、代々木小劇場で旗揚げ、初の本格的な小劇場 11月:三島由紀夫「サド侯爵夫人」(松浦竹夫演出)／NLT)／民藝、渡辺浩子訳・演出でベケット作「ゴドーを待ちながら」</p>	<p>E.ボンド「救いは…」 A.ウェスカー「四季」 ★米、北爆開始 ★ビートルズに英女王からMBE勲章</p>
1966 (昭41)	<p>3月:日本の人口1億人突破 4月:NHK「おはなはん」放送開始、視聴率50%超す 6月:ビートルズ来日 9月:サルトル、ポーヴォワール来日 10月:改装された帝国劇場開場 11月:国立劇場開場 ○全日空・カナダ航空・BOAC航空機事故相次ぐ／本「沈黙」「黒い雨」「邪宗門」／映画「人類学入門」「けんかえれじい」「ドクトル・ジバゴ」「男と女」「戦争と平和」／テレビ「ウルトラマン」放映開始、怪獣ブームの火付け役)／流行歌「骨まで愛して」「バラが咲いた」「星影のワルツ」「霧の摩周湖」「こまっちゃうな」「霧水」</p>	<p>1月:「冬眠まんざい」(秋浜悟史作、竹内敏晴演出)／変身) 3月:鈴木忠志、別役実らが早稲田小劇場結成、喫茶店モンシェリ2階が本拠)杉浦直樹、岡田真澄ら劇団櫻結成 4月:「腰巻お仙の百個の恥丘」(唐十郎作・演出)／状況劇場)新宿戸山ハイツで上演)米倉倉加年、岡村春彦、福田善之らの青芸が解散 5月:「門」(別役実作、鈴木忠志演出)で早稲田小劇場旗揚げ)／黄金の国」(遠藤周作作、芥川比呂志演出)／雲) 6月:津野海太郎、山元清多、岸田森ら六月劇場結成 7月:「ゴキブリの作り方」(内田栄一作、瓜生良介演出)／発見の会) 9月:「愛奴」(栗田勇作、江田和雄演出)／人間座)／「墮天使」(別役実作、古林逸朗演出)で演劇企画66旗揚げ)／金子信雄、丹阿弥谷津子ら新演劇人クラブマールイ結成 10月:佐藤信、斎藤憐、串田和美ら自由劇場結成、アンダーグラウンドシアター自由劇場開場。「イスメネ・地下鉄」(佐藤作、観世栄夫演出)で旗揚げ 11月:「マッチ売りの少女」(別役実作、鈴木忠志演出)／早稲田小劇場) 12月:「リンゴの秋」(秋浜悟史作、和泉二郎演出)／変身)</p>	<p>★中国文化大革命起る</p>
1967 (昭42)	<p>2月:初の建国記念日、全国で祝賀と抗議 4月:東京都知事に社共推薦の美濃部亮吉当選)／文化放送、深夜放送開始 6月:「国民生活白書」が中流階級化と都市化を指摘 8月:初の国際クレジットカード発行 12月:国民総生産(GNP)、自由世界では米に次ぎ2位 ○本「万延元年のフットボール」「華岡青洲の妻」「頭の体操」「マクルーハンの世界」／映画「人間蒸発」「日本のいちばん長い日」「若者たち」「気狂いピエロ」「夕陽のガンマン」／流行歌「ブルー・シャトゥウ」「世界は二人のために」「帰って来たヨッパライ」「小指の想い出」</p>	<p>1月:寺山修司、東由多加、九條映子ら演劇実験室天井敷結成)／自由劇場がJ.P.カラソ演出でピラデルロ作「ヘンリー四世」上演 2月:俳小が渋谷の喫茶店ジローで「オディプス王」(早野寿郎演出)上演)／状況劇場が新宿のジャズ喫茶ビット・インで「ジョン・シルバー」(唐十郎作・演出)を深夜上演 3月:俳優座養成所16期生を最後に解消、桐朋学園短大演劇専攻科発足)／「友達」(安部工房作、成瀬昌彦演出)／青年座)／伊藤熹朔没(67歳) 4月:「青森県のせむし男」(寺山修司作、東由多加演出)で天井敷旗揚げ 5月:「白い夜の宴」(木下順二作、宇野重吉演出)／民藝) 6月:「大山デブコの犯罪」(寺山修司作、東由多加演出)／天井敷)／「魂へキックオフ」(長田弘作、津野海太郎演出)で六月劇場旗揚げ)／アンダーグラウンド蠍座が開場、客席数80)／三期会が反戦劇「マクバード!」上演、作者バーバラ・ガソン来日 8月:状況劇場の紅テントが新宿花園神社初登場、</p>	<p>E.イオネスコ、日記「雑記帳」 E.オールビー「デリケート・バランス」でピュリツァー賞 T.ストッパード「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」 P.ニコルズ「ジョー・エッグの一日」 ★イスラエルとアラブ連合が第3次中東戦争</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	「真っ赤な太陽」、タイガース、テンプターズ、スパイダースなどグループサウンドに人気	「腰巻お仙・義理人情いろはにほへと篇」(唐十郎作・演出) 9月:ユシエット座来日、イヨネスコ作「禿の女歌手」授業上演／東宝ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」森繁久弥主演で初演／「毛皮のマリー」(寺山修司作・演出／天井棧敷)／「常陸坊海尊」(秋元松代作・高山凶南雄演出／演劇座) 10月:「若き獅子たちの伝説」(石原慎太郎作、浅利慶太演出／四季)／「朱雀家の滅亡」(三島由紀夫作、松浦竹夫演出／NLT) 12月:「赤目」(斎藤憐作、観世栄夫演出／自由劇場)／坂本長利の一人芝居「土佐源氏」新宿モダンアトで初演	
1968 (昭43)	1月:マラソン選手の円谷幸吉自殺／東大医学部学生自治会が無期限スト、東大紛争の発端 2月:金嬉老事件／成田闘争始まる 10月:川端康成ノーベル文学賞受賞 12月:府中で3億円事件 ○全国大学で学園闘争／本「Dの複合」龍馬がゆく」「ねじ式」／映画「緋牡丹博徒」「肉弾」「神々の深き欲望」「俺たちに明日はない」「卒業」「猿の惑星」／流行歌「受験生ブルース」「天使の誘惑」「ブルー・ライト・ヨコハマ」「三百六十五歩のマーチ」「恋の季節」	1月:ニコラ・パタイユが蠅座プロデュースでロマン・ヴェンガルテン作「夏」を演出 2月:池袋アートシアター(後のシアターグリーン)開場 3月:「青ひげ」(寺山修司作、前田律子演出／天井棧敷) 4月:「美しきものの伝説」(宮本研作、木村光一演出／文学座)／自由劇場・六月劇場・発見の会が地方公演のための連絡組織「演劇センター68」結成／NLTから松浦竹夫、中山仁らが脱退し、三島由紀夫と浪漫劇場を結成／俳優座がP.ヴァイス作「ベトナム討論」上演 5月:「解ってたまるか!」(福田恆存作、浅利慶太演出／四季) 7月:岡田英次、蜷川幸雄らが青俳を脱げ現代人劇場を結成／程島武夫、太田省吾を中心に転形劇場結成 8月:文学座、杉村春子主演「女の一生」が上演500回突破 9月:「夜明けに消えた」(矢代静一作、栗山昌良演出／青年座)／「書を捨てよ町へ出よう」(寺山修司構成・演出／天井棧敷)／「続ジョン・シルバー」(唐十郎作・演出／状況劇場)／ウェスカーを招き、「ウェスカー68」開催、シンポジウムと3部作上演 12月:東由多加を中心に東京キッドブラザース結成	E.ボンド「奥の細道」 J.グロトフスキー演出「不屈の王子」パリ公演 ★南ベトナムのソンミで米軍による大量虐殺事件 ★黒人運動指導者キング牧師暗殺 ★チェコ「プラハの春」 ★フランスで「5月革命」 ★ソ連、東欧5ヶ国軍がチェコ侵入
1969 (昭44)	1月:東大安田講堂封鎖解除／東大の入試中止 2月:新宿西口広場で反戦フォーク集会 6月:日本初の原子力船「むつ」進水 10月:国際反戦デー大荒れ、逮捕者1,500人 ○好景気が連続43ヶ月、いざなぎ景気／本「苦海浄土」「赤頭巾ちゃん気をつけて」「スマキストQの冒険」「薔薇の館」／映画「男はつらいよ」「私が棄てた女」「少年」「心中天網島」「橋のない川」「真夜中のカーボーイ」／流行歌「夜明けのスクヤット」「時には母のない子のように」「ひとり寝の子守	1月:状況劇場が新宿中央公園で「腰巻お仙・振袖火事の巻」の上演を強行、唐十郎ら3人逮捕／「わが友ヒットラー」(三島由紀夫作、松浦竹夫演出／浪漫劇場) 2月:「日本人のへそ」(井上ひさし作、熊倉一雄演出／テアトル・エコー) 3月:天井棧敷が渋谷に地下劇場「天井棧敷館」開場／「魔女伝説」(福田善之作、観世栄夫演出／自由劇場)／「時代はサーカスの象にのって」(寺山修司作、萩原朔美演出／天井棧敷) 4月:東宝ミュージカル「ラ・マンチャの男」日本初演／「劇的なものをめぐってI」(鈴木忠志構成・演出／早稲田小劇場) 5月:天井棧敷初の海外公演、フランクフルト国際実験演劇祭で「犬神」「毛皮のマリー」上演 6月:「ヴァカンス」(菅孝行作、岡村春彦演出／ヴァカンス上演委員会)／「かさぶた式部考」(秋元松代	S.ベケット、ノーベル文学賞 T.ウィリアムズ「東京のホテルのバーにて」宇宙船アポロ11号月面着陸

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	唄」「フランシーヌの場合」「いいじゃないの幸せならば」「黒ネコのタンゴ」「新宿の女」	作、高山凶南雄演出／演劇座)／自由劇場、六月劇場を中心に演劇センター68/69発足 7月:「東京キッド」(東由多加作・演出／東京キッドブラザース)／状況劇場、日本列島南下興行開始／新人会解散 9月:「阿Q外伝」(宮本研作、木村光一演出／文学座)／清水邦夫作「真情あふるる軽薄さ」(現代人劇場)を蜷川幸雄が演出、2人のコンビ始まる／渡辺美佐子、福田善之、菅孝行、鈴木忠志らによる演劇組織兆発足 10月:「少女仮面」(唐十郎作、鈴木忠志演出／早稲田小劇場)／「鼠小僧次郎吉」(佐藤信作・演出／演劇センター68/69) 11月:「棒になった男」(安部公房作・演出／紀伊國屋プロデュース)／代々木八幡に青年座劇場開場 12月:反戦ミュージカル「ヘアー」(ジム・シャーマン演出)東横劇場で上演／「おもて切り」(秋浜悟史作、岡村春彦演出／三十人会)	
1970 (昭45)	1月:初の国産人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功 3月:赤軍派によるよど号ハイジャック／日本万国博覧会EXPO'70 7月:東京で光化学スモッグ発生 8月:歩行者天国始まる ○本「冠婚葬祭入門」「心」「スパルタ教育」／映画「家族」「戦争と人間」「どですかでん」「イージー・ライダー」「明日に向かって撃て」「サテリコン」「いちご白書」／流行歌「走れコウタロー」「手紙」「四つのお願ひ」「圭子の夢は夜ひらく」「今日でお別れ」	1月:英国ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー(RSC)初来日、「冬物語」など上演 2月:「もう一人のヒト」(飯沢匡作・演出／民藝)／「季刊同時代演劇」(演劇センター68/70発行)創刊／流山児祥・北村魚・悪源太義平ら演劇団結成 3月:「野望と夏草」(山崎正和作、関堂一演出／雲)／市川染五郎、ブロードウェイで「ラ・マンチャの男」主演 5月:「劇的なものをめぐってII」(鈴木忠志構成・演出／早稲田小劇場)／「不思議の国のアリス」「アイ・アム・アリス」(別役実作、早野寿郎演出／俳小)／日生劇場が自主制作を中止、貸し小屋方式へ転換 6月:東京キッドブラザースがニューヨークで「ゴールデン・バット」半年間ロングラン 7月:テアトル・エコーの小劇場完成、柿落としては「表裏源内蛙合戦」(井上ひさし作、熊倉一雄演出)／寺山修司がニューヨークで自作「毛皮のマリー」を米俳優で、演出 9月:「想い出の日本一万年」(清水邦夫作、蜷川幸雄演出／現代人劇場)／「神と人とのあいだー審判」(木下順二作、宇野重吉演出／民藝)／生田萬・銀粉蝶ら魔呵魔呵を旗揚げ 10月:演劇センター68／70、黒テント公演開始「翼を燃やす天使たちの舞踏」(佐藤信・山元清多・斎藤憐・加藤直作、佐藤演出) 11月:市街劇「人力飛行機ソロモン」(寺山修司作、竹永茂生演出／天井棧敷)／日本維新派(のち維新派に改名)結成／三島由紀夫割腹自殺(45歳)	E.イヨネスコ、アカデミー・フランセーズ会員 旧西ベルリン、シャウビューネ劇場創設 P.シュタインを中心に集団体制スタート D.ヘア、ロイヤルコート劇場芸術監督 P.ブルック「夏の夜の夢」RSCで演出 L.オリヴィエ、俳優として初の男爵 ★韓国で金芝河が反共法違反で逮捕 ★チリで人民連合政権誕生
1971 (昭46)	5月:女性連続誘拐殺害の大久保清逮捕 7月:環境庁設置／日本マクドナルド1号店、銀座に 8月:三里塚反戦祭 ○本「レイテ戦記」「二十歳の原点」「公害原論」「冠婚葬祭入門」／映画	1月:「帰ってきた黄金バット」(東由多加作・演出／東京キッドブラザース)／寺山修司脚本・監督のATG映画「書を捨てよ町へ出よう」完成 3月:ジャンジャンが演劇公演スタート 4月:「吸血姫」(唐十郎作・演出／状況劇場)／ナンシー国際青年演劇祭で、天井棧敷「邪宗門」など、結城人形座「ゴリラ・ゴリラ」、青年座「極楽金魚」	P.ブルック、パリで国際演劇センター創設 ★バン格拉デシュが独立宣言 ★インド・パキスタンの全面戦争

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	「八月の濡れた砂」「儀式」「水俣」「ベニスに死す」「エルビス・オン・ステージ」、日活ロマンポルノ始まる／流行歌「知床旅情」「また逢う日まで」「傷だらけの人生」「わたしの城下町」「よこはま・たそがれ」「結婚しようよ」「花嫁」	上演／東京キッドブラザース「南総里見八犬伝」でヨーロッパ巡演／「十一ぴきのネコ」(井上ひさし作、熊倉一雄演出／テアトル・エコー) 5月：「恋々加留多鼠小僧次郎吉」(佐藤信作・演出／演劇センター68/71)／本田延三郎を中心に演劇プロデュース組織「五月舎」発足 6月：文学座「あわれ彼女は娼婦」など、アトリエでエリザベス朝演劇上演相次ぐ 7月：「はらん狂騒曲」(菅孝行作、中村敦夫・加村赴雄演出／「はらん狂騒曲」上演委員会) 初日に粉碎派が俳優座劇場にデモ／状況劇場の乞食城が山中湖畔に完成／すまけいとその仲間が四谷公会堂で解散公演／冥の会が「オイディプス王」で旗揚げ 8月：民藝から下条正巳、鈴木瑞穂、佐々木すみ江ら18人退団 9月：「書き下ろし新潮劇場」刊行開始／「道元の冒険」(井上ひさし作、熊倉一雄演出／テアトル・エコー)／ノルウェー国立劇場が初来日、「ヘッダ・ガブラー」「人形の家」上演／俳小解散 10月：中村敦夫、原田芳雄、市原悦子ら11人俳優座を退団／状況劇場の紅テントと演劇センターの黒色テントが渋谷で鞘あて興行／「鴉よ、おれたちは弾丸をこめる」(清水邦夫作、蜷川幸雄演出)をもって現代人劇場が解散／「写楽考」(矢代静一作、石沢秀二演出／青年座) 11月：情報誌「コンサート・ガイド」(「シティロード」の前身) 創刊 12月：日本初の人形劇専門「ブーク人形劇場」開場	
1972 (昭47)	1月：グアム島から元日本兵横井庄一28年ぶりに帰国 2月：連合赤軍による浅間山荘事件／札幌冬季オリンピック大会 3月：明日香村の高松塚古墳で彩色壁画発見 4月：川端康成自殺(72歳) 5月：日米沖縄返還協定発効、沖縄県発足 9月：田中角栄首相訪中、日中共同声明 11月：上野動物園にパンダ初登場 ○本「手鎖心中」「たった一人の反乱」「恍惚の人」「坂の上の雲」／映画「子連れ狼」「女囚701号・さそり」「八月はエロスの匂い」「忍ぶ川」「ゴッドファーザー」「フェリーニのローマ」／流行歌「女のみち」「どうにもとまらない」「せんせい」「喝采」「瀬戸の花嫁」「旅の宿」「出発の歌」	1月：井上ひさしが「道元の冒険」で岸田戯曲賞、小説「手鎖心中」で直木賞受賞 3月：状況劇場がソウルで「二都物語」上演、同劇団初の海外公演／浪漫劇場解散 4月：文学座、アトリエでシェイクスピア・フェスティバル、「トロイラスとクレシダ」「ハムレット」「ロミオとジュリエット」連続上演／早稲田小劇場がパリの諸国民演劇祭に参加。同劇団初の海外公演 5月：菊田一夫脚色「スカーレット」ロンドンで上演、輸出ミュージカル第1号 7月：情報誌「ぴあ」創刊 9月：磨赤児主宰の大駱駝艦が「天武典式」で旗揚げ公演／名古屋に七ツ寺共同スタジオ開場 10月：中村伸郎主演、イヨネスコ作「授業」ジャンジャン10時劇場開始、11年間にわたり708回上演／土方巽が「燔犧大踏艦—四季のための二十七晩」上演／「ぼくらが非情の大河をくだる時」(清水邦夫作、蜷川幸雄演出／櫻社) 11月：「説教強盗・玉の井余譚」(金杉忠男作・演出／中村座)／「郵便屋さんちょっとーその1」(つかこうへい作・演出／暫)	ニューヨークでベケット・フェスティバル E.イヨネスコ「マクベット」 ★ニクソン米大統領が中国訪問
1973 (昭48)	5月：金大中事件 6月：公害病認定患者が1万1千人を突破 10月：石油危機、トイレットペー	1月：安部公房を中心に、田中邦衛、井川比佐志、仲代達矢、山口果林らで安部公房スタジオ発足／手の会、「舟は帆船よ」(山崎正和作、末木利文演出)で旗揚げ	N.カワード没(73歳) ★ベトナム和平協定 ★ウォーターゲート事件の公聴会開始

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	パー買い占め、物不足のパニック、狂乱物価 ○本「日本沈没」／映画「仁義なき戦い」「津軽じょんがら節」「四畳半襖の裏張り」「同棲時代」「ジャッカルの日」「燃えよドラゴン」「ジョニーは戦場に行った」／流行歌「なみだの操」「神田川」「危険なふたり」「心もよう」「草原の輝き」「夜空」「ロマンス」「イエスタデイ・ワンスモア」	3月：「初級革命講座 飛龍伝」(つかこうへい作・演出／暫) 4月：菊田一夫没(66歳)／三十人会解散／ナンシー国際演劇祭で早稲田小劇場「劇的なるものをめぐってII」好評／RSC来日、P.ブルック演出「真夏の夜の夢」上演／東京ヴォードヴィルショー、ミュージカル「宝島」で旗揚げ 5月：西武劇場開場、「愛の眼鏡は色ガラス」(安部公房作・演出)でオープニング／「盲導犬」(唐十郎作・演出／状況劇場)／「戦争で死ねなかったお父さんのために」(つかこうへい作、向島三四郎演出／暫) 6月：騒音問題で住民の抗議を受け、「69/71」の黒色テントが常打ち場所を退去／四季が浅利慶太演出、ロック・オペラ「ジーザス・クライスト＝スーパースター」 7月：「藪原検校」(井上ひさし作、木村光一演出／五月舎)／「北斎漫画」(矢代静一作、栗山昌良演出／金井彰久プロデュース) 9月：青山にVAN99ホール開場 10月：「泣かないのか？ 泣かないのか 一九七三年のために？」(清水邦夫作、蜷川幸雄演出／櫻社)／「金糸雀料理」(太田省吾作・演出／転形劇場) 11月：「熱海殺人事件」(つかこうへい作、藤原新平演出／文学座アトリエ) ○この年、五月舎など新劇プロデュース公演が定着	★チリで軍事クーデター
1974 (昭49)	4月：モナリザ展開催 5月：セブン-イレブン1号店開業 12月：戦後初のマイナス成長、安定成長へ路線転換 ○本「ノストラダムスの大予言」「かもめのジョナサン」「鬼の詩」／映画「砂の器」「日本沈没」「サンダカン八番娼館・望郷」「エクシスト」「スティング」「エマニエル夫人」／流行歌「襟裳岬」「二人でお酒を」「ひと夏の経験」「あなた」「精霊流し」「なごり雪」「母に捧げるバラード」	1月：東京キッドブラザース「ザ・シティ」、5・10・11月にニューヨーク、ロンドンで上演／「天保十二年のシェイクスピア」(井上ひさし作、出口典雄演出／西武劇場プロデュース) 2月：現代演劇協会の三百人劇場開場 3月：ギリシャ国立劇場が初来日、「オイディプス王」「オレステス」など上演 5月：小沢昭一中心に芸能座結成／蜷川幸雄、東宝製作「ロミオとジュリエット」演出、初の日生劇場 6月：三越劇場が演劇の自主制作公演を開始 7月：「出発」(つかこうへい作、藤原新平演出／文学座アトリエ)／状況劇場がパレスチナで「唐版風の又三郎」上演 8月：秋田県にわらび劇場開場／櫻社解散 9月：花田清輝没(65歳) 10月：「巷談松ヶ浦ゴドー戒」(つかこうへい作・演出／つかこうへい事務所)／35年ぶりにソ連から帰国の岡田嘉子が民藝で「才能とパトロン」初演出 11月：Eアラバールを招き、「アラバール'74」開催／宝塚歌劇団「ベルサイユのばら」初演、爆発的ブーム／アートシアター新宿文化の演劇公演停止、蠍座も12月に停止／木野花ら女性ばかりの劇団青い鳥結成 12月：寺山修司脚本・監督の「田園に死す」公開／岩波ホール第1回演劇公演「トロイアの女」(大岡信潤色、鈴木忠志演出)	L.オリヴィエに代わり、P.ホールがRSCの総監督、「テンペスト」演出 ★ニクソン米大統領がウォーターゲート事件で辞任
1975 (昭50)	3月：山陽新幹線開通 7月：沖縄国際海洋博覧会 11月：史上最長8日間の交通スト	1月：出口典雄を中心にシェイクスピア・シアター結成 2月：松竹新喜劇が無休連続100ヶ月公演の新記録	T.コントロール演出「死の教室」 S.ワイルダー没(78歳)

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	○本「複合汚染」「火宅の人」／映画「青春の門」「新幹線大爆破」「金環蝕」「タワーリング・インフェルノ」「ジョーズ」「トミー」／流行歌「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」「シクラメンのかほり」「岸壁の母」「あの日にかえりたい」「年下の男の子」「時代」、吉田拓郎ら「フォーライフレコード」設立	3月：「唐版・滝の白糸」(唐十郎作、蜷川幸雄演出／花の社交界プロデュース)／芸能座「清水次郎長伝・伝」(永六輔作、小沢昭一演出)で旗揚げ。季刊誌「芸能東西」創刊 4月：天井棧敷が30時間の市街劇「ノック」(幻一馬・岸田理生作、幻一馬構成)を都内杉並区一帯で上演／「ストリッパー物語」(つかこうへい作・演出)／結城座が唐十郎作「少女仮面」を佐藤信演出で上演 5月：シェイクスピア・シアター「十二夜」(小田島雄志訳) ジェンジャンで旗揚げ 6月：ロンドンからロック・ミュージカル「ロッキー・ホラー・ショー」一行来日 8月：現代演劇協会(雲)から芥川比呂志、岸田今日子らが脱退、円を結成／「淫乱斎英泉」(矢代静一作、観世栄夫演出)上演、浮世絵師3部作完結 9月：つかこうへい事務所がVAN99ホールと提携、つか作品の連続上演を開始、つかブーム盛り上がる 10月：仲代達矢の無名塾、ストリンドベリ「令嬢ジュリー」(隆巴演出)で旗揚げ 11月：青い鳥「美しい雲のある幕の前」(市堂令作・演出)で旗揚げ 12月：早稲田小劇場、早稲田の同劇場で「夜と時計」(鈴木忠志演出)で最終公演	T.ウィリアムズ「回想録」 H.ピンター「誰もいない国」 E.オールビー「海の風景」で2度目のピュリツァー賞 ★ソウルで統一教会が1,800組の合同結婚式 ★アンゴラ独立
1976 (昭51)	2月：ロッキード事件、7月に田中角栄逮捕 6月：格闘技世界一決定戦アントニオ猪木vsモハメド・アリ ○本「限りなく透明に近いブルー」「不毛地帯」「復讐するは我にあり」「天声人語」／映画「さらば夏の光よ」「カッコーの巣の上で」「オーメン」、角川春樹事務所設立、第1回「犬神家の一族」、大島渚監督「愛のコリーダ」パリで封切／流行歌「ペッパー警部」「北の宿から」「思い出ばるばる」「横須賀ストーリー」「およげ! たいやきくん」「木綿のハンカチーフ」「山口さんちのツトム君」	1月：坂東玉三郎が松竹制作、日生劇場「マクベス」(増見利清演出)に出演 3月：円、「壊れた風景」(別役実作、高橋昌也演出)で旗揚げ／つかこうへい事務所が紀伊國屋ホールに進出、「熱海殺人事件」など上演(入場料700円) 4月：「七人みさき」(秋元松代作、渡辺浩子演出／民藝)／野田秀樹、高萩宏らが夢の遊眠社結成、「咲かぬ咲かんの桜吹雪は咲き行くほどに咲き立ちて明け暮れないの物語」で5月に旗揚げ／第1回菊田一夫演劇賞に小幡欣治 4月：柄本明、綾田俊樹、ベンガルら東京乾電池結成 5月：岩波ホール・プロデュースで武智鉄二演出、中村扇雀、白石加代子主演「東海道四谷怪談」上演 7月：「雨」(井上ひさし作、木村光一演出／五月舎)／「人類館」(ちねんせいしん作・演出／創造) 8月：早稲田小劇場の利賀村の本拠、利賀山房での第1回公演「宴の夜一」(鈴木忠志構成・演出) 9月：「雨のワンマンカー」(小松幹生作、赤石武生演出／レクラム舎旗揚げ公演)／八田元夫没(72歳) 10月：VAN99ホールの「新人グループ提携公演」で夢の遊眠社が野田秀樹作、高萩宏演出「走れメルス」上演 11月：清水邦夫、山崎努ら木冬社結成、清水作・演出「夜よ、おれに叫びと逆毛で充たす青春の夜よ」で旗揚げ 12月：石橋蓮司、緑魔子ら「第七病棟」結成、「ハーメルンの鼠」(唐十郎作、佐藤信演出)で旗揚げ	70歳記念サミュエル・ベケット・シーズン、ロイヤルコート劇場 M.ベネットほか「コーラスライン」にピュリツァー賞 R.ウィルソン「浜辺のアイنشユタイン」 ★北京で天安門事件(第一次) ★毛沢東主席死去
1977 (昭52)	4月：日劇ダンシングチーム、レビュー最終公演 6月：海外旅行、外貨持ち出し自	1月：「小町風伝」(太田省吾作・演出／転形劇場) 3月：「からゆきさん」(宮本研作、石沢秀二演出／青年座)／村山知義没(76歳)	T.ラティガン没(66歳) ミュラー「ハムレットマシーン」

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	由化 9月：王貞治、756号の本塁打世界新記録 12月：対米黒字減らし8項目決定 ○本「僕って何」「人間の証明」「エーゲ海に捧ぐ」「本居宣長」／映画「幸福の黄色いハンカチ」「竹山一人旅」「はなれ瞽女おりん」「八甲田山」「宇宙戦艦ヤマト」「ロッキー」／流行歌「勝手にしやがれ」「渚のシンドバッド」「フィーリング」「北国の春」「暑中お見舞い申し上げます」「ダンシング・クイーン」	4月：坂東玉三郎、尾上松緑主演「オセロー」(松竹制作)が人気呼ぶ／森繁久弥が「屋根の上のヴァイオリン弾き」で第2回菊田一夫演劇大賞 5月：「にしむくさむらい」(別役実作、藤原新平演出／文学座アトリエ)／ジャン＝ルイ・バローのルノー＝バロー劇団来日、「ハロルドとモード」など上演 7月：「楽屋」(清水邦夫作、秋浜悟史演出) 8月：真船豊没(75歳) 10月：東京キッドブラザースが自前の劇場、シアター365を本拠に 11月：「夢坂下って雨が降る」(渡辺えり子作(処女作)・演出／兼八事務所)／「猿」(里吉しげみ作・演出／未来劇場) 12月：「もっと泣いてよ、フラッパー」(串田和美作・演出／オンシアター自由劇場)／草月ホール開場	★エルヴィス・プレスリー死去
1978 (昭53)	4月：植村直己、単独で北極点到達／サンシャイン60開館 5月：成田新東京国際空港開港 8月：日中平和友好条約調印 ○本「夕暮まで」「ぼくらの時代」「うる星やつら」「不確実性の時代」／映画「サード」「曾根崎心中」「野性の証明」「日本の首領・完結編」「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」「サタデー・ナイト・フィーバー」「愛と喝采の日々」／流行歌「君の瞳は10000ボルト」「UFO」「透明人間」「いい日旅立ち」「カナダからの手紙」	1月：俳優座が男優だけでシェイクスピア作「お気に召すまま」(増見利清演出)上演／天井棧敷、「奴婢訓」で欧州巡演 2月：東宝「女王メディア」(エウリピデス作、蜷川幸雄演出)、平幹二郎のメディアとアートディレクター辻村ジュサブローの大胆な美術が評判 4月：「ブンナよ、木からおりてこい」(水上勉作、篠崎光正演出／青年座) 6月：「怪盗乱魔」(野田秀樹作・演出／夢の遊眠社)／「サロメ」(つかこうへい・高野嗣郎台本、つか構成・演出／西武劇場プロデュース)／「身毒丸」「観客席」(寺山修司作・寺山・J.A.シーザー演出／天井棧敷) 7月：俳優座劇場、改築のため閉場／「日の浦姫物語」(井上ひさし作、木村光一演出／文学座) 9月：早稲田小劇場跡に流星舎の拠点、銅羅魔館開場 10月：博品館劇場開場／田中千禾夫著「劇的文体論序説」に毎日出版文化賞 11月：唐十郎の小説「海星・河童」に第6回泉鏡花賞 12月：サンシャイン劇場開場／東京キッドブラザースが日本武道館でミュージカル「十二月の夢」上演	ピナ・バウシュ「カフェ・ミュラー」 P.シェーファー「アマデウス」
1979 (昭54)	1月：第1回国公立大学共通1次試験実施 6月：東京サミット 7月：ソニー、ウォークマン発売 11月：第1回東京国際女子マラソン ○本「四季・奈津子」「さらば国分寺書店のおばば」「算命占星学入門」／映画「子育てごっこ」「月山」「銀河鉄道999」「復讐するは我にあり」「十九歳の地図」「旅芸人の記録」／流行歌「魅せられて」「ガンダーラ」「関白宣言」「舟唄」「YOUNG MAN」「異邦人」	1月：「上海パンスキング」(斎藤憐作、串田和美演出／オンシアター自由劇場) 2月：「近松心中物語」(秋元松代作、蜷川幸雄演出／東宝)初演／劇団200(300の前身)が渡辺えり子作・演出「モスラ」で旗揚げ公演 3月：「虎★ハリマオ」(北村想作・演出／T・P・O師★団)／尾上松緑・杉村春子共演の「ターリン行きの船」(アルプーゾフ作、和田豊演出)／パルコ主催のパルコ・ドラマ・フェスティバルに夢の遊眠社、哥以劇場、流星社、鳥獣戯画、斜光社の若手5劇団参加も、入場料問題などでトラブル／ミラノ・ピッコロ座初来日、「二人の主人を一度に持つと」(ストレーレル演出)上演 4月：第4回菊田一夫演劇賞、大賞に秋元松代、演劇賞に蜷川幸雄の「近松心中物語」のコンビに／パモス青芸館開場 6月：オールビーが来日、三百人劇場で自ら演出の	★米中国交樹立 ★スリーマイル島原子力発電所で大量の放射能漏れ ★イスラム共和国宣言 ★アフガニスタンにソ連侵攻

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
		<p>「動物園物語」など上演／安部公房スタジオが「仔象は死んだ」を最後に活動休止／円が翻案劇スタイルのシェイクスピア作「空騒ぎ」をテレンス・ナップ演出で上演</p> <p>7月：「悲惨な戦争」(竹内統一郎作、和田史朗演出／斜光社)／文芸坐地下にル・ピリエ開場</p> <p>8月：「こりゃあ夏だ」(岩松了作・演出／東京乾電池)</p> <p>9月：四季がミュージカル「コーラスライン」を日本初演</p> <p>10月：「ロミオとフリージアのある風景」(如月小春作・演出／綺崎)／ルノー＝パロー劇団が三島由紀夫作「サド侯爵夫人」を上演／水谷八重子没(74歳)／新国劇倒産／オールド・ヴィック・シアター初来日、「ハムレット」を上演</p> <p>11月：「ふたりの女」(唐十郎作、第七病棟演出／第七病棟)／「Z」(竹内統一郎作、和田史朗演出／斜光社解散公演)／アメリカ・デフ・シアター初来日、ワイルダー作「わが町」など上演／演劇団、つんぼさじき解散、青俳倒産</p> <p>12月：「寿歌」(北村想作・演出／T・P・O師★団)／芸能座、小沢昭一の公約通り5年間活動に終止符</p>	
1980 (昭55)	<p>5月：黒澤明監督「影武者」カンヌ映画祭でグランプリ</p> <p>7月：モスクワオリンピック、アフガン侵攻抗議で日本不参加／ポケットベル100万台突破</p> <p>10月：山口百恵ファイナル・コンサート</p> <p>11月：川崎市で金属バット殺害事件</p> <p>○本「コイン・ロッカー・ベイビーズ」／「シルクロード」／「神聖喜劇」／「悪魔の選択」／映画「ツィゴイネルワイゼン」／「ヒポクラテスたち」／「翔んだカップル」／「地獄の黙示録」／「クレイマー、クレイマー」／「スター・ウォーズ」／流行歌「青い珊瑚礁」／「ダンシング・オールナイト」／「昴」／「雨の慕情」／「別れても好きな人」</p>	<p>1月：江守徹が文学座アトリエ公演で、モノローグ・ドラマ「審判」(バリー・コリンズ作、青井陽治訳)に挑戦</p> <p>2月：「NINAGAWA マクベス」(シェイクスピア作、蜷川幸雄演出／東宝) 初演／第30回読売文学賞戯曲賞に井上ひさし「しみじみ日本・乃木大将」／「小林一茶」／第7回テアトロ演劇賞に朝倉撰(「近松心中物語」)「盟三五大切」)</p> <p>3月：昭和54年度芸術選奨演劇部門新人賞に清水邦夫(「戯曲冒険小説」)</p> <p>4月：呉服橋三越劇場(三越ロイヤルシアター)、銀座みゆき館劇場開場／青年劇場がフィレンツェ国際演劇祭で「夜の笑い」(飯沢匡作・演出)上演</p> <p>5月：東山千栄子没(89歳)</p> <p>6月：青年座、「五人の作家による連続公演」すべて新作(清水邦夫、別役実、石沢富子、高桑徳三郎、宮本研)の5作品連続公演</p> <p>7月：山崎哲、藤井びん、田根楽子ら転位・21を結成、「うお伝説」で旗揚げ／東宝と四季が芸術座と日生劇場でチェーホフ作「かもめ」をそれぞれ外国人演出家で同時期に競演</p> <p>8月：「元祿港歌」(秋元松代作、蜷川幸雄演出／東宝) 初演／加藤健一が江守徹に次いで一人芝居「審判」に挑戦／木村光一、文学座を退団(後に地人会を主宰)／早稲田小劇場の新・利賀山房(磯崎新設計)が開場／改築された俳優座劇場が落成</p> <p>9月：東京演劇アンサンブルのブレヒトの芝居小屋完成、「かもめ」で柿落とし／漫才のセント・ルイスが早野寿郎脚本・演出で、ベケット作「ゴドーを待ちながら」に主演(小川洋三プロデュース)</p> <p>10月：もりえーる開場／清水邦夫「わが魂は輝く水なり」で第8回泉鏡花賞／小田島雄志個人全訳の「シェイクスピア全集」7年がかりで全7巻完結</p> <p>11月：金森馨没(47歳)、越路吹雪没(56歳)／紀</p>	<p>J.P. サルトル没(74歳)</p> <p>A. ミラー「アメリカの時計」</p> <p>H. ピンター「温室」</p> <p>★ポーランドで自主労組「連帯」</p> <p>★イラン・イラク戦争開始</p> <p>★ジョン・レノン、ニューヨークで射殺</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
		<p>伊國屋ホールで、つかこうへい3作品連続公演(「蒲田行進曲」初演)／「あの大鴉、さえも」(竹内統一郎作・演出／秘法零番館旗揚げ)／いのうえひでのりを中心に劇団☆新感線結成</p> <p>12月：昭和55年度芸術祭演劇部門大賞に青年座</p>	
1981 (昭56)	<p>2月：日劇閉館</p> <p>3月：神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)</p> <p>8月：台湾で旅客機爆発、向田邦子ら死亡</p> <p>9月：銀行女子社員、1億3千万円詐取</p> <p>○本「窓ぎわのトットちゃん」／「なんとなく、クリスタル」／「吉里吉里人」／「思い出トランプ」／映画「泥の河」／「セーラー服と機関銃」／「遠雷」／「エレファント・マン」／流行歌「ルビーの指輪」／「ギンギラギンにさりげなく」／「スニーカーブルース」／「津軽海峡冬景色」／「お嫁サンバ」</p>	<p>2月：第8回テアトロ演劇賞は清水邦夫「わが魂は輝く水なり」など／昭和55年度芸術選奨演劇部門の文部大臣賞に中村扇雀、新人賞に太地喜和子、評論等の部門には小田島雄志／影万里江没(45歳)</p> <p>3月：シアターグリーンウィンター・フェスティバルで3〇〇が「夢坂下って雨が降る一化生篇」でグリーン賞の団体賞／ザ・スズナリ開場／夢の遊眠社、「少年狩り(改訂版)」(野田秀樹作、篠崎光正演出)で紀伊國屋ホールに進出</p> <p>4月：「水の駅」(太田省吾作・演出／転形劇場)／16年ぶりに新劇が訪中公演、「華岡青洲の妻」などを上演／中村座最終公演</p> <p>5月：シェイクスピア・シアター、6年かけてシェイクスピア全37本を上演／オンシアター自由劇場「上海パンスキング」博品館劇場に進出、連日満員／鴻上尚史ら第三舞台、「朝日のような夕日をつれて」で早大隈講堂裏特設テントで旗揚げ</p> <p>7月：帝劇で鈴木忠志演出、ブロードウェイ・ミュージカル「スウィニー・トッド」市川染五郎らで上演／国際演劇評論家協会(AICT)日本センター発足／木村功没(58歳)／生田萬、銀粉蝶らがブリキの自発団結成、「ユーピック」(生田作・演出)で旗揚げ／早稲田小劇場、鈴木忠志で米俳優12人をまじえ日英2ヶ国語で「バッコスの信女」上演</p> <p>9月：小川洋三プロデュース、早野寿郎演出でチェーホフの「プラトノフ」日本初演</p> <p>10月：「ゼンダ城の虜」(野田秀樹作・演出／夢の遊眠社)／芥川比呂志没(61歳)</p> <p>11月：転形劇場が「小町風伝」をロンドン、ストックホルムで上演</p> <p>12月：「近松心中物語」が第36回芸術祭演劇部門で大賞</p>	<p>W. サローヤン没(72歳)</p> <p>ミュージカル「キャッツ」初演</p> <p>★ダイアナ嬢が英皇太子妃に</p>
1982 (昭57)	<p>1月：自動車の生産台数世界一に</p> <p>2月：ホテル・ニュージャパン火災、33人死亡</p> <p>8月：東北新幹線、大宮―盛岡間開通</p> <p>○本：「悪魔の飽食」／「Wの悲劇」／「時代屋の女房」／「日本国憲法」／映画「蒲田行進曲」／「転校生」／「遠野物語」／「ET」／「炎のランナー」／「ブッシュマン」／流行歌「待つわ」／「北酒場」／「聖母たちのララバイ」／「赤いスイートピー」</p>	<p>1月：初代松本白鷺没(71歳)／つかこうへいが小説「蒲田行進曲」で第86回直木賞／博品館劇場でミュージカル「キャバレー」(渡辺浩子演出)／江利チエミ没(45歳)</p> <p>3月：昭和56年度芸術選奨演劇部門、文部大臣賞は森光子、同新人賞は鈴木忠志／四季が浅利慶太演出でミュージカル「エビータ」／パルコ・スペース・PART3開場／81年度伊藤嘉潮賞に高田一郎</p> <p>4月：改築された新橋演舞場が開場／国際劇場、SKD公演を最後に閉館</p> <p>5月：「雨の中、三十人のジュリエットが還ってきた」(清水邦夫作、蜷川幸雄演出／東宝)／横浜ポートシアターが遠藤啄郎脚本・演出の「小栗判官」／「照手姫」を横浜の木造船で上演／「屋根の上のヴァイオリン弾き」が10月末まで帝劇で6ヶ月のロングラン、公演回数は通算707回に／シェイクスピア・シアターが出口典雄演出で如月小春作「ロミオと</p>	<p>P. ヴァイス没(65歳)</p> <p>RSCのロンドンの本拠地バービカン・センター開場</p> <p>P. ホール、アイスキュロス三部作「オレスティア」演出</p> <p>★米で反核運動「グラウンド・ゼロ」始まる</p> <p>★日本の教科書の歴史的記述で中国が日本政府に抗議、韓国も反発</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
		<p>フリージアのある食卓」上演 6月：「国語事件殺人辞典」(井上ひさし作、木村光一演出／しゃぼん玉座旗揚げ)／サンシャイン劇場でブロック演出、シェーファー作「アマデウス」松本幸四郎、江守徹 7月：鈴木忠志企画で日本初の世界演劇祭「利賀フェスティバル'82」開催、6ヶ国11劇団参加 8月：シアター・アプル開場 10月：前進座劇場開場／「すててこてこてこ」(吉永仁郎作、渡辺浩子演出／民藝)／つかこうへい脚本、深作欣二監督の映画「蒲田行進曲」大ヒット／「クスコ」(斎藤憐作、串田和美演出／オンシアター自由劇場) 11月：本多劇場開場、唐十郎作「秘密の花園」(小林勝也演出) 緑魔子、柄本明で柿落とし／つかこうへいが演劇活動を休止、つか事務所解散 12月：「化粧 (増補版)」(井上ひさし作、木村光一演出／地人会)／天井棧敷が「レミング」再演、このあと寺山修司は病氣療養のため演出活動を休止</p>	
1983 (昭58)	<p>1月：青函トンネル貫通 4月：東京ディズニーランド開園 5月：カンヌ映画祭で今村昌平監督「楢山節考」グランプリ 6月：参院選で初の比例代表制導入 ○本「構造と力」「生きて行く私」「萬流コピー塾」「ルンルンを買っておうちに帰ろう」／映画「家族ゲーム」「戦場のメリークリスマス」「探偵物語」「東京裁判」／テレビNHK連続テレビ小説「おしん」／流行歌「さざんかの宿」「矢切の渡し」「悲しい色やね」「スリラー」</p>	<p>1月：第24回毎日芸術賞演劇部門で松本幸四郎受賞／西武劇場で上演予定の井上ひさし作「パズル」、作者の申し出で上演中止／唐十郎の小説「佐川君からの手紙」で第88回芥川賞受賞 2月：「黒いチューリップ」(唐十郎作、蜷川幸雄演出／西武劇場プロデュース)／ギョ・フォワシィを迎え「ギョ・フォワシィ・フェスティバル」開催／田村秋子没(77歳)、早野寿郎没(55歳)／82年度芸術選奨演劇部門の文部大臣賞に渡辺美佐子(「化粧」) 3月：「DOLL」(如月小春作・演出／NOISE旗揚げ公演) 4月：タイニイ・アリス開場 5月：寺山修司没(47歳)、「レミング」で天井棧敷最終公演、7月に解散。J.A.シーザーら万有引力結成／転形劇場「水の駅」でヨーロッパ巡演／ウィーンの国立ブルク劇場来日、「三文オペラ」上演／ミルウォーキー・レパトリー・シアター再来日「ガラスの動物園」など上演 6月：平田オリザ主宰の青年団「海神ポセイドン」で旗揚げ 7月：アテネ野外円形劇場で蜷川幸雄演出「王女メディア」上演 8月：「利賀フェスティバル'83」 9月：北京人民芸術劇院が老舎作「茶館」で初の来日公演／国立能楽堂開場 11月：四季、新宿西口特設テント劇場で「CATS」日本初演、1年間のロングラン 12月：白井晃、高泉淳子らが遊◎機械／全自動シアター結成／岸田理生を中心に、岸田事務所+楽天団結成</p>	<p>T.ウィリアムズ没(71歳) A. ミラー、中国で「セールスマンの死」演出 M.フレイン「ノイゼズ・オフ」でコメディ・オブ・ザ・イヤー R.バートンとE.テイラーがブロードウェイでN.カワード作「私生活」で共演</p>
1984 (昭59)	<p>3月：グリコ・森永事件 4月：初の第三セクター三陸鉄道開通 5月：衛星放送開始 6月：男74.2歳、女79.8歳で世</p>	<p>2月：ザ・スズナリで第三舞台、第三エロチカ、ブリキの自発団など5劇団が「近未来劇」を競演 3月：「ニッポン・ウォーズ」(川村毅作・演出／第三エロチカ)／マキノノゾミ主宰のMOPが、つかこうへい作「熱海殺人事件」で旗揚げ／国立文楽劇</p>	<p>M.フレイン「ベネファクターズ」でプレイ・オブ・ザ・イヤー R.バートン没(58歳)</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
		<p>界一の最長寿国に ○本「三毛猫ホームズのびっくり箱」「恋文」「たけしくん、ハイ!」「金魂巻」／映画「お葬式」「麻雀放浪記」「瀬戸内少年野球団」「風の谷のナウシカ」「インディ・ジョーンズ=魔宮の伝説」／流行歌「涙のリクエスト」「北ウイング」「桃色吐息」</p>	
1985 (昭60)	<p>3月：科学万博一つくば85／日本にエイズ患者発生 4月：電電公社と日本専売公社の民営化 8月：御巢鷹山に日航ジャンボ機墜落、坂本九ら520人死亡 9月：ファミコンゲーム「スーパーマリオブラザーズ」発売 ○本「首都喪失」「東京女子制服図鑑」「美味しんぼ」「週刊少年ジャンプ」400万部突破／映画「ビルマの豎琴」「乱」「銀河鉄道の夜」「パリ、テキサス」「ミツバチのささやき」／流行歌「ミ・アモーレ」「なんてたってアイドル」「スシ食いねエ」</p>	<p>1月：転形劇場が宇都宮市・大谷石地下採掘場で「地の駅」(太田省吾作・演出)を上演／ロングラン・シアター「裸足で散歩」(ニール・サイモン作、斎藤啓子訳、小林裕演出)で始まる、1年1か月25日の上演 6月：タイニイ・アリスで、南河内万歳一座など大阪、名古屋、東京の若手劇団の初フェスティバル開催 7月：転形劇場が新しい拠点、T2スタジオを開場／東横劇場閉場 8月：健康(後のナイロン100%)結成 10月：近鉄劇場が大阪に開場、スパイラルホール開場 11月：青山劇場、青山円形劇場、シアター／トップス開場 12月：自由劇場を退団した大谷亮介、余貴美子らが東京壺組結成／浅利慶太がミラノ・スカラ座で「蝶々夫人」演出／中劇場協議会発足／ベニサン・ピット開場</p>	E.ボンド「戦争三部作」
1986 (昭61)	<p>2月：新橋演舞場で梅原猛作、市川猿之助演出「ヤマトタケル」 4月：男女雇用機会均等法施行 7月：東北自動車道全線開通 12月：たけし軍団、「フライデー」編集部に乱入 ○本「化身」「脳死」「塀の中の懲りない面々」「ベッドタイムアイズ」「ぼくたちの好きな戦争」「深夜特急」／映画「子猫物語」「火宅の人」「キネマの天地」「天空の城ラピュタ」「愛と悲しみの果て」／流行歌「DESIRE」「時の流れに身をまかせ」「仮面舞踏会」「天城越え」</p>	<p>1月：土方巽没(58歳)／「昨日、悲別で」(倉本聰作・演出／博品館プロデュース) 3月：北村想主宰の彗星'86解散、プロジェクト・ナビ結成／成井豊を中心にキャラメルボックスが成井作・演出「地図屋と銀ライオン」で旗揚げ 5月：「ザ・結婚」(石塚克彦作・演出／ふるさとキャラバン)／森繁久弥「屋根の上のヴァイオリン弾き」上演900回で幕／築地本願寺で蜷川幸雄演出の「オイディプス」上演／藤野節子没(58歳) 6月：結成10周年の夢の遊眠社、代々木体育館で「石舞台星七変化」三部作一挙上演、1日で延べ約2万5千人の観客を動員／リンゼイ・ケンプ・カンパニーが「真夏の夜の夢」で初の来日公演 8月：利賀フェスティバル'86に日本の若手劇団が参加。第三エロチカは野外劇版「ニッポン・ウォーズ」を上演 9月：ビナ・バウシュが、ヴッパダール舞踊団率いて来日公演／宇野重吉一座が木下順二作「三年寝太郎」で旗揚げ、全国巡演／渡辺守章訳・演出による「フェードル」、パリで上演、好評 10月：「青い実をたべた」(市堂令作・演出／青い鳥) 12月：「ハッシャ・バイ」(鴻上尚史作・演出／第三舞台)／「半神」(萩尾望都原作・脚本、野田秀樹脚色・演出／夢の遊眠社)※このあたりから、第三世代(遊眠社、第三舞台を中心に)の若手演劇ブーム</p>	★チェルノブイリ原子力発電所で大事故

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
1987 (昭62)	<p>4月：国鉄民営化、JR各社発足 6月：沖縄・嘉手納基地周囲に2万5千人の人間の鎖 7月：石原裕次郎死去（52歳） 9月：新国劇解散／マイケル・ジャクソン来日 ○本「サラダ記念日」「ノルウェイの森」「キッチン」「帝都物語」／映画「マルサの女」「女衞」「ゆきゆきて、神軍」「ハチ公物語」「あぶない刑事」「スタンド・バイ・ミー」「眺めのいい部屋」／流行歌「命くれない」「雪国」「百万本のバラ」</p>	<p>1月：花組芝居結成、4月に「ザ・隅田川」（加納幸和作・演出）で旗揚げ 3月：銀座セゾン劇場、P.ブルック演出「カルメンの悲劇」で開場 4月：つかこうへいが韓国の俳優と「ソウル版熱海殺人事件」を上演／夢の遊眠社が「明るい冒険」で青山劇場進出、3万人を動員／宮本亜門が自作のオリジナル・ミュージカル「アイ・ガット・マーマン」初演 5月：「夏・南方のロマンスー神と人とのあいだ第二部」（木下順二作、宇野重吉演出／民藝）／「阿修羅城の瞳」（中島かずき作、いのうえひでのり演出／☆新感線） 6月：新宿梁山泊結成、「パイナップル爆弾」（川村毅作、金守珍演出）で旗揚げ／東宝、ミュージカル「レ・ミゼラブル」日本初演 8月：夢の遊眠社、エディンバラ国際芸術祭で「野獣降臨」（野田秀樹作・演出）上演、初の海外公演／初の松本現代演劇フェスティバルに12劇団が参加 9月：「NINAGAWA マクベス」「女王メディア」（蜷川幸雄演出）ロンドン、ナショナル・シアターで上演、ローレンス・オリヴィエ賞にノミネート／新国劇「極付国定忠治」終止符、辰巳柳太郎の忠治最後の舞台 10月：鐘下辰男らTHE・ガジラ結成「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・京都」（鐘下作・演出）で旗揚げ 12月：高橋昌也が銀座セゾン劇場の芸術監督に就任</p>	<p>「アーサー・ミラー自伝」 J.ファーブル「劇的狂気の力」 ★米ブラックマンデー ★大韓航空機爆破事件</p>
1988 (昭63)	<p>2月：ファミコンソフト「ドラゴンクエストⅢ」100万個即日完売 3月：青函トンネル開通 4月：瀬戸大橋開通 7月：東京ベイNKホール開場、バブルの象徴 9月：昭和天皇の容体悪化で行事や宣伝など自粛ムード ○本「雪はよごれていた」「楽しい夕食」「裕さん、抱きしめたい」「ゲームの達人」／映画「敦煌」「となりのトトロ」「火垂るの墓」「存在の耐えられない軽さ」「ベルリン・天使の詩」「八月の鯨」／流行歌「川の流れるように」「乾杯」「酒よ」</p>	<p>1月：宇野重吉没（73歳） 2月：鈴木忠志が米4劇団合同制作で「リア王」演出、全米を7月まで巡演／宮本研没（61歳） 3月：オンシアター自由劇場が串田和美監督で映画「上海バンスキング」製作 4月：東京グローブ座開場、M.ボグダノフ演出「薔薇戦争七部作」上演／唐十郎、状況劇場解散、新たに「唐組」結成、仮設の下町唐座で「さすらいのジュニー」で旗揚げ／第1回三井フェスティバル／17代中村勘三郎没（78歳）、小沢栄太郎没（79歳） 5月：銀座セゾン劇場でP.ブルック演出「マハーバーラタ」上演／「シャボン玉とんだ宇宙までとんだ」（筒井広志作、横山由和脚本・演出／音楽座） 6月：スウェーデン王立ドラマ劇場来日、ベルイマン演出「令嬢ジュリー」「ハムレット」上演／大人計画が鈴木ダンテ（後の松尾スズキ）構成・演出「微妙な関係」で旗揚げ 7月：武智鉄二没（75歳） 8月：「カラフルメリィでオハヨ」（ケラリーノ・サンドロヴッチ作・演出／健康）／新橋演舞場で美内すずえ原作、坂東玉三郎演出、大竹しのぶ主演「ガラスの仮面」上演 8月：第1回東京国際演劇祭、池袋で開催 9月：転形劇場、「小町風伝」「水の休日」などを連続上演して11月に解散／日生劇場でA.L.ウェーバー作曲、H.プリンス演出「オペラ座の怪人」（四季）約5ヵ月のロングラン</p>	<p>A.ユウリー「ドライビング・ミス・デイズ」ピュリツァー賞 M.フレイン「コペンハーゲン」 ハイナー・ミュラー戯曲集</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
1989 (昭64 /平成元)	<p>1月：7日昭和天皇崩御、新元号「平成」となる 3月：市川猿之助企画・演出「リュウオー」、歌舞伎と京劇の初の合同公演 4月：消費税3%実施 6月：美空ひばり死去（52歳） 7月：国政選挙で初の与野党逆転 ○バブル景気／本「TUGUMI」「孔子」「下天は夢か」「NOと言える日本」／映画「黒い雨」「利休」「魔女の宅急便」「レインマン」「ダイ・ハード」／流行歌「とんぼ」</p>	<p>11月：ドイツのシラー劇場が来日、「たくらみの恋」などを上演 1月：文学座アトリエを中心に、ちかまつ芝居を母体として、松本修らMODEを結成／つかこうへい、6年ぶりに「今日子」作・演出で復帰（円） 2月：「贗作・桜の森の満開の下」（野田秀樹作・演出／夢の遊眠社）／杉村春子の「女の一生」通算800回上演／南アフリカの劇団コミッティド・アーティストが来日、反アパルトヘイト劇「アシナマリー」上演 3月：坂東玉三郎、アンジェイ・ワイダ演出「ナスターシャ」をベニサン・ピットで上演 9月：東急文化村（Bunkamura）開場、シアターコクーンの前監督に串田和美、オンシアター自由劇場をフランチャイズ劇団とし、柿落としては「A列車」（串田作・演出）</p>	<p>S.ベケット没（83歳） L.オリヴィエ没（82歳） ★ベルリンの壁崩壊</p>
1990 (平2)	<p>3月：日本芸術文化振興基金発足、公的助成の広がり 11月：日本衛星放送（JSB）開局 ○本「文学部唯野教授」「愛される理由」「新宿鮫」／映画「天と地と」「あげまん」「ニュー・シネマ・パラダイス」「死の棘」「ゴーストニューヨークの幻」／流行歌「おどるポンポコリン」「さよなら人類」</p>	<p>1月：スウェーデン王立劇場が来日、ベルイマン演出、三島由紀夫作「サド公爵夫人」上演 2月：「BROKEN（暴君）ハムレット」（上杉祥三作・演出／上杉祥三プロデュース・チーム） 3月：「鹿鳴館異聞」（堤春恵作、末木利文演出／木山事務所）／「子午線の祀り」を山本安英の会が全曲上演／水戸芸術館ACM劇場開場、柿落としては鈴木忠志演出「ディオニソス」／中村座解散／リュビーモフ演出（銀座セゾン劇場）、ワイダ演出など、海外からの3本を含め10本を超える「ハムレット」の上演／クリコット2来日、タデウシュ・カントール演出「くたばれ！芸術家」など上演／ケネス・ブラナー主宰のルネサンス・シアター・カンパニー来日、ブラナー演出「夏の夜の夢」など上演 4月：「彦馬がゆく」（三谷幸喜作・演出／東京サンシャインボーイズ） 7月：演劇団解散 8月：「野田秀樹のから騒ぎ」（シェイクスピア原作、野田秀樹潤色・演出／東宝）／エディンバラ・フェスティバルに地人会「葦原検校」、蜷川カンパニー「卒塔婆小町」、夢の遊眠社「半神」などが参加 10月：藤沢市湘南台文化センター市民センターの芸術監督に太田省吾 11月：東京芸術劇場開場、東京国際演劇祭開催／文学座アトリエで「グリークス」（鶴山仁演出）三部作を一挙上演</p>	<p>ノルウェーで第1回国際イブセン祭 ドイツ座で「ハムレット／マシーン」（H.ミュラー演出） H.ミュラー東独芸術アカデミー総裁就任 ★東西ドイツ統一</p>
1991 (平3)	<p>5月：横綱千代の富士引退 11月：篠山紀信「宮沢りえ写真集・Santa Fe」発売 ○バブル経済が破綻／本「大地の子」「もものかんづめ」「血族」／映画「大誘拐」「無能の人」「羊たちの沈黙」「ホーム・アローン」／流行歌「SAY YES」「ラブ・ストーリーは突然に」</p>	<p>1月：「李香蘭」（浅利慶太企画・構成・脚本、三木たかし作曲／四季）／俳優座が「わが愛」三部作（山本有三作、八木柗一郎脚本「波」・夏目漱石原作、早坂暁脚本「門」・夏目漱石原作、泰恒平脚本「心」）を加藤剛主演、島田安行演出で連続上演 2月：賀原夏子没（70歳） 6月：秋元松代「七人みさき」が銀座セゾン劇場と円が同時期に競演、また「山ほととぎす」がサンシャイン劇場で上演 7月：中村伸郎没（82歳） 9月：ロンドンでジャパン・フェスティバル、英語版「タンゴ・冬の終わりに」、「葉武列土倭錦絵」「ジー</p>	<p>N.サイモン「ヨンカーズ物語」ピュリツァー賞 A.ドーフマン「死と乙女」オリヴィエ賞 P.シュタイン、ザルツブルク芸術祭演出部門の責任者 J.グロトフスキー没（66歳） ★湾岸戦争勃発 ★ソ連邦消滅</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
		<p>ザス・クライスト＝スーパースター」など上演 10月「少年街」(松本雄吉作・演出／維新派)／山崎正和を芸術監督に「兵庫現代芸術劇場(ひょうご舞台芸術)」発足／宇野信夫没(87歳)</p>	
1992 (平4)	<p>5月:いずみたく死去(62歳) 8月:松本清張死去(82歳) 11月:国民生活白書「少子社会の到来、その影響と対応」 ○本「清貧の思想」「ゴーマニズム宣言」、「朝日ジャーナル」休刊／映画「紅の豚」「ミンボーの女」「シコふんじゃった」「橋のない川」「ボンスフの恋人」／流行歌「涙のキッス」「悲しみは雪のように」</p>	<p>1月:岡田嘉子没(89歳) 3月:ジャン・P・ベルモンド主演「シラノ・ド・ベルジュラック」来日公演 5月:「わたしが子どもだったころ」(ソートン・ワイルダー原作、松本修構成・演出／MODE)／東宝製作「ミス・サイゴン」が帝劇で連続18ヶ月間の上演開始 6月:「オルゴールの墓」(唐十郎作、石橋蓮司演出／第七病棟)／任意団体「新劇団協議会」が改組、「社団法人日本劇団協議会」発足、「新劇」が消える 7月:蜷川幸雄がエディンバラ大学で名誉博士号を受ける 9月:地人会が書き下ろしのひとり芝居3本上演(井上ひさし作「中村岩五郎」、矢代静一作「弥々」、山田太一作「サンフランシスコ案内」)／シアターX開場／情報誌「シティロード」休刊 10月:太地喜和子没(48歳)／アートスフィア、第1回東京オペニオンズフェスティバルで開場 11月:夢の遊眠社「ゼンダ城の虜」上演を最後に解散／第三舞台「天使は瞳を閉じて インターナショナル・ヴァージョン」で活動休止／雑誌『しんげき(新劇)』あらため『レ・スペック』発刊も休刊</p>	
1993 (平5)	<p>5月:Jリーグ開幕 6月:皇太子・雅子妃ご成婚 7月:貴ノ花、若ノ花、史上初の兄弟同時大関 8月:細川連立内閣発足、自民党55年体制終焉／藤山一郎死去(82歳) ○本「女ざかり」「とかけ」「マーフィーの法則」「生きるヒント」「磯野家の謎」「マディソン群の橋」「マークスの山」「親指Pの修行時代」／映画「月はどっちに出ている」「ソナチネ」「学校」「まあだだよ」「病院で死ぬということ」「ジュラシック・パーク」／流行歌「真夏の夜の夢」「負けないで」</p>	<p>1月:安部公房没(66歳)、戸板康二没(77歳) 2月:モスクワ・タバコフ劇場初来日、「検察官」など上演 3月:モスクワ・タガンカ劇場初来日、リュビーモフ演出「罪と罰」など上演 4月:TPT(後にtpt)がデヴィッド・ルヴォー演出「テレーズ・ラカン」をベニサン・ピットで旗揚げ／シアターXで「熱海殺人事件・エンドレス 勝ち抜き演劇合戦」(つかこうへい作・演出)、11月までロングラン／財団法人第二国立劇場運営財団設立、演劇部門は藤田洋が初代監督となり、渡辺浩子芸術副監督が決まる 5月:流山児祥制作、佐藤信演出、鄭義信脚本で、寺山修司没後10周年記念公演「ザ・寺山」上演 6月:東演とモスクワ・ユーゴザパト劇場がベリャコーヴィッチ演出で合同公演「ロミオとジュリエット」を日露2ヶ国語で上演 9月:ぐるーぶえいとが創立20周年記念と解散公演を兼ねて川崎照代作、藤原新平演出「塩祝申そう」三部作を一挙上演 10月:山本安英没(90歳) 11月:カナダのシアトル・ルベールが初来日、ロベール・ルパージュ演出「マクベス」などを上演 12月:日本劇作家協会が発足、初代会長に井上ひさし</p>	T.ストップワード「アルカディア」
1994 (平6)	<p>6月:松本サリン事件 10月:大江健三郎、ノーベル文学賞受賞</p>	<p>1月:NODA/MAP「キル」(野田秀樹作・演出)で旗揚げ／読売演劇大賞始まる、第1回大賞・最優秀作品賞に「テレーズ・ラカン」(T.P.T)、最優秀賞は</p>	E.イヨネスコ没(81歳) A.ミラー「壊れたガラス」英でオリヴィエ賞

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>○本「大往生」「制服少女たちの選択」「夢のまた夢」／映画「平成狸合戦ぽんぽこ」「パルプ・フィクション」「依頼人」／流行歌「空と君のあいだに」「春よ、来い」</p>	<p>加藤敬二、藤間紫、木村光一、沢田祐二、特別賞に梅若六郎 5月:「東京ノート」(平田オリザ作・演出／青年団)／シアターコクーンで第1回コクーン歌舞伎「東海道四谷怪談」上演 7月:オンシアター自由劇場「上海パンスキング」ラスト公演 9月:「毘」(三谷幸喜作、山田和也演出)上演、以後、東京サンシャインボーイズの活動停止／東野英治郎没(86歳) 10月:彩の国さいたま芸術劇場開場／飯沢匡没(85歳) 11月:福田恆存没(82歳) 12月:千田是也没(90歳) ○平田オリザ、岩松了、宮沢章夫ら「静かな演劇」の波</p>	ダブリンでH.ピンター・フェスティバル、E.オールビー「三人の世の高い女」で3度目のピュリツァー賞 J.オズボーン没(65歳)
1995 (平7)	<p>1月:阪神・淡路大震災 3月:地下鉄サリン事件、オウム真理教強制捜査 4月:都知事に青島幸男、大阪府知事に横山ノック 6月:野茂英雄、大リーグ、ドジャースで初勝利 ○ウィンドウズ95発売でインターネット時代幕開け／本「檀」「深い河」「らせん」「恋」「遺書」「ソフィーの世界」／映画「午後の遺言状」「フォレスト・ガンプ 一期一会」「シャージャックの空に」／流行歌「LOVE LOVE LOVE」「シーソーゲームー勇敢な恋の歌」</p>	<p>1月:北京人民芸術劇院の林兆華脚色・演出「ハムレット」来日公演／第2回読売演劇大賞、大賞に杉村春子、最優秀賞は「恋ぶみ屋一葉」(松竹)、中村勘九郎、三木のり平、朝倉摂、特別賞に「S/N」(ダムタイプ) 2月:兵庫県立ピッコロ劇団の阪神・淡路大震災被災地巡回公演スタート 3月:水戸芸術館ACM劇場で「現代日本戯曲体系」上演開始 6月:テアトル・ド・コンプリシテが初来日、「ルーシー・キャブロールの三つの人生」上演 8月:第1回シアターオリックスがギリシアで開催、鈴木忠志・宮城聰共同演出「エレクトラ」などが参加 10月:「HIROSHIMA—太田川七つの流れ」(ロベール・ルパージュ作・演出／エクス・マキナ・ケベック)来日公演／四季「キャッツ」日本初の3,000回公演／古橋悌二没(33歳) 11月:田中千禾夫没(90歳)／日・中・韓の演劇交流を目的に第1回BeSeTo演劇祭がソウルで開催</p>	H.ミュラー没(66歳) D.ヘア「スカイライト」オリヴィエ賞
1996 (平8)	<p>1月:岡本太郎死去(84歳) 2月:司馬遼太郎死去(72歳)／武満徹死去(65歳) 8月:渥美清死去(68歳) ○ルーズソックス、ギャル言葉と女子高生が元気／本「失楽園」「蛇を踏む」「超勉強法」／映画「眠る男」「Shall We ダンス?」「キッズ・リターン」「セブン」／流行歌「花—Memento Mori」「SWEET19BLUES」「これが私の生きる道」</p>	<p>1月:第3回読売演劇大賞、大賞は「G HETTO／ゲッター」(ひょうご舞台芸術)、最優秀賞は松本幸四郎、麻実れい、栗山民也、堀尾幸男 2月:「黄昏のボードビル」を最後にオンシアター自由劇場解散 5月:北條秀司没(93歳) 7月:富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)開場 8月:青年座の「ブンナよ、木からおりてこい」1,000回上演 9月:渡辺美佐子独演の「化粧」500回上演 10月:季刊「せりふの時代」創刊／シアターコクーンが第1回コクーン戯曲賞受賞の「零れる果実」(鈴江俊郎・狩場直史作)を蜷川幸雄、佐藤信の演出で交互上演 11月:紀伊國屋サザンシアター開場 ○舞台芸術のための支援制度「アーツプラン21」発足</p>	H.ピンター、オリヴィエ賞
1997 (平9)	<p>3月:三井三池炭鉱閉山 4月:消費税5%に引き上げ</p>	<p>1月:第4回読売演劇大賞、大賞は黒柳徹子、最優秀賞は「笑の大学」(パルコ)、中村鴈治郎、蜷川幸</p>	第2回H.ピンター・フェスティバル

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>5月：「酒鬼薔薇聖斗」による連続児童殺傷事件 12月：伊丹十三飛び降り自殺（64歳）／三船敏郎死去（77歳） ○企業倒産過去最悪／本「レディ・ジョーカー」「鉄道員（ぽっぽや）」 「OUT」「家族シネマ」「失楽園」「少年H」、「ONE PIECE」連載開始／映画「もののけ姫」「うなぎ」「ラヂオの時間」「タイタニック」「フェイク」、北野武監督「HANA—BI」にヴェネツィア国際映画祭金獅子賞／流行歌「CAN YOU CELEBRATE？」「White Love」 「PRIDE」</p>	<p>雄、石井強司、西川信廣／東京国際フォーラム開場／創立60周年の文学座が9本の本公演をすべて創作劇で上演／第三舞台、6年振りの上演「朝日のような夕日をつれて'97」 2月：木山事務所「仮名手本ハムレット」（堤春恵作、末木利文演出）、ニューヨークのラ・ママで上演 3月：文学座アトリエ、「金襴緞子の帯しめながら」（杉本正治演出）で、別役実100作目、10月に第11回青山演劇フェスティバル「別役実の世界1997」で旧作4本を新演出で上演 4月：杉村春子没（91歳）／世田谷パブリックシアター開場、シアター・ディレクターに佐藤信、「ライフ・イン・ザ・シアター」（デイビッド・マメット作、小田島恒志訳、佐藤演出）で柿落とし 6月：白石加代子「百物語」シリーズ（鴨下信一校正・演出）50本突破記念公演 8月：坂東玉三郎主演「夕鶴」（木下順二作、栗山昌良演出／セゾン劇場）、山本安英以外のつうで初の上演／静岡県舞台芸術センター、芸術総監督に鈴木忠志、SPAC創立「リア王」でオープニング 9月：松本幸四郎主演「ラ・マンチャの男」750回上演達成／「劇」小劇場開場 10月：新国立劇場開場記念公演、井上ひさし作、渡辺浩子演出「紙屋町さくらホテル」／国際交流基金アジアセンター主催、アジアの演劇人たちが参加、岸田理生脚本、オン・ケッセン演出「リア」上演／ロンドン・バービカン劇場で「身毒丸」（寺山修司・岸田理生作、蜷川幸雄演出）上演、藤原竜也舞台デビュー 11月：三津田健没（95歳）／キャサリン・ハンター主演のロンドン、ヤングヴィック・シアター「リア王」来日公演／金杉忠男没（57歳） 12月：日本・タイ現代演劇共同制作公演「赤鬼」（野田秀樹作・演出）上演／創立20周年直前3〇〇解散</p>	<p>ヤスミナ・レザ「アート」（プラーダー演出） D.フォー、ノーベル文学賞 ★英ダイアナ皇太子妃事故死</p>
1998 (平10)	<p>2月：長野冬季オリンピック 6月：吉田正死去（77歳） 9月：黒澤明死去（88歳） 11月：淀川長治死去（89歳） 12月：岩波映画自己破産 ○本「ダディ」「血と骨」「ループ」 「老人力」「ゴールドラッシュ」「日蝕」／映画「カンゾー先生」「踊る大捜査線」「プライベート・ライアン」／流行歌「モーニングコーヒー」「夜空ノムコウ」</p>	<p>1月：第5回読売演劇大賞、大賞は鐘下辰男、最優秀賞は「月の岬」（月の岬プロジェクト）、坂東玉三郎、三田和代、妹尾河童、特別賞に加藤剛／銅鑼「センポ・スギハッラ」（平石耕一作、平石・山田昭一演出）、ニューヨークで上演 3月：第1回鶴屋南北賞に永井愛「ら抜き」の殺意」／ロシア国立オムスクドラマ劇場が初来日、「砂の女」など上演 6月：渡辺浩子没（62歳）／文化座、鈴木光枝、「おりき」（三好十郎作、鈴木演出）、500回上演で最終公演 7月：王子小劇場開場、柿落としは北区つかこうへい劇団公演 8月：バービカン劇場で「ハムレット」（シェイクスピア作、蜷川幸雄演出）上演、本場で絶賛 9月：四季劇場「春」「秋」が同時開場 10月：シェイクスピア・グローブ・シアター・カンパニー初来日、「お気に召すまま」上演</p>	<p>M.フレイン「コペンハーゲン」イブニング ・スタンダード賞ベスト・プレイ賞 ★米英がイラク空爆</p>
1999 (平11)	<p>1月：三木のり平死去（74歳）／ジャイアント馬場死去（61歳） 7月：平成の大合併加速／江藤淳</p>	<p>1月：第6回読売演劇大賞、大賞は「エヴァ、帰りのない旅」（ひょうご舞台芸術）、最優秀賞は内野聖陽、岩崎加根子、栗山民也、堀尾幸男、宮本裕子、</p>	<p>A.ミラー「セールスマンの死」上演50周年、ブロードウェイで再</p>

西暦 (年号)	日本のできごと	日本演劇 ※作品は基本、初演年	海外演劇 ★=世界のできごと
	<p>自殺（66歳） ○「勝ち組負け組」「学級崩壊」が流行語、社会問題に／本「買ってはいけない」「五体不満足」「本当は恐ろしいグリム童話」「ハリー・ポッターと賢者の石」「溺れる」、新書創刊ブーム／映画「鉄道員（ぽっぽや）」「恋におちたシェイクスピア」「マトリックス」／流行歌「LOVEマシーン」「だんご三兄弟」</p>	<p>特別賞に鳥次郎／テアトル・ウィディ・ローザンヌが初来日、「フェードル」上演／蜷川幸雄、シアターコクーン芸術監督に／木山事務所「はだしのゲン」（中沢啓治原作、木島恭脚本・演出）ニューヨークで上演 2月：読売文学賞戯曲・シナリオ賞に松田正隆「夏の砂の上」 3月：つかこうへい作・演出「蒲田行進曲」（RUP）、17年振りに上演 4月：大分市つかこうへい劇団が韓国初、日本語で「熱い波・女刑事物語」（塚脚本・演出）ソウル公演／SPAC主催で第2回シアター・オリムピックス開催、20ヶ国42団体が参加、3ヶ月で6万5,000人動員 6月：ギリシャ国立劇場が20年振りに来日「メディア」上演 7月：利賀フェスティバル、18年間の歴史に終止符 9月：日・タイ現代演劇共同制作プロジェクト「赤鬼」（野田秀樹作・演出）世田谷パブリックシアターで上演／蜷川幸雄がRSC公演「リア王」演出、さいたま芸術劇場とイギリスでも上演 10月：東京国際舞台芸術フェスティバル、「リージョナルシアター・シリーズ」 11月：尾崎宏次没（84歳）／野田秀樹作「パンドラの鐘」を、蜷川幸雄演出（シアターコクーン）と野田演出（NODA/MAP）で同時期に競演／銀座セゾン劇場「マレーネ」最終公演、閉場（「ル・テアトル銀座」として翌4月に復活） 12月：森光子主演「放浪記」1500回上演</p>	<p>演、リバイバル作品賞など4つのトニー賞 ゲーテ作「ステラ」（A.ペリ演出）を最後にベルリーナ・アンサンブル解散 J.グロトフスキー没（66歳）</p>
2000 (平12)	<p>10月：ミヤコ蝶々死去（80歳） 12月：BSデジタル放送開始 ○負債総額戦後最悪、失業者数過去最多の一方で、IT革命のもとネットビジネス続々誕生／本「話を聞かない男、地図が読めない女」「プラトニック・セックス」「おかしな男 渥美清」／映画「御法度」 「アメリカン・ビューティー」「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」 ／流行歌「TUNAMI」「桜坂」「孫」</p>	<p>1月：第7回読売演劇大賞、大賞は森光子、最優秀賞は「パンドラの鐘」（NODA/MAP）、角野卓造、坂手洋二、加藤ちか、市川新之助、特別賞に「仮名手本忠臣蔵」（松竹）／毎日芸術賞、蜷川幸雄、鶴山仁が受賞／99年度湯浅芳子賞に、戯曲上演でグローブ座カンパニー（「子どものためのシェイクスピア」シリーズ）、翻訳・脚色で岩淵達治（「プレヒト戯曲全集」）、菱沼彬晃（「棋人」など）に 2月：兼八善兼没（69歳）／高原駿雄没（76歳） 3月：田中澄江没（91歳）／鈴木忠志を代表に「演劇人会議」が発足／維新派がオーストラリア、アデレード・フェスティバルで「水街」上演 4月：東由多加没（54歳）／流山児★事務所「血は立ったまま眠っている」でジャンジャン閉場／SPAC春の芸術祭 5月：倉林誠一郎没（87歳）、阿部廣次没（80歳）、倉橋健没（80歳） 6月：滝沢修没（93歳） 7月：新国立劇場、演劇芸術監督に栗山民也就任 8月：いのうえ歌舞伎「阿修羅場の瞳」（中島かずき作、いのうえひでのり演出／☆新感線+松竹）を市川染五郎主演で上演 9月：シアターコクーンで蜷川幸雄演出「グリークス」三部作一挙上演 10月：ロンドンのアルメイダ劇場が初来日、「コリオレイナス」など上演 12月：如月小春没（44歳）</p>	<p>4人の共同芸術監督制で新しいベルリーナ・アンサンブルスタート</p>

あとがき

新国立劇場でのマンスリー・プロジェクトや演劇研修所での講義を行うに際して困ったのは、適度な「教科書」がないということである。いずれも大部のものか専門的なものばかりで、しかも簡便な「通史」がないのだ。そこで、やむなく自分用のテキストを作ることにした。そのノートがこの小冊子のベースになったものだが、そこで心がけたのは、2つのことだった。

1つは、瑣末を避け、「要点」に絞って終戦時までの日本演劇史の全体像を掴みとれるようにしたことだ。終戦時までとしたのは、戦後から現代までを網羅すれば予定枚数をはるかにオーバーしてしまうからである。

もう1つは、日本演劇がけっして純粹培養されたものではなく、いま同様、絶えざる海外との異文化接触到にさらされ、その結果としての現在があるという視点を盛り込むことだった。演劇というメディアは、じつはどの国においても「異文化」と無縁ではないのである。それをどう摂取・融合するかの葛藤（ドラマ）を内包している。

はたして、この小冊子で、その2つの視点をどれだけ盛り込むことができたか。いささか心もとないところもないではないが、いわばこれは最初の試金石。これをベースに戦後編も含めより完全なものができたらと思っている。至らぬところがあればご叱正いただければありがたい。

最後に、この小冊子をまとめる機会を与えてくれた新国立劇場情報センターに、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

村井 健

編・著 **村井 健** むらい・けん

1946～2015。秋田生まれ。明治大学卒業。

日本文芸家協会会員、社団法人「日露演劇会議」専務理事、紀伊國屋演劇賞審査委員、テアトロ新人戯曲賞選考委員、2005年度文化庁文化交流使（派遣国ロシア）。

淑徳大学非常勤講師、新国立劇場演劇専門委員、新国立劇場演劇研修所・JOKO 演劇学校講師、NHK「シアター・コレクション」オフィシャル・アドバイザーなどを歴任。

著書『シチュアション』（五柳書院）ほか。

村井健氏の逝去により、年表の1946年以降は、『〈要点〉日本演劇史～古代から1945年まで』の共同編集にあたった佐藤優が執筆した。

〈要点〉 日本演劇史 ～年表～

発行日	2020年3月31日
発行	財団法人新国立劇場 運営財団 151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL.03-5351-3011
編集	新国立劇場 情報センター
編集執筆	壘／ラユニオン・パブリケーションズ
デザイン	岩島美幸
表紙	築地小劇場